

平成 24 年

兵庫県感染症発生動向調査事業

年 報

兵庫県立健康生活科学研究所

健康科学研究センター

(兵庫県感染症情報センター)

はじめに

平成24年2月下旬から全国に先駆けて流行が始まった風しんは、年間患者数が281名と全数把握対象疾病となった平成20年以降で最大の流行となり、全国的に見ても、人口百万人あたりの報告数が東京都に次いで2番目に多くなりました。また、免疫のない女性が妊娠初期に罹患すると、風しんウイルスが胎児に感染して発症する先天性風しん症候群が、対象疾病となった平成11年以降初めて報告されました。

兵庫県における感染症の患者発生に関する調査は、昭和52年から県独自の監視体制を発足させて以来、約36年にわたる歴史があります。これも、兵庫県医師会、郡市医師会、定点医療機関をはじめとする関係機関各位のひとかたならぬご理解とご尽力の賜物と心からお礼申し上げます。

今後もの確な感染症対策のための適切な情報提供を迅速に行えるよう、より一層努力してまいりますので、関係各機関の皆様方には引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。

ここに平成24年の事業年報をとりまとめました。本書が感染症対策の資料としてご活用いただければ幸いに存じます。

平成26年2月

兵庫県立健康生活科学研究所
健康科学研究センター
所長 前田 盛

平成 24 年報告週対応表

報告週	期 間	報告週	期 間
1	平成 24 年 1 月 2 日～8 日	27	7 月 2 日～8 日
2	1 月 9 日～15 日	28	7 月 9 日～15 日
3	1 月 16 日～22 日	29	7 月 16 日～22 日
4	1 月 23 日～29 日	30	7 月 23 日～29 日
5	1 月 30 日～2 月 5 日	31	7 月 30 日～8 月 5 日
6	2 月 6 日～12 日	32	8 月 6 日～12 日
7	2 月 13 日～19 日	33	8 月 13 日～19 日
8	2 月 20 日～26 日	34	8 月 20 日～26 日
9	2 月 27 日～3 月 4 日	35	8 月 27 日～9 月 2 日
10	3 月 5 日～11 日	36	9 月 3 日～9 日
11	3 月 12 日～18 日	37	9 月 10 日～16 日
12	3 月 19 日～25 日	38	9 月 17 日～23 日
13	3 月 26 日～4 月 1 日	39	9 月 24 日～9 月 30 日
14	4 月 2 日～8 日	40	10 月 1 日～7 日
15	4 月 9 日～15 日	41	10 月 8 日～14 日
16	4 月 16 日～22 日	42	10 月 15 日～21 日
17	4 月 23 日～4 月 29 日	43	10 月 22 日～28 日
18	4 月 30 日～5 月 6 日	44	10 月 29 日～11 月 4 日
19	5 月 7 日～13 日	45	11 月 5 日～11 日
20	5 月 14 日～20 日	46	11 月 12 日～18 日
21	5 月 21 日～27 日	47	11 月 19 日～25 日
22	5 月 28 日～6 月 3 日	48	11 月 26 日～12 月 2 日
23	6 月 4 日～10 日	49	12 月 3 日～9 日
24	6 月 11 日～17 日	50	12 月 10 日～16 日
25	6 月 18 日～24 日	51	12 月 17 日～23 日
26	6 月 25 日～7 月 1 日	52	12 月 24 日～12 月 30 日

目 次

1. 事業の概要

- 1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム 1
- 1. 2 地域の区分と地域別定点数 4

2. 患者発生状況

- 2. 1 概要 6
- 2. 2 腸管出血性大腸菌感染症、風しん及び各定点把握対象疾病の動向 7
 - (1) 腸管出血性大腸菌感染症 8
 - (2) 風しん 9
 - (3) インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く） 10
 - (4) RS ウイルス感染症 11
 - (5) 咽頭結膜熱 12
 - (6) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 13
 - (7) 感染性胃腸炎 14
 - (8) 水痘 15
 - (9) 手足口病 16
 - (10) 伝染性紅斑 17
 - (11) 突発性発疹 18
 - (12) 百日咳 19
 - (13) ヘルパンギーナ 20
 - (14) 流行性耳下腺炎 21
 - (15) 急性出血性結膜炎 22
 - (16) 流行性角結膜炎 23
 - (17) 細菌性髄膜炎 24
 - (18) 無菌性髄膜炎 25
 - (19) マイコプラズマ肺炎 26
 - (20) クラミジア肺炎（オウム病を除く） 27
 - (21) 性器クラミジア感染症 28
 - (22) 性器ヘルペスウイルス感染症 30
 - (23) 尖圭コンジローマ 32
 - (24) 淋菌感染症 34
 - (25) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 36
 - (26) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 37
 - (27) 薬剤耐性緑膿菌感染症 38

3. 病原微生物検出状況

(1) 細菌による食中毒（疑）事例	39
(2) その他の細菌検査	39
(3) クドア（ヒラメ寄生虫）の検査	40
(4) 腸管出血性大腸菌感染症事例	40
(5) 結核 QFT 検査	41
(6) インフルエンザ流行予測調査検査成績（平成 23-24 年シーズン）	45
(7) インフルエンザ流行予測調査検査成績（平成 24-25 年シーズン）	45
(8) 日本脳炎流行予測調査結果	46
(9) 肝炎ウイルス及び日本紅斑熱検査結果	46
(10) 集団嘔吐下痢症事例からのノロウイルス検出結果	47
(11) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数（平成 24 年）	49
(12) 流行予測調査（ポリオ感染源調査）結果	54

4. 資料

(1) 全数把握対象疾病の患者数	56
(2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数	60
(3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数	63
(4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数	66
(5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数	68

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

1. 事業の概要

1. 1 兵庫県における感染症発生動向調査システム

図1に患者情報に関する兵庫県感染症発生動向調査システムを示す。コンピュータ・オンライン・システムは、結核およびその他の感染症の患者情報を迅速に収集、解析、還元することにより、適切な予防措置を講じ、流行を未然に防止することを目的として、昭和62年に結核・感染症サーベイランスシステムとして導入された。その後平成4年以降は厚生行政総合情報システム（WISH）上での運用となり、平成10年には対象疾病の若干の増加と一部疾病名の変更および患者の年齢階級区分の変更が行われた。同時にシステムの名称も兵庫県結核・感染症発生動向調査システムと改められた。

平成11年4月より「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」が施行された。これに伴い、当研究センター内に基幹地方感染症情報センターが設置され、政令市を含む兵庫県全域の感染症情報の集計・解析・情報還元の中核を担うこととなった。

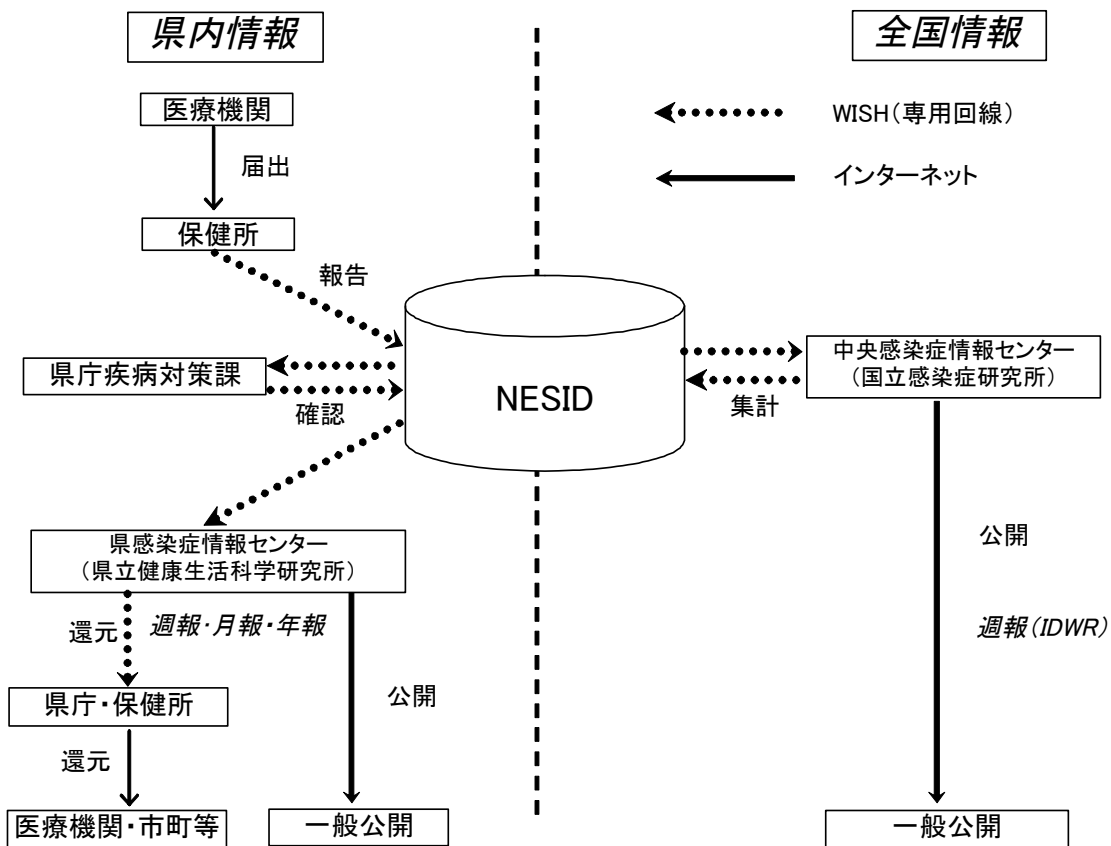
なお、この時点では結核は感染症法には一元化されず、従来の結核予防法の対象疾病のままとされたため、感染症発生動向調査の対象疾病とはならなかった。平成15年11月5日、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律及び検疫法の一部を改正する法律」が施行されるに伴い感染症発生動向調査も変更点があった。

平成18年4月からは感染症発生動向調査システムが全面的に新しくなった。従来は全国の保健所、都道府県及び政令市、国の各レベルにおいて情報を集積し、それらを取り扱うためのデータベースプログラムを全ての保健所に至るまで所有していたが、新システム（NESID）では情報は全て国レベルで一元管理され、ブラウザで情報を取り扱う方式となった。ネットワークは従来どおりWISHを用い、インターネットからは隔離されたクローズドなイントラネットとなっている。回線は国と全国の地方自治体を相互接続した広域ネットワークであるLGWAN（総合行政ネットワーク）を用いている。新システムにより、情報伝達の迅速化、セキュリティ向上、対象疾病等に変更があった場合の迅速対応（全国にプログラムを配布し、インストールする必要がないため）が図られた。

なお、平成19年4月には感染症法の改正があり発生動向調査の対象疾病の類型分けの変更や結核予防法の統合等の大幅な変更があった。

当感染症情報センターでは、表1、表2に示す感染症法の対象疾病である1類～5類感染症及び新型インフルエンザ等（全105疾病）のうち、全数把握の疾病（79疾病）については県内すべての医療機関からの患者発生届出を、定点把握の疾病（26疾病）については県内に指定された医療定点（全294定点）からの報告を、保健所を通じて集計・解析し、各種感染症の動向に関してコメントを付し週報、月報及び年報として保健所、市町、医師会、医療機関等に還元するとともに、ホームページを通じて広く県民に公開している。

図1 兵庫県感染症発生動向調査システム



NESID : National Epidemiological Surveillance of Infectious Diseases 厚生労働省感染症サーベイランスシステム

表1 全数把握の対象疾病（79疾病）

	対 象 疾 病
1 類感染症（7疾病）	(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱
2 類感染症（5疾病）	(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群（SARS コロナウイルスであるものに限る。）、(12)鳥インフルエンザ（H5N1）
3 類感染症（5疾病）	(13)コレラ、(14)細菌性赤痢、(15)腸管出血性大腸菌感染症、(16)腸チフス、(17)パラチフス
4 類感染症（42疾病）	(18)E型肝炎、(19)ウエストナイル熱、(20)A型肝炎、(21)エキノコックス症、(22)黄熱、(23)オウム病、(24)オムスク出血熱、(25)回帰熱、(26)キャサナル森林病、(27)Q熱、(28)狂犬病、(29)コクシジオイデス症、(30)サル痘、(31)腎症候性出血熱、(32)西部ウマ脳炎、(33)ダニ媒介脳炎、(34)炭疽、(35)チクングニア熱、(36)つつが虫、(37)デング熱、(38)東部ウマ脳炎、(39)鳥インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）を除く。）、(40)ニパウイルス感染症、(41)日本紅斑熱、(42)日本脳炎、(43)ハンタウイルス肺症候群、(44)Bウイルス病、(45)鼻疽、(46)ブルセラ症、(47)ベネズエラウマ脳炎、(48)ヘンドラウイルス感染症、(49)発しんチフス、(50)ボツリヌス症、(51)マラリア、(52)野兎病、(53)ライム病、(54)リッサウイルス感染症、(55)リフトバレー熱、(56)類鼻疽、(57)レジオネラ症、(58)レプトスピラ症、(59)ロッキー山紅斑熱
5 類感染症（16疾病）	(60)アメーバ赤痢、(61)ウイルス性肝炎（E型肝炎及びA型肝炎を除く。）、(62)急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。）、(63)クリプトスポリジウム症、(64)クロイツフェルト・ヤコブ病、(65)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(66)後天性免疫不全症候群、(67)ジアルジア症、(68)髄膜炎菌性髄膜炎、(69)先天性風しん症候群、(70)梅毒、(71)破傷風、(72)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(73)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(74)風しん、(75)麻しん
疑似症	法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (104) 摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状（明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。）、(105) 発熱及び発しん又は水疱（ただし、当該感染症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。）
新型インフルエンザ等感染症（2疾病）	(102) 新型インフルエンザ、(103) 再興型インフルエンザ

表2 定点把握対象疾病（5類感染症・26疾病）

患者定点	対 象 疾 病
小児科定点（週報） 129定点、11疾病	(76)RSウイルス感染症、(77)咽頭結膜熱、(78)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(79)感染性胃腸炎、(80)水痘、(81)手足口病、(82)伝染性紅斑、(83)突発性発しん、(87)百日咳、(85)ヘルパンギーナ、(86)流行性耳下腺炎
インフルエンザ定点（週報） 199定点、1疾病	(87)インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）
眼科定点（週報） 35定点、2疾病	(88)急性出血性結膜炎、(89)流行性角結膜炎
STD定点（月報） 46定点、4疾病	(90)性器クラミジア感染症、(91)性器ヘルペスウイルス感染症、(92)尖圭コンジローマ、(93)淋菌感染症
基幹定点（週報） 14定点、4疾病	(94)クラミジア肺炎（オウム病を除く。）、(95)細菌性髄膜炎、(97)マイコプラズマ肺炎、(98)無菌性髄膜炎
基幹定点（月報） 14定点、4疾病	(96)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(99)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(100)薬剤耐性アシネトバクター感染症、(101)薬剤耐性緑膿菌感染症

1. 2 地域の区分と地域別定点数

図2に二次医療圏を単位とする地域の区分を示す。表3に地域別定点数と人口の関係を示す。平成24年の定点医療機関は本誌の69～74ページに示している。

平成24年の定点数は、インフルエンザ199定点、小児科129定点、眼科35定点、STD46定点、基幹14定点である。

図2 地域の区分

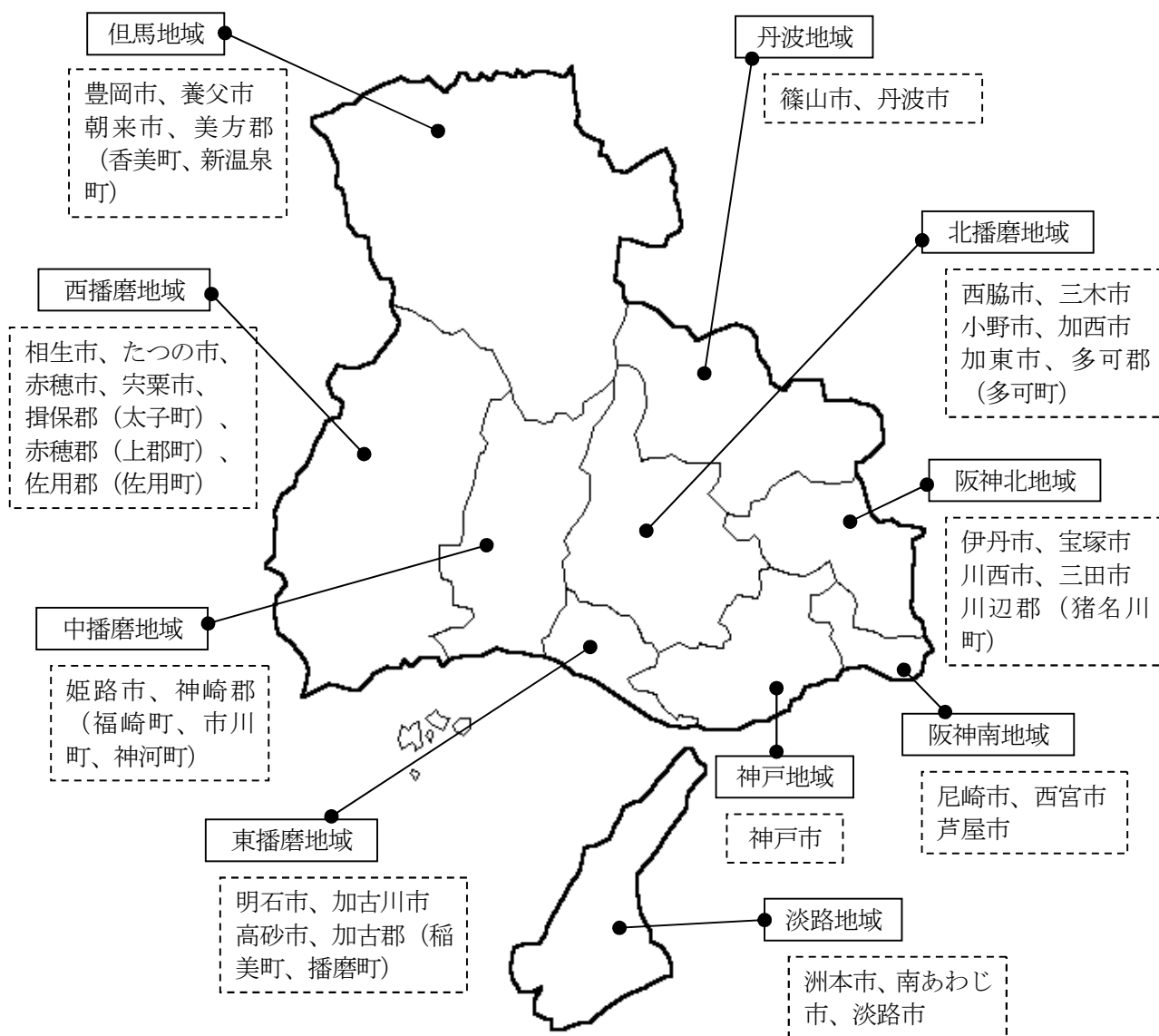


表3 地域別定点数と人口の関係

区 分	人 口 (万人)	人口比 (%)	インフルエンザ ^a 定点		小児科定点		眼科定点		STD 定点		基幹定点	
			定点数	定点あた りの人口 (万人)	定点数	定点あた りの人口 (万人)	定点数	定点あた りの人口 (万人)	定点数	定点あた りの人口 (万人)	定点数	定点あた りの人口 (万人)
神戸地域	154.4	27.7	48	3.2	31	5.0	10	15.4	12	12.9	3	51.5
阪神南地域	102.9	18.5	32	3.2	21	4.9	7	14.7	8	12.9	2	51.5
阪神北地域	72.7	13.0	21	3.5	14	5.2	4	18.2	5	14.5		
東播磨地域	71.7	12.9	25	2.9	16	4.5	5	14.3	6	11.9	1	71.7
北播磨地域	28.1	5.0	13	2.2	8	3.5	2	14.1	3	9.4	1	28.1
中播磨地域	58.1	10.4	21	2.8	14	4.1	4	14.5	5	11.6	1	58.1
西播磨地域	26.9	4.8	14	1.9	9	3.0	1	26.9	2	13.4	2	13.4
但馬地域	17.6	3.2	11	1.6	7	2.5	1	17.6	2	8.8	2	8.8
丹波地域	10.9	2.0	6	1.8	4	2.7			1	10.9	1	10.9
淡路地域	14.1	2.5	8	1.8	5	2.8	1	14.1	2	7.0	1	14.1
合 計	557.4	100.0	199	2.8	129	4.3	35	15.9	46	12.1	14	39.8

(人口:平成24年7月1日推計人口)

2. 患者発生状況

2. 1 概要

2. 1. 1 全数把握対象疾病

付表 1-1 及び 1-2 に、平成 24 年の全数把握対象疾病の患者数を示した。患者数は平成 25 年 11 月 12 日現在の当情報センターにおける把握による。

年間患者報告数は、1 類感染症は報告がなく、2 類感染症は結核 1,415 名 (1,568 名) であった。3 類感染症は細菌性赤痢 5 名 (6 名)、腸管出血性大腸菌感染症 95 名 (116 名)、腸チフス 2 名 (1 名) であった。

4 類感染症は E 型肝炎 1 名 (3 名)、A 型肝炎 5 名 (5 名)、つつが虫病 2 名 (2 名)、デング熱 8 名 (4 名)、日本紅斑熱 1 名 (1 名)、マラリア 3 名 (3 名)、ライム病 0 名 (1 名)、レジオネラ症 49 名 (46 名) であった。

5 類感染症はアメーバ赤痢 29 名 (29 名)、ウイルス性肝炎 (E 型肝炎及び A 型肝炎を除く) 15 名 (15 名)、急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く) 10 名 (9 名)、クロイツフェルト・ヤコブ病 6 名 (5 名)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 5 名 (6 名)、後天性免疫不全症候群 46 名 (45 名)、ジアルジア症 7 名 (4 名)、髄膜炎菌性髄膜炎 1 名 (0 名)、先天性風しん症候群 2 名 (0 名)、梅毒 18 名 (35 名)、破傷風 2 名 (2 名)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 3 名 (2 名)、風しん 281 名 (8 名)、麻しん 16 名 (14 名) であった。

風しんは全数把握対象疾病となった平成 20 年以降で最大の流行となり、先天性風しん症候群は対象疾病となった平成 11 年以降で初めての患者報告となった。

* () 内は平成 23 年の患者数

2. 1. 2 定点把握対象疾病

表 4 に週報疾病別年間患者数を、表 5 に月報疾病別年間患者数を示す。

週報対象疾病のうち、インフルエンザ定点及び小児科定点対象疾病で患者数の多い疾病は、インフルエンザ 67,789 人、感染性胃腸炎 56,577 人、水痘 8,175 人、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 7,023 人、ヘルパンギーナ 4,804 人、の順であった。昨年と比較すると、インフルエンザ [45,858 人→67,789 人] と感染性胃腸炎 [46,455 人→56,577 人] は患者数が顕著に増加し、手足口病 [19,059 人→686 人] は患者数が顕著に減少した。眼科定点対象疾病では、流行性角結膜炎の患者数が [935 人→656 人] と減少した。基幹定点対象疾病ではマイコプラズマ肺炎が [165 人→484 人] と患者数が増加した。

月報対象疾病のうち性感染症では、性器クラミジア感染症 [842 人→854 人] は患者数が僅かに増加し、尖圭コンジローマ [204 人→145 人] と淋菌感染症 [395 人→379 人] は患者数が減少した。薬剤耐性菌感染症では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 [470 人→424 人] とペニシリン耐性肺炎球菌感染症 [44 人→31 人] の患者数が減少した。

表4 疾病別年間患者数（週報）

疾 病 名	患者数	定点あたり (H22)	患者数	定点あたり (H23)	患者数	定点あたり (H24)
インフルエンザ*	9,279	46.70	45,858	230.29	67,789	340.65
RSウイルス感染症	3,038	23.58	3,059	23.70	3,917	30.36
咽頭結膜熱	1,832	14.22	3,296	25.53	1,613	12.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6,654	51.65	8,188	63.43	7,023	54.44
感染性胃腸炎	54,160	420.41	46,455	359.85	56,577	438.58
水痘	10,244	79.52	9,567	74.11	8,175	63.37
手足口病	8,994	69.81	19,059	147.63	686	5.32
伝染性紅斑	1,529	11.87	3,383	26.21	805	6.24
突発性発しん	3,609	28.01	3,599	27.88	3,642	28.23
百日咳	283	2.20	293	2.27	136	1.05
ヘルパンギーナ	5,644	43.81	5,184	40.16	4,804	37.24
流行性耳下腺炎	8,369	64.96	6,823	52.85	1,965	15.23
急性出血性結膜炎	18	0.51	24	0.69	21	0.60
流行性角結膜炎	777	22.21	935	26.73	656	18.74
細菌性髄膜炎	14	1.00	15	1.07	17	1.21
無菌性髄膜炎	45	3.21	39	2.79	61	4.36
マイコプラズマ肺炎	35	2.50	165	11.79	484	34.57
クラミジア肺炎（オウム病を除く）	1	0.07	15	1.07	25	1.79

* 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

表5 疾病別年間患者数（月報）

疾 病 名	患者数	定点あたり (H22)	患者数	定点あたり (H23)	患者数	定点あたり (H24)
性器クラミジア感染症	1,015	22.07	842	18.30	854	18.57
性器ヘルペスウイルス感染症	235	5.11	259	5.63	264	5.74
尖圭コンジローマ	208	4.52	204	4.43	145	3.15
淋菌感染症	333	7.24	395	8.59	379	8.24
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	597	42.64	470	33.57	424	30.29
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	118	8.43	44	3.14	31	2.21
薬剤耐性緑膿菌感染症	10	0.71	6	0.43	6	0.43
薬剤耐性アシネトバクター感染症	—	—	0	0.00	0	0.00

2. 2 腸管出血性大腸菌感染症、風しん及び定点把握対象疾病の動向

平成24年の感染症発生動向調査事業における週報及び月報の患者情報を解析し、週（月）別患者数、年齢階級別患者数を求めた。STD対象疾病では性別・年齢階級別患者数を求めた。全数把握対象疾病では、例年患者数の多い腸管出血性大腸菌感染症及び平成24年に大流行した風しんを取り上げ、週別患者数及び年齢階級別患者数を求めた。ここで求めた統計表は付表として本誌55～68ページに掲載した。以下に各疾病の動向を示す。

(1) 腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症の年間患者数は95名で、昨年の116名より減少した。24週（6月中旬）から41週（10月中旬）までが患者発生の多い時期となっていた。

年齢階級別患者発生割合では、0～9歳の割合が年々減少しており、今年は全体の31%となっていた。60歳以上の割合は昨年よりも減少し、全体の12%を占めていた。

図 3-1 腸管出血性大腸菌感染症の患者発生状況

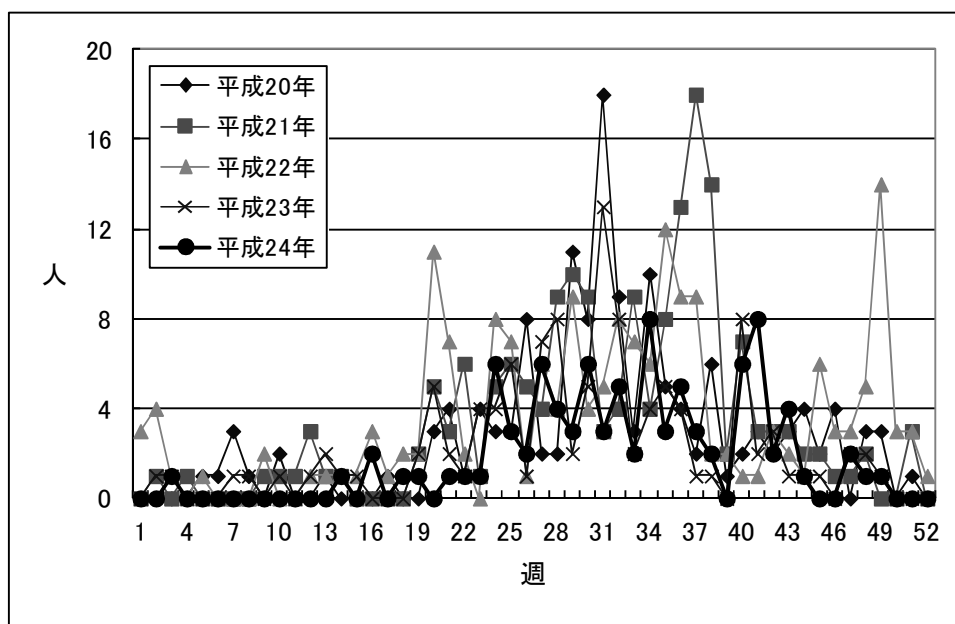
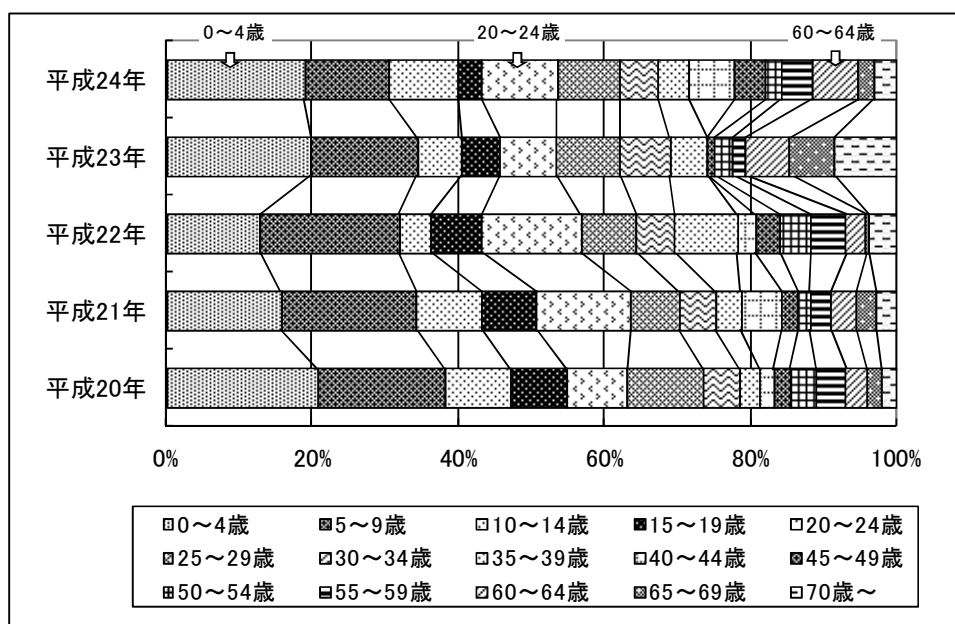


図 3-2 腸管出血性大腸菌感染症の年齢階級別患者発生割合



(2) 風しん

風しんは平成20年に全数対象疾病となった。年間患者数は平成20年14名、21年7名、22年6名、23年8名と少ない状況が続いていたが、24年は281名と急増した。平成24年の患者報告は第8週(2月下旬)から始まり、20~35週(5月中旬~8月下旬)の間にピークを示した。患者報告はその後減少傾向を続けたが、完全に終息することはなかった。

平成24年の患者281名の性別分布は男性213名、女性68名で、男性患者が全体の76%を占めていた。患者の年齢分布をみると、男性は15~44歳の患者が182名(男性患者の85%)、女性は15~29歳の患者が33名(女性患者の49%)と、特定の年齢層に患者の集積がみられた。

図4-1 風しんの患者発生状況

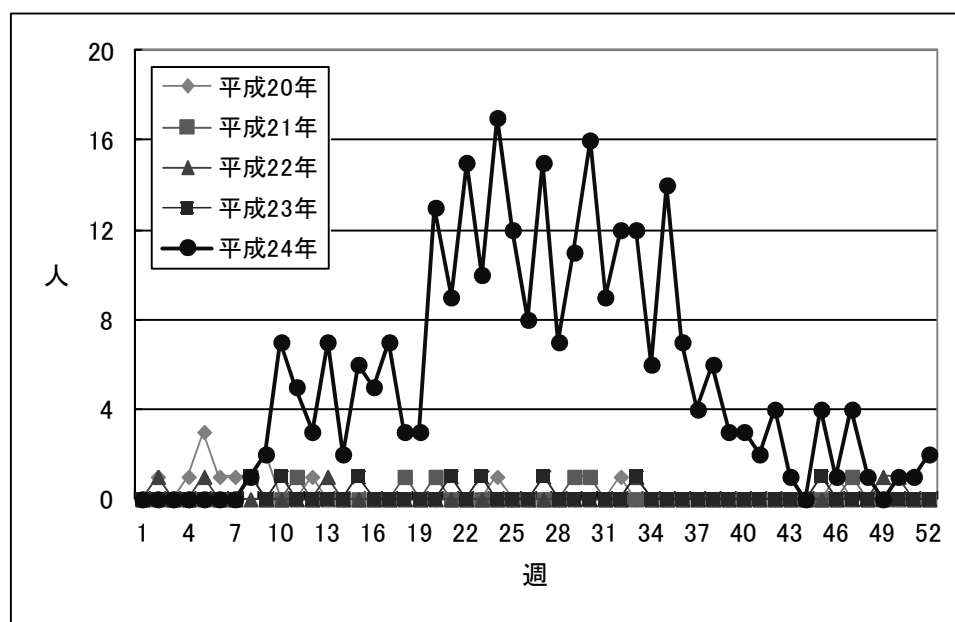
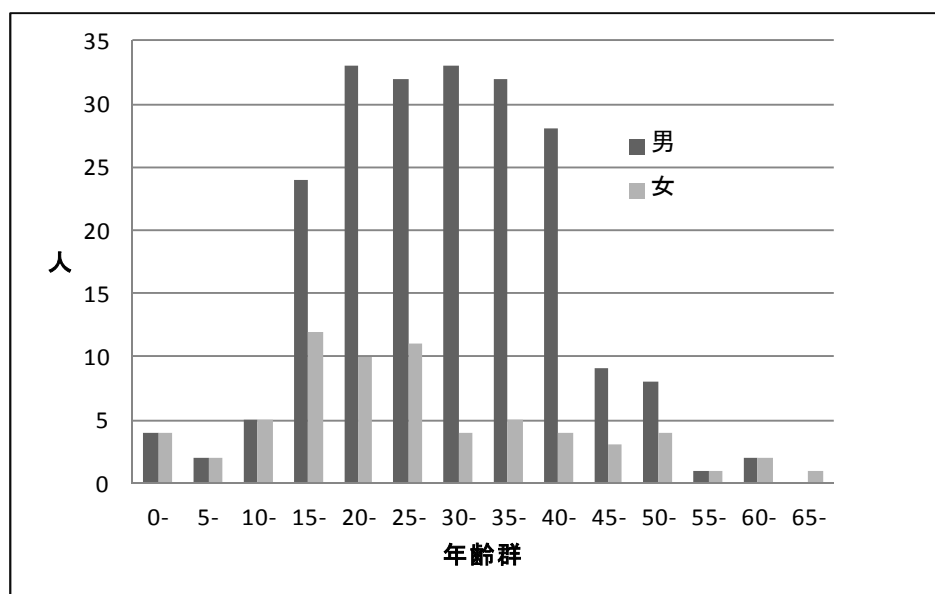


図4-2 風しん患者の性別年齢分布 (平成24年)



(3) インフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く）

年間定点あたり患者数は340.65人で、昨年の230.29人より増加した。

定点あたり患者数は第5週（1月下旬）にピーク（42.46人）を示した後減少を続け、18週（5月上旬）に1.0人未満となった。

当研究所で行った病原体サーベイランスの結果から、年初から5週にかけてはA(H3N2)が主な原因となった流行、7週（2月中旬）以降はB型が主な原因となった流行と考えられた。

年齢階級別患者発生割合では、9歳以下の患者が全体の62%を占め、14歳以下が全体の82%と大部分を占めていた。

図5-1 インフルエンザの週別定点あたり患者発生状況

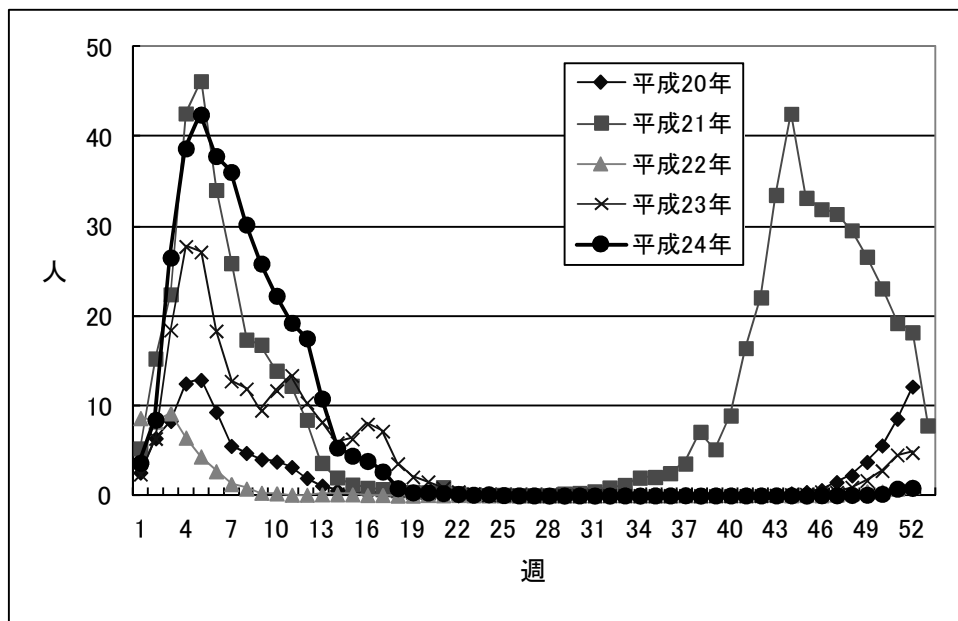
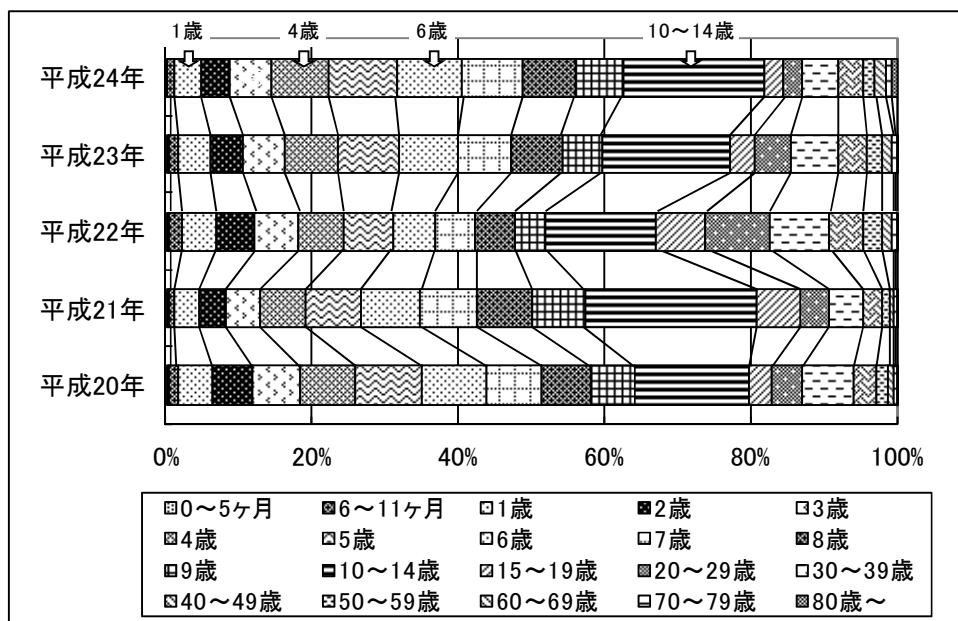


図5-2 インフルエンザの年齢階級別患者発生割合



(4) RS ウイルス感染症

本疾病は平成 15 年 11 月に小児科定点対象疾病となった。患者報告には検査診断が必要だが、平成 23 年 10 月より迅速診断キットによる抗原検査の保険適用が拡大され、従来入院患者に加えて外来患者の乳児（1 歳未満）等にも適用可能となった。

平成 24 年の年間患者数 3,917 人（定点あたり 30.36 人）は、観測が始まってから最大の患者数となった。例年冬期にピークがみられる疾病だが、24 年は例年よりも早い第 36 週（9 月上旬）から患者数が増加した。

年齢階級別患者発生割合は、0 歳の患者が全体の 39%、1 歳以下の患者が全体の 72%を占めていた。

図 6-1 RS ウイルス感染症の週別定点あたり患者発生状況

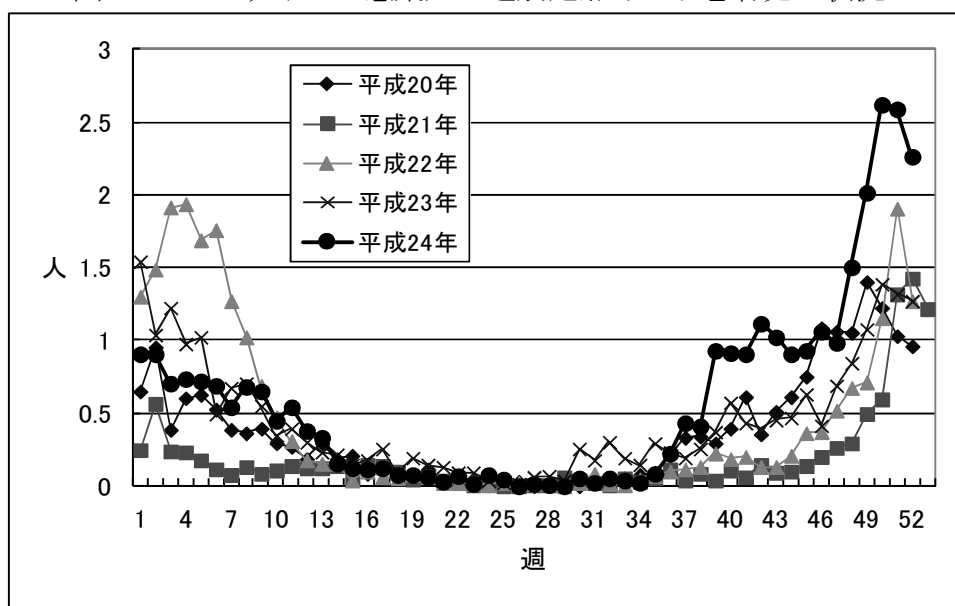
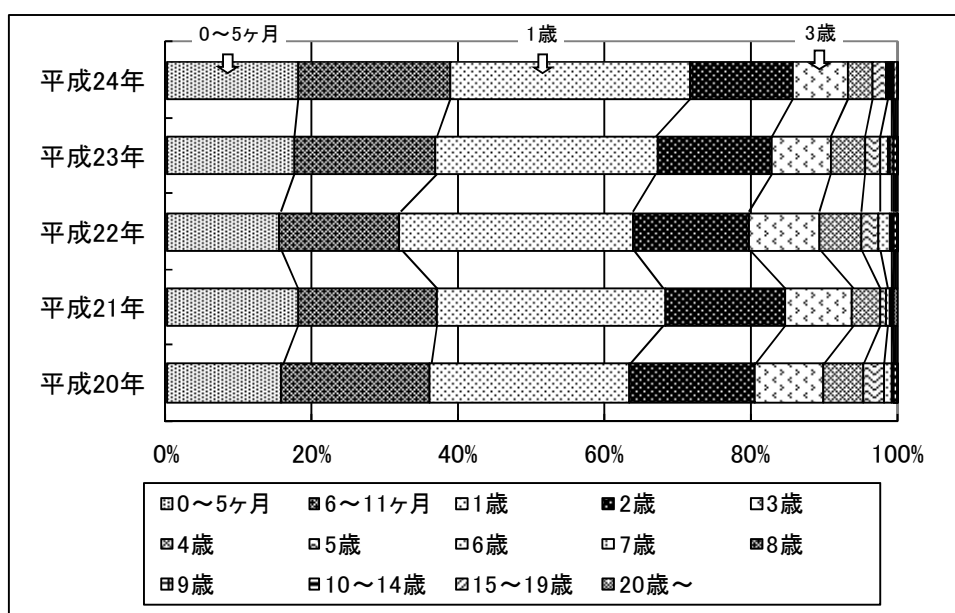


図 6-2 RS ウイルス感染症の年齢階級別患者発生割合



(5) 咽頭結膜熱

咽頭結膜熱の年間定点あたり患者数は、昨年の 25.53 人から本年の 12.50 人とほぼ半減した。主に夏季に流行する感染症だが、患者数の少ない平成 24 年は季節変動の小さい年となった。年齢階級別患者発生割合は、0～5 歳で全体の 78%、0～9 歳で全体の 93%を占めていた。

図 7-1 咽頭結膜熱の週別定点あたり患者発生状況

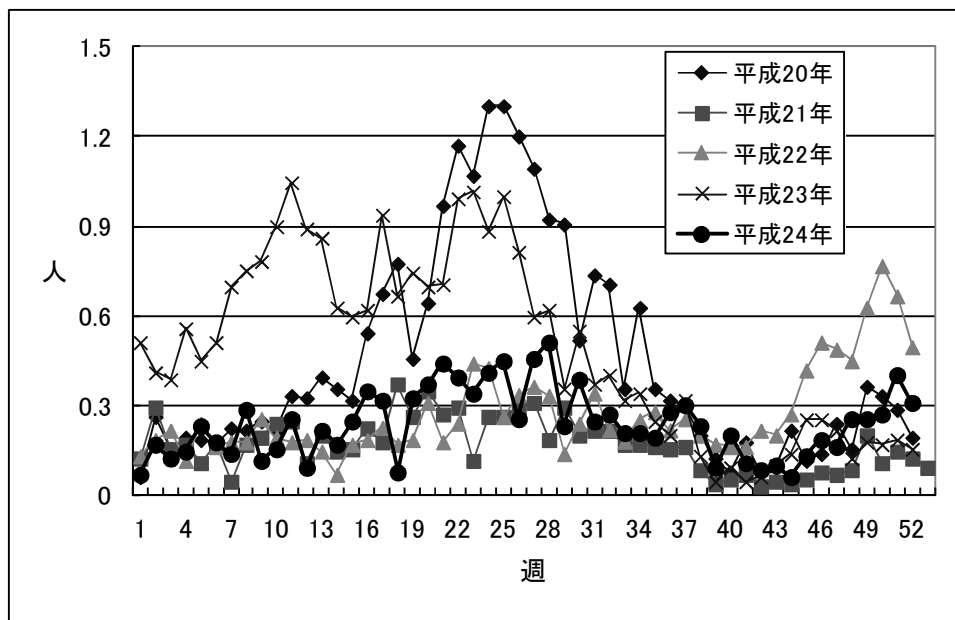
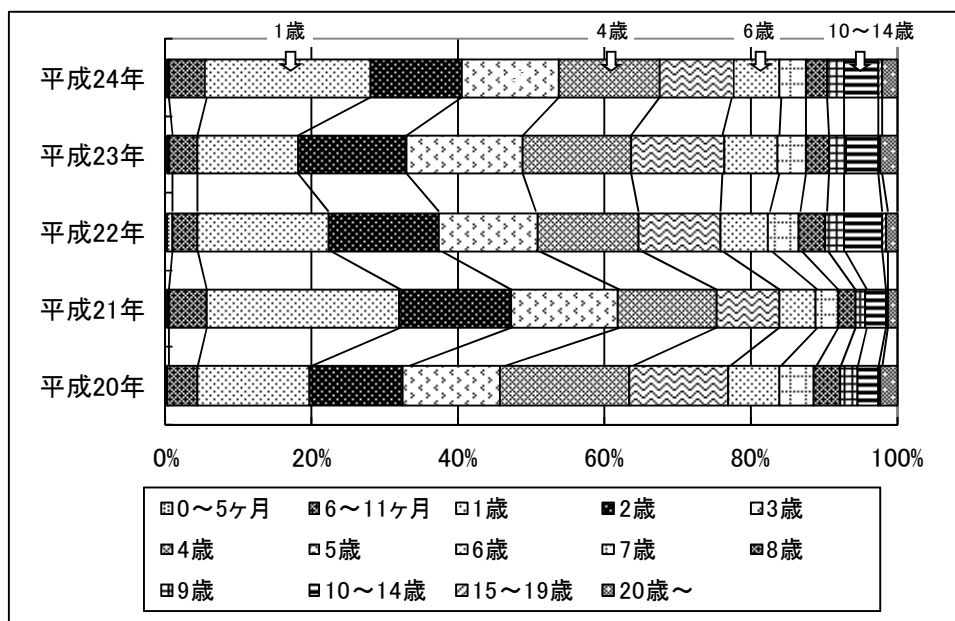


図 7-2 咽頭結膜熱の年齢階級別患者発生割合



(6) A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

年間の定点あたり患者数は昨年の 63.43 人から 54.44 人と減少した。

例年冬期から初夏にかけて患者数の多い疾病であるが、平成 24 年は 5 月中旬から 6 月中旬までの間に流行のピークがみられた。

年齢階級別患者発生割合では、0 歳の患者が全体の 0.8% と少なく、1~9 歳の患者が全体の 84% を占めていた。

図 8-1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の週別定点あたり患者発生状況

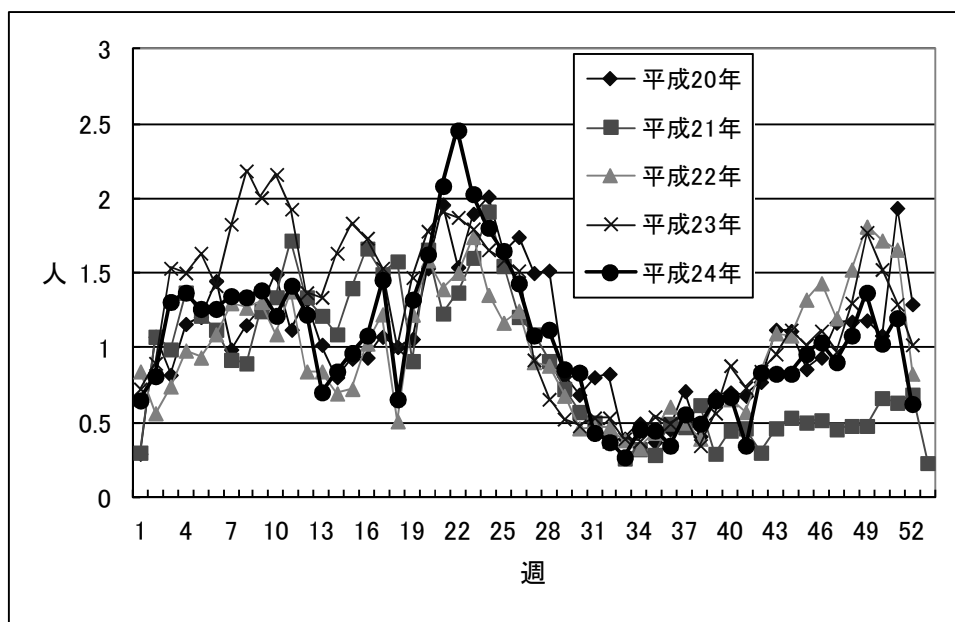
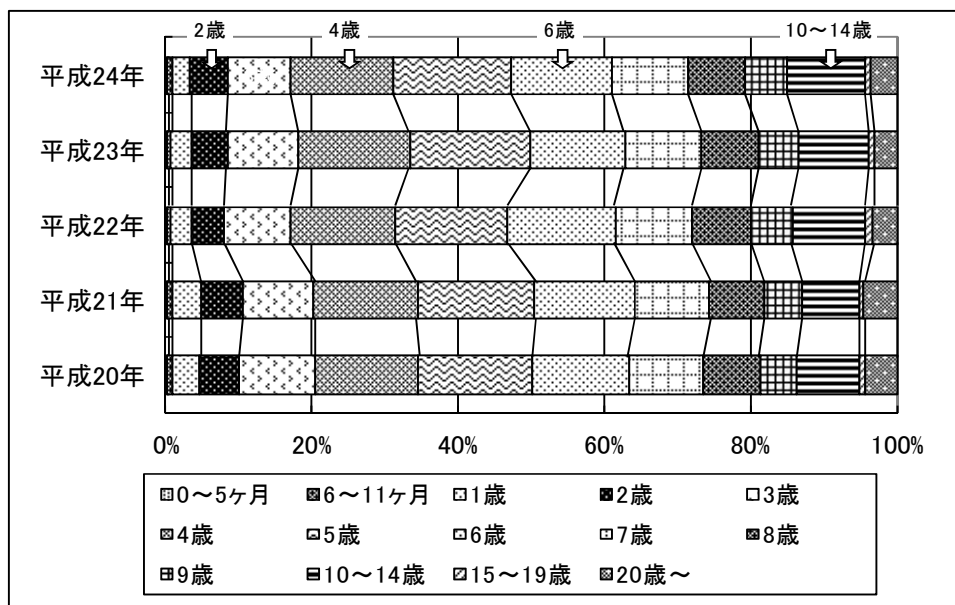


図 8-2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の年齢階級別患者発生割合



(7) 感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の年間定点あたり患者数は、昨年の 359.85 人から本年の 438.58 人と大きく増加した。

年明けから 4 月末までの患者発生状況は例年並みだったが、第 19 週（5 月上旬）から 28 週（7 月中旬）にかけての 22 週（5 月下旬）をピークとする発生と、39 週（9 月下旬）から年末にかけての 45 週（11 月上旬）をピークとする発生は、例年より増加した。特に 39 週以降の患者発生は例年に比べて立ち上がりが極めて早く、患者数も著しく増加した。

年齢階級別患者発生割合は例年と比べて大きな変化はみられず、0～5 歳の患者が全体の 62% を占めていた。

図 9-1 感染性胃腸炎の週別定点あたり患者発生状況

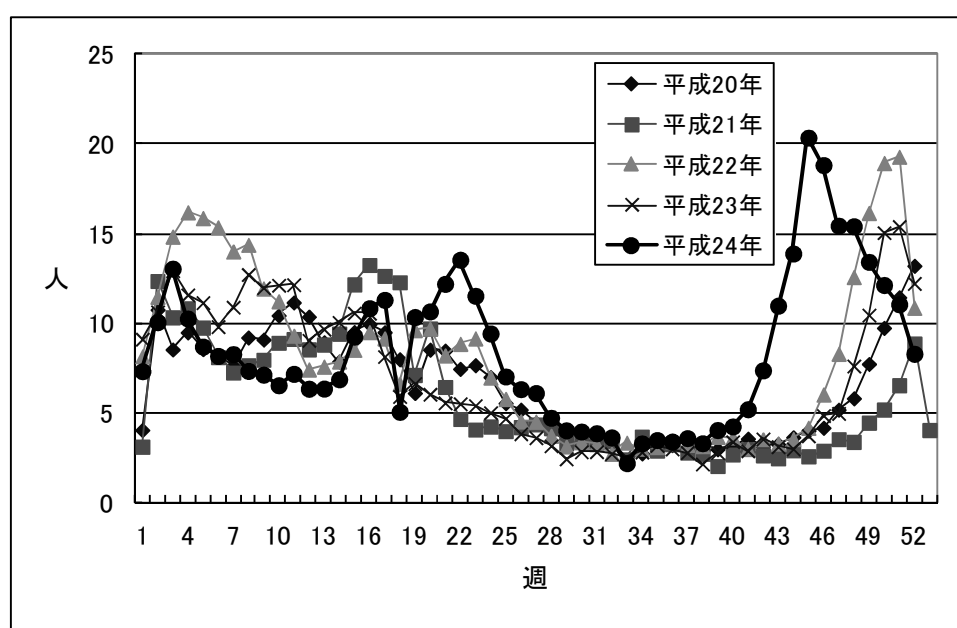
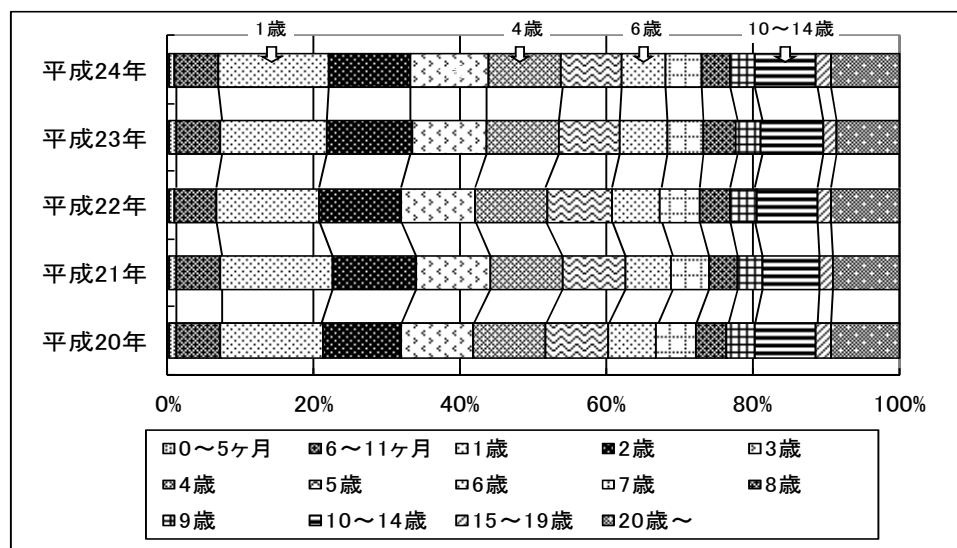


図 9-2 感染性胃腸炎の年齢階級別患者発生割合



(8) 水痘

水痘の年間定点あたり患者数は、昨年の 74.11 人から本年の 63.37 人と減少した。

患者の発生は、例年年明けから 5 月末頃まで多い状態が続き、夏から秋にかけて減少した後、10 月下旬から年末にかけて再び増加するパターンを示すが、本年も同様の傾向がみられた。

年齢階級別患者発生割合は、1～5 歳の患者が全体の 75%と多く、0～5 歳で全体の 82%を占めていた。

図 10-1 水痘の週別定点あたり患者発生状況

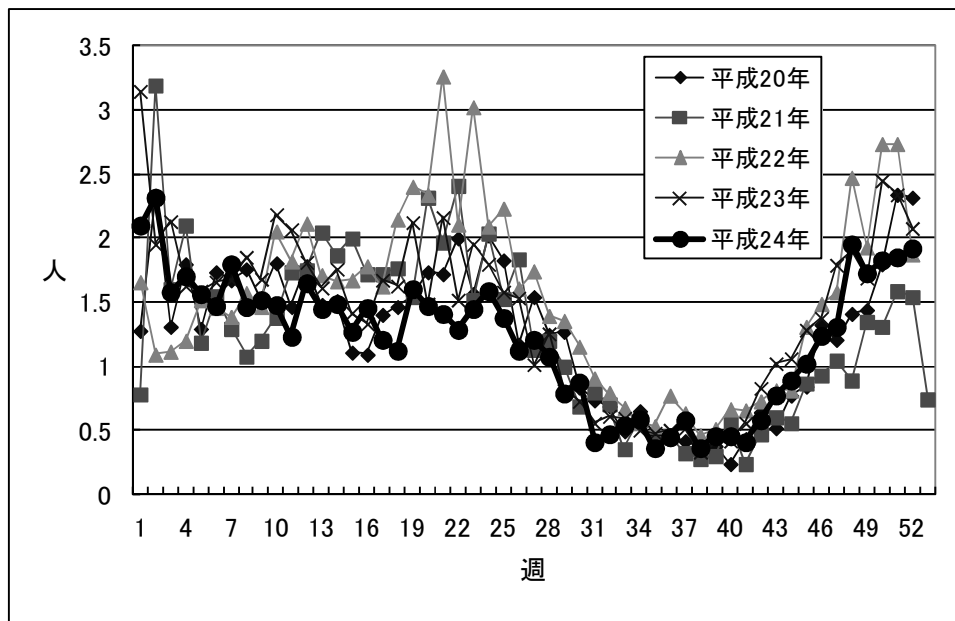
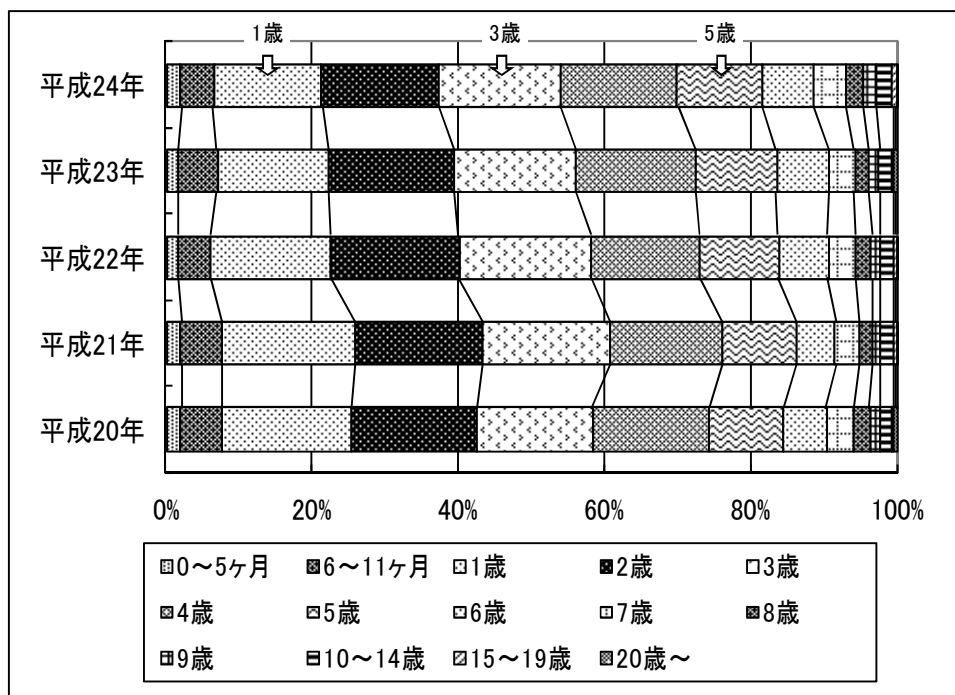


図 10-2 水痘の年齢階級別患者発生割合



(9) 手足口病

手足口病の年間定点あたり患者数は、大流行した昨年の 147.63 人から本年の 5.32 人と、28 分の 1 近くまで激減した。

週別定点あたり患者数は第 30 週（7 月下旬）に極めて小さなピークを示したが、その値は定点あたり 0.28 人にすぎず、流行がみられない状況で 1 年が経過した。

年齢階級別患者発生割合は 0～5 歳で全体の 88%、0～9 歳で全体の 97%を占めていた。

図 11-1 手足口病の週別定点あたり患者発生状況

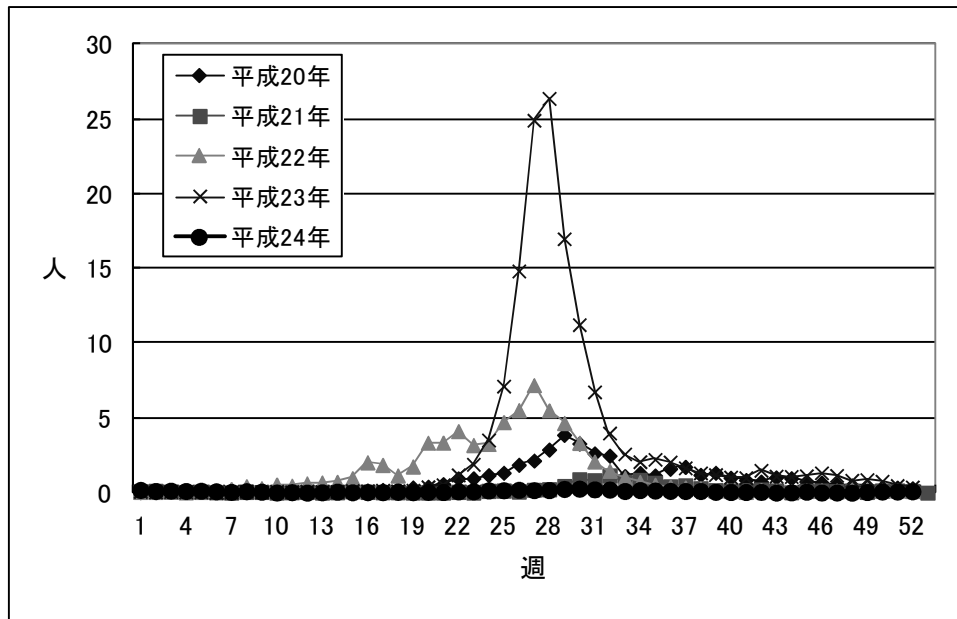
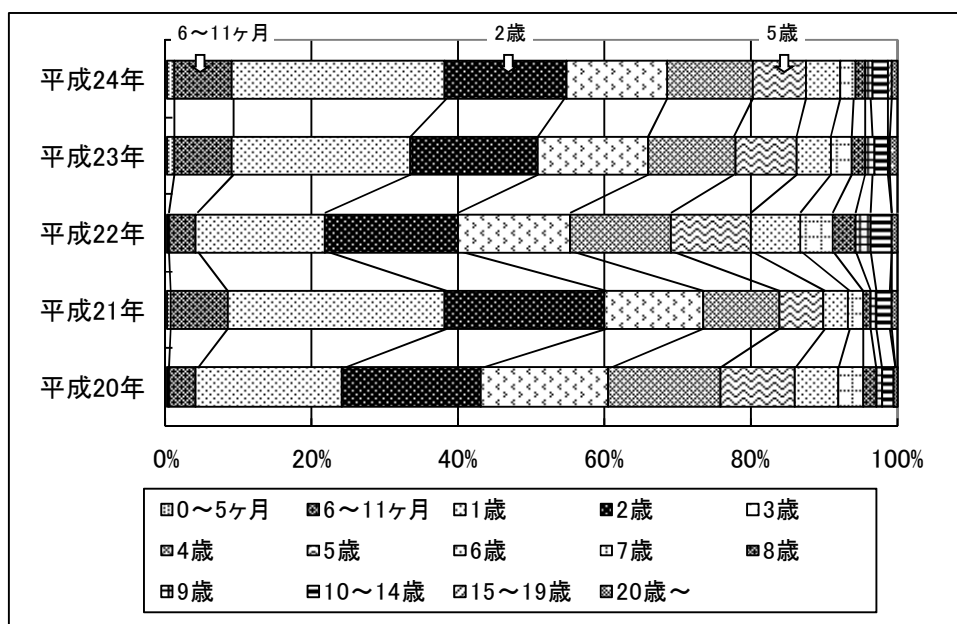


図 11-2 手足口病の年齢階級別患者発生割合



(10) 伝染性紅斑

伝染性紅斑の年間定点あたり患者数は、発生の多かった昨年の26.21人から本年の6.24人と、約4分の1に減少した。

患者発生の季節変動については、本年は夏季に患者数が増加する傾向がみられず、年初から第28週（7月中旬）まで定点あたり0.2人前後で推移した後0.1人以下に減少し、そのまま年末を迎えた。

年齢階級別患者発生割合では、0～9歳の患者が全体の93%を占めていた。

図 12-1 伝染性紅斑の週別定点あたり患者発生状況

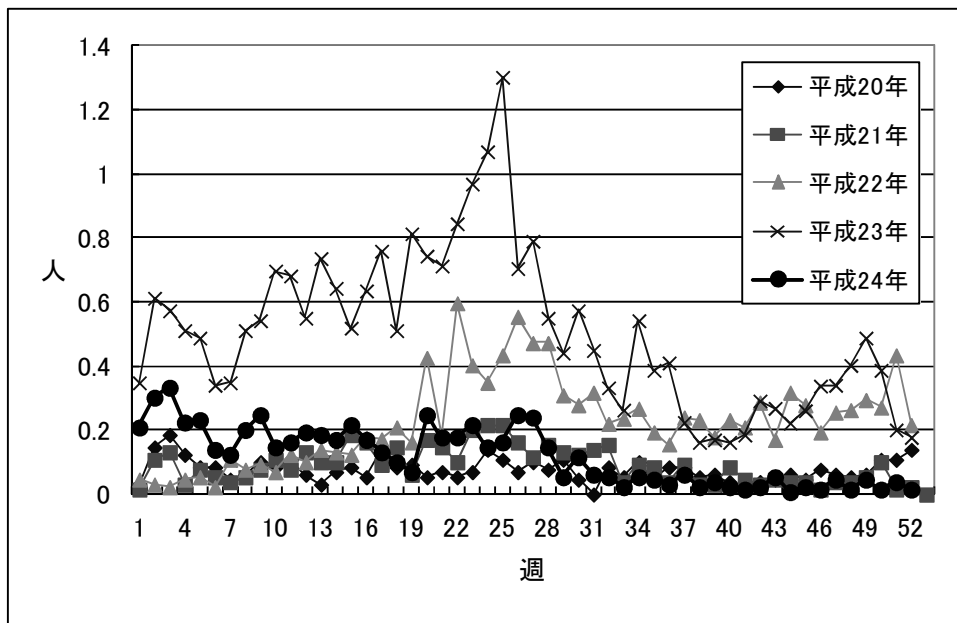
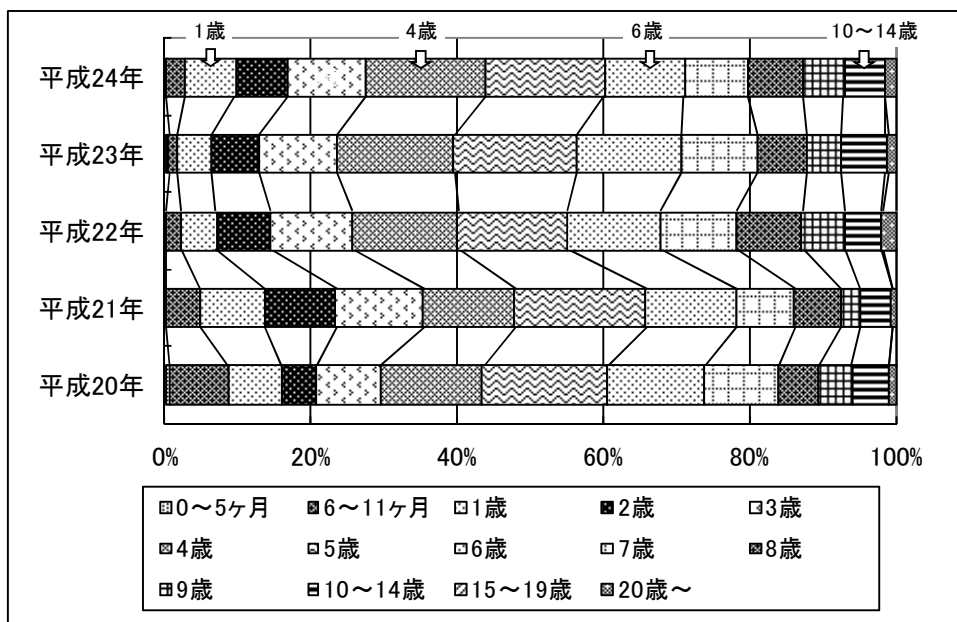


図 12-2 伝染性紅斑の年齢階級別患者発生割合



(11) 突発性発しん

突発性発しんは通年患者の発生がみられ、かつ季節性のあまりない疾病である。平成12年以降緩やかな減少傾向が続いていたが、年間定点あたり患者数は昨年の27.88人から本年の28.23人へとわずかながら増加した。

年齢階級別患者発生割合の経年変化をみると、0歳患者の割合が年々減少し、1歳患者の割合が年々増加している。本年は、0歳の患者が全体の47%、1歳の患者が全体の46%を占めていた。

図13-1 突発性発しんの週別定点あたり患者発生状況

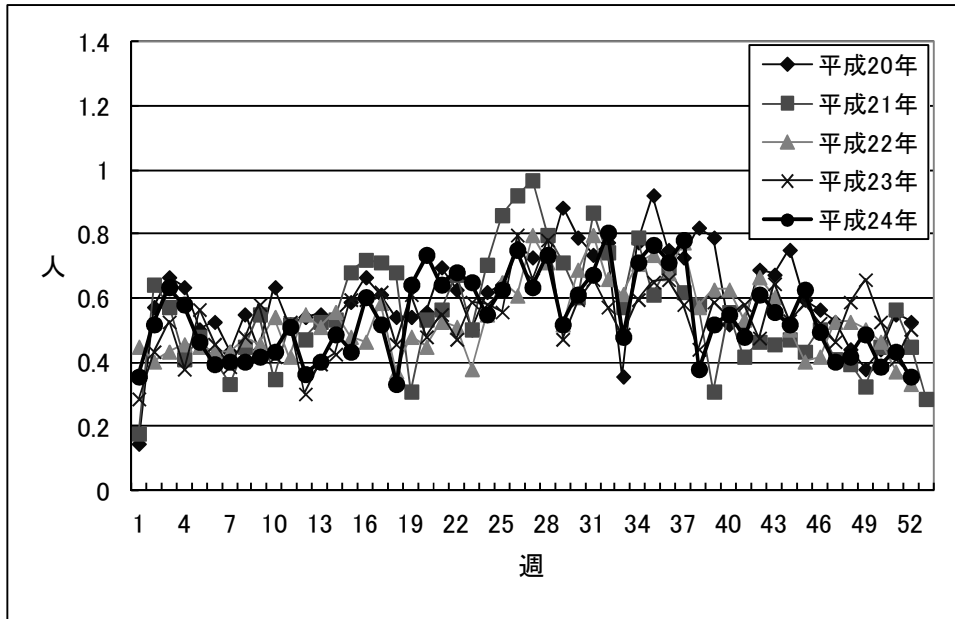
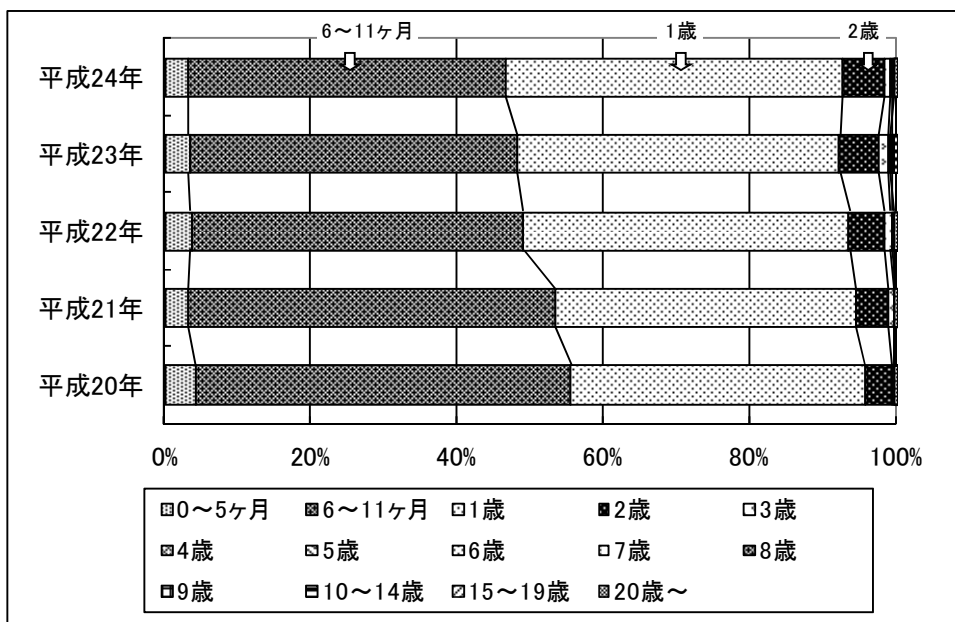


図13-2 突発性発しんの年齢階級別患者発生割合



(12) 百日咳

百日咳は患者発生数が比較的少ない疾病である。年間患者数は昨年293名だったが、本年は136名と減少した。

患者の年齢分布に関しては、平成18年までは乳幼児の患者が多かったが、その後は10歳以上の患者が増加している。本年の年齢階級別患者発生割合は、0歳18%、1～4歳18%、5～9歳18%、10歳代13%、20歳以上33%となっていた。

図14-1 百日咳の週別定点あたり患者発生状況

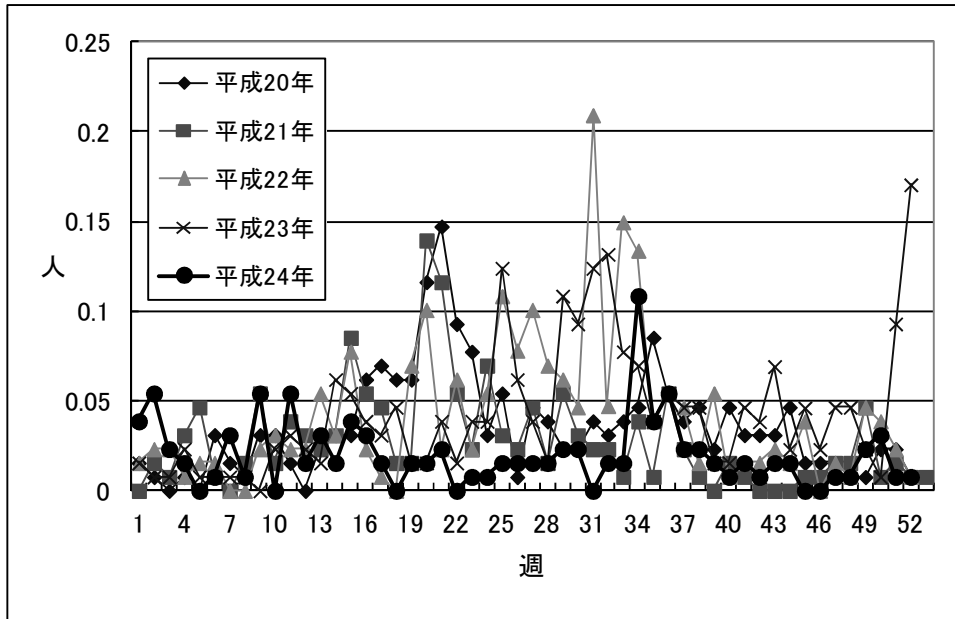
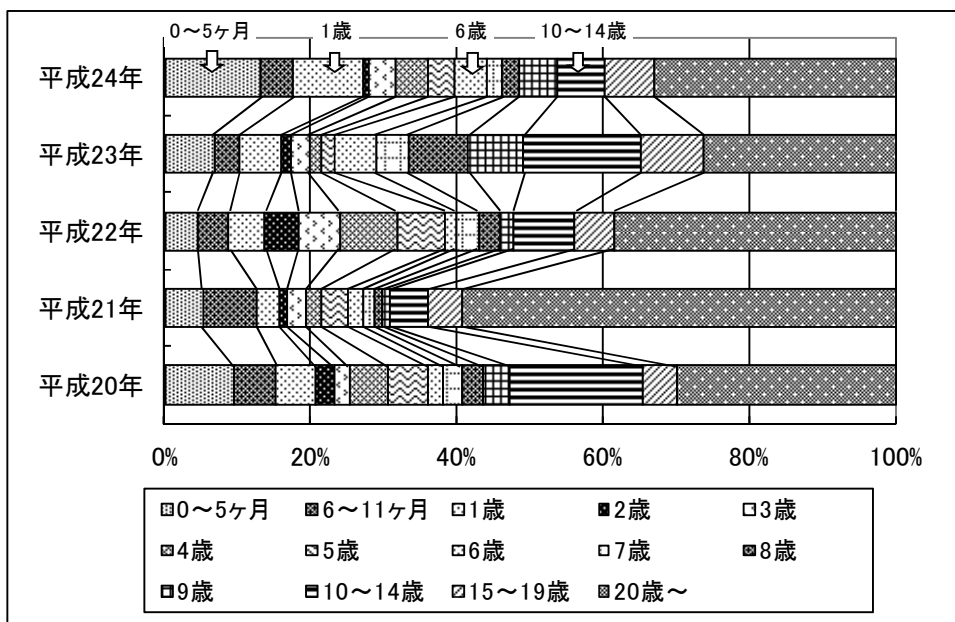


図14-2 百日咳の年齢階級別患者発生割合



(13) ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナの年間定点あたり患者数は30～60人程度の幅で増減を繰り返しているが、
 本年は37.24人であった。

患者の発生は20週（5月中旬）頃に始まり、40週（10月上旬）頃に終息する。本年のピークは28週（7月上旬）であった。

年齢階級別患者発生割合は例年同様の傾向がみられ、0～5歳の患者が全体の87%を占めていた。

図15-1 ヘルパンギーナの週別定点あたり患者発生状況

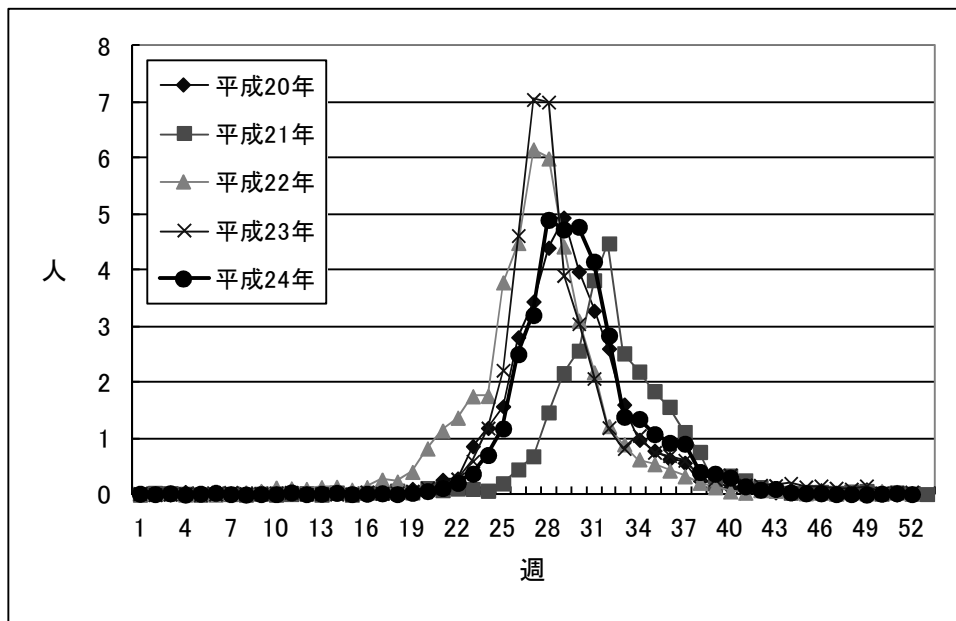
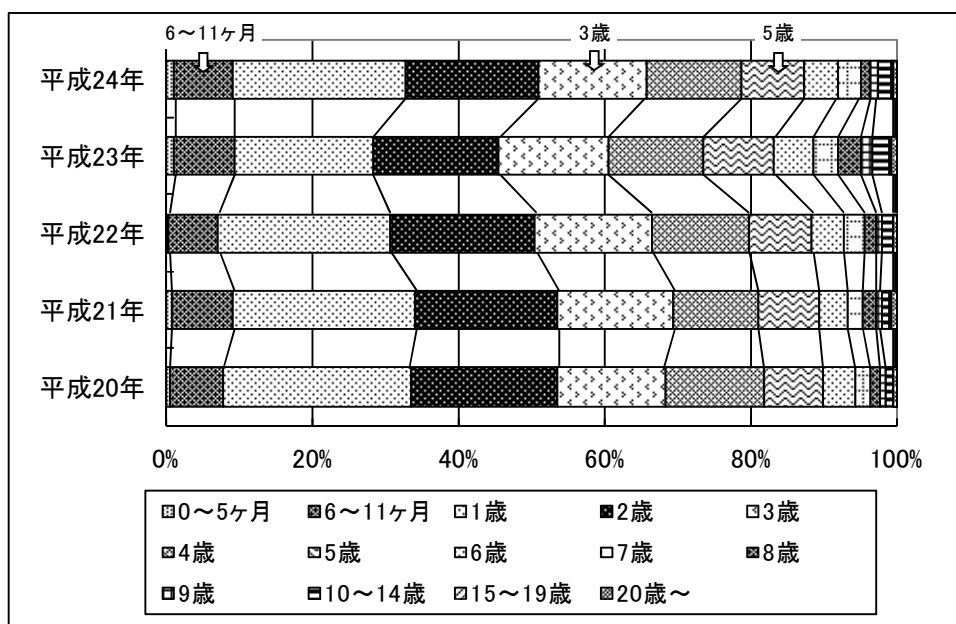


図15-2 ヘルパンギーナの年齢階級別患者発生割合



(14) 流行性耳下腺炎

流行性耳下腺炎は平成22年、23年と患者数の多い状態が続いたが、本年は患者数の少ない年となった。すなわち、年間定点あたり患者数は昨年の52.85人から本年は15.23人と、昨年の29%にまで減少した。

年齢階級別患者発生割合は例年とほぼ同じで、1～9歳の患者が全体の89%を占めていた。

図16-1 流行性耳下腺炎の週別定点あたり患者発生状況

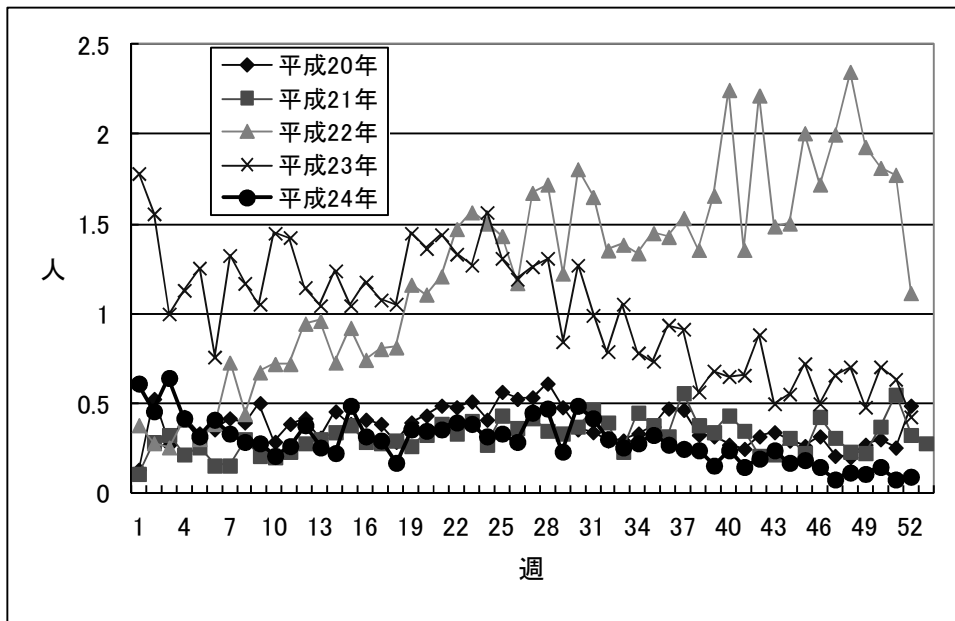
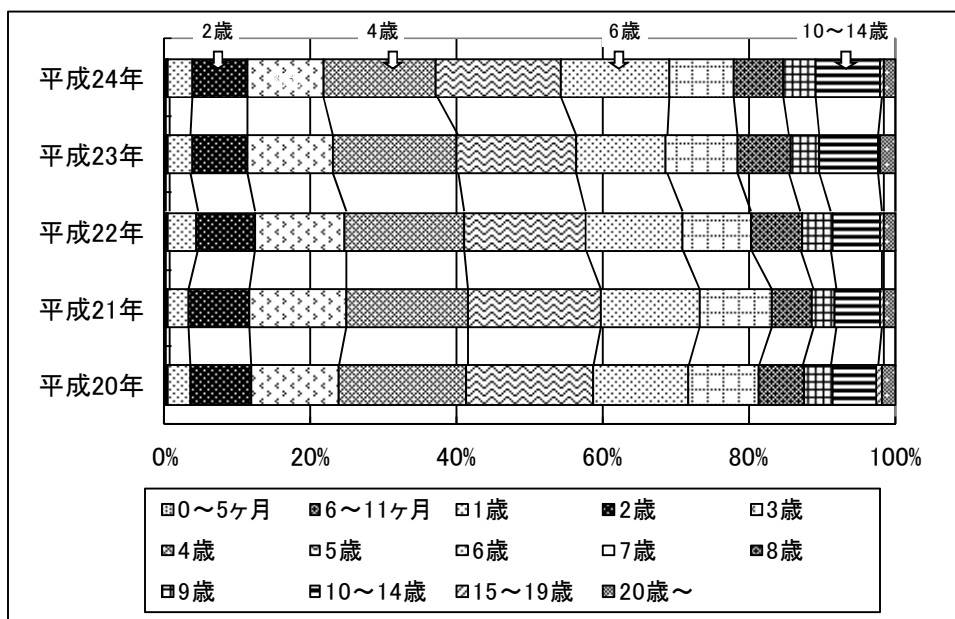


図16-2 流行性耳下腺炎の年齢階級別患者発生割合



(15) 急性出血性結膜炎

急性出血性結膜炎の年間患者数は、平成19年以降同程度の状況で推移している。昨年の患者数は24人、本年の患者数は21人であった。

年齢階級別患者発生割合では、20歳以上の患者が全体の67%を占めていた。

図17-1 急性出血性結膜炎の週別定点あたり患者発生状況

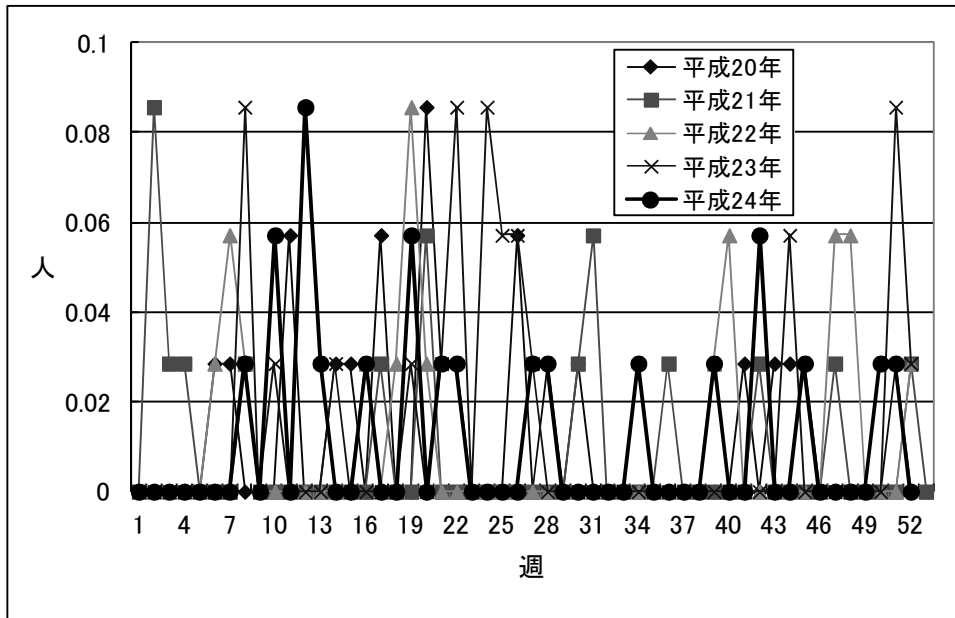
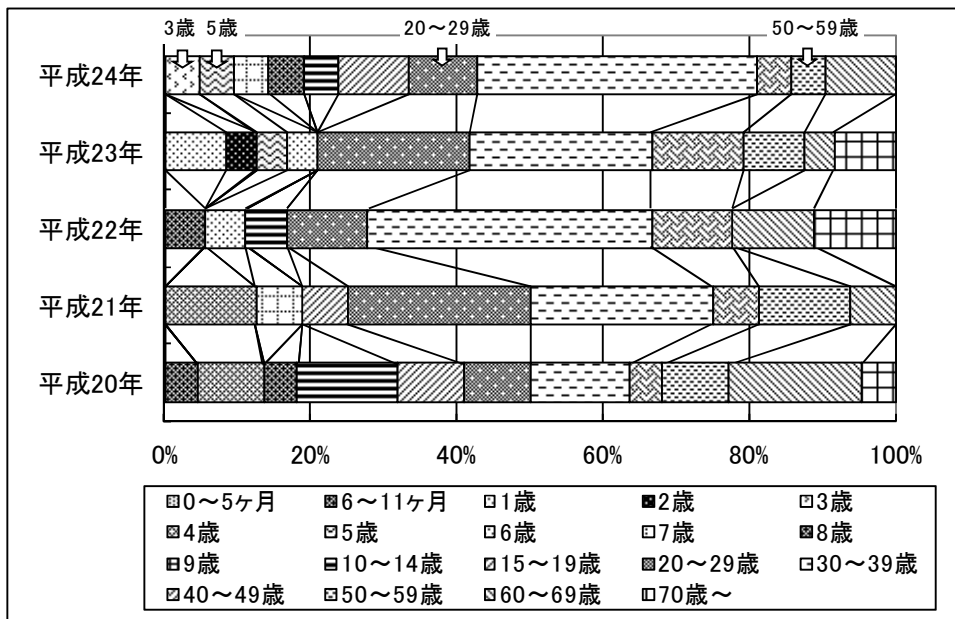


図17-2 急性出血性結膜炎の年齢階級別患者発生割合



(16) 流行性角結膜炎

流行性角結膜炎の患者数は、平成12年以降、増減を繰り返しながら減少傾向にある。昨年の年間定点あたり患者数は26.73人であったが本年は18.74人と減少した。

年齢階級別患者発生割合をみると各年齢層で患者が発生している。平成24年の患者の年齢分布は、0～9歳20%、10歳代7%、20歳代15%、30歳代22%、40歳代14%、50歳以上23%であった。

図18-1 流行性角結膜炎の週別定点あたり患者発生状況

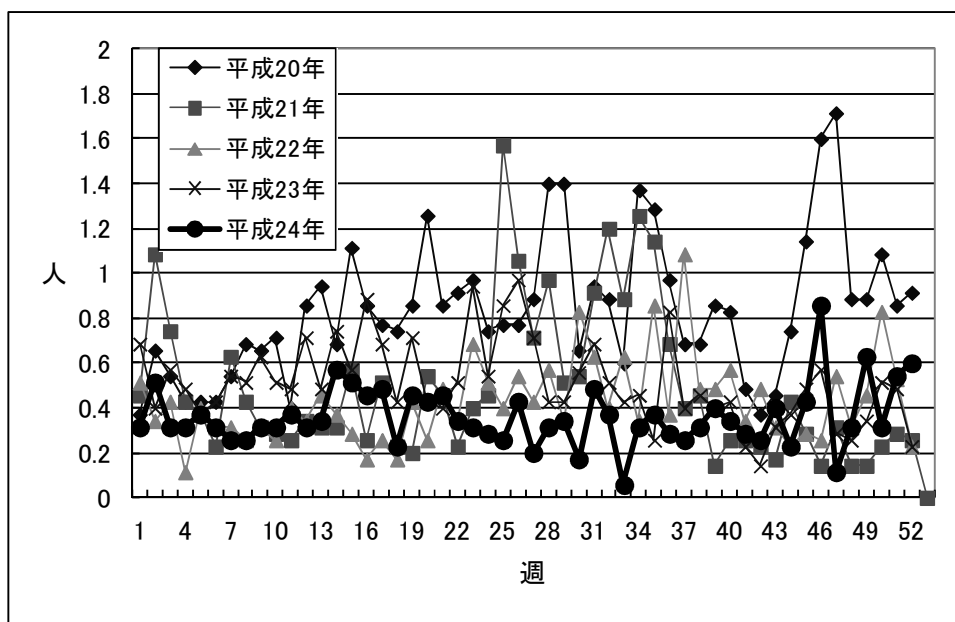
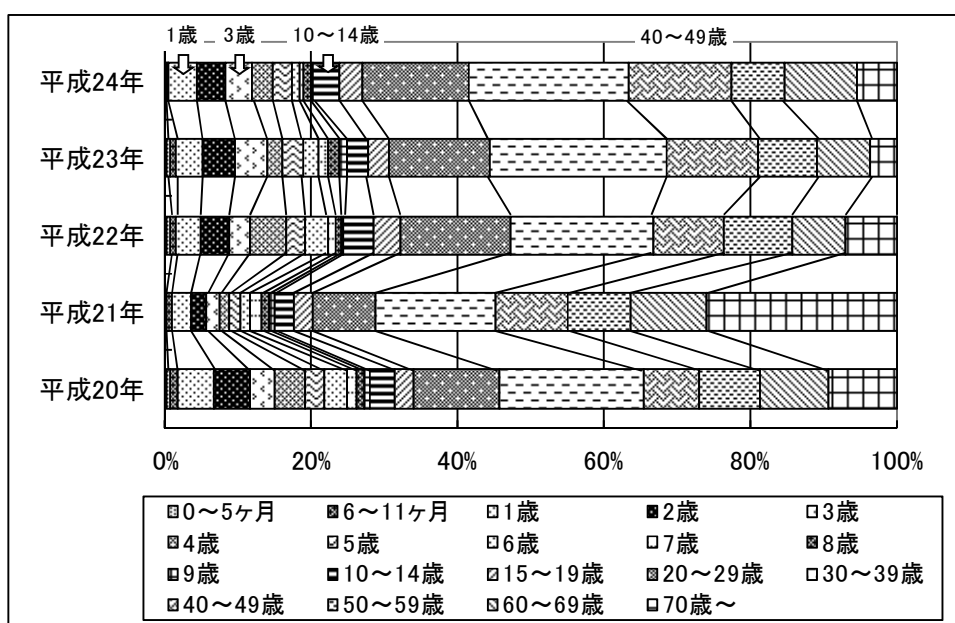


図18-2 流行性角結膜炎の年齢階級別患者発生割合



(17) 細菌性髄膜炎

細菌性髄膜炎の年間患者数は平成20年12人、21年17人、22年14人、23年15人、24年17人で、患者数の少ない状況が続いている。

本年の患者の年齢分布は0歳5人、1～9歳4人、20歳代1人、40歳代1人、50歳代1人、60歳代1人、70歳以上4人で、10歳代の患者はいなかった。

図19-1 細菌性髄膜炎の週別定点あたり患者発生状況

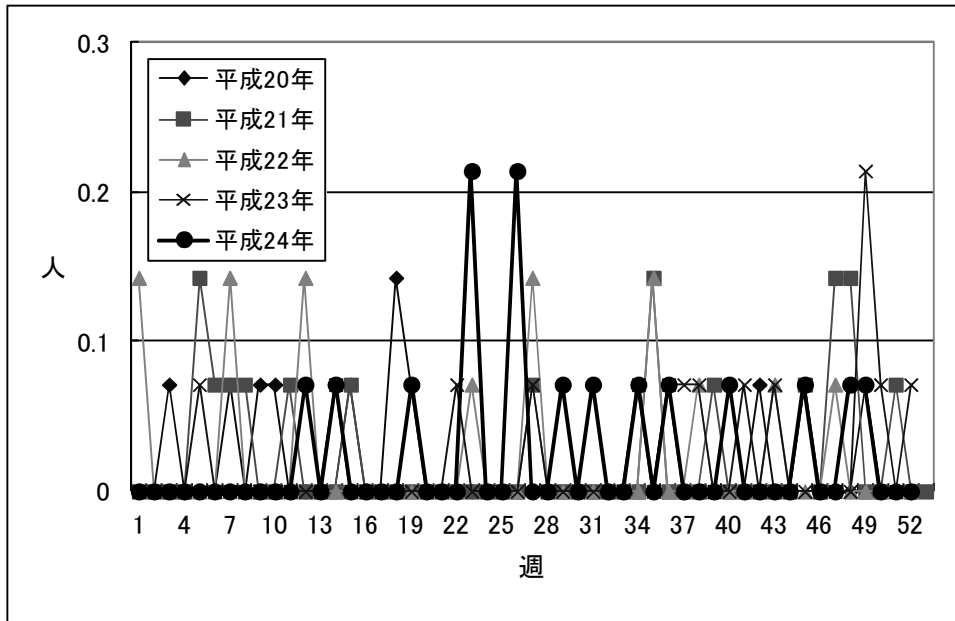
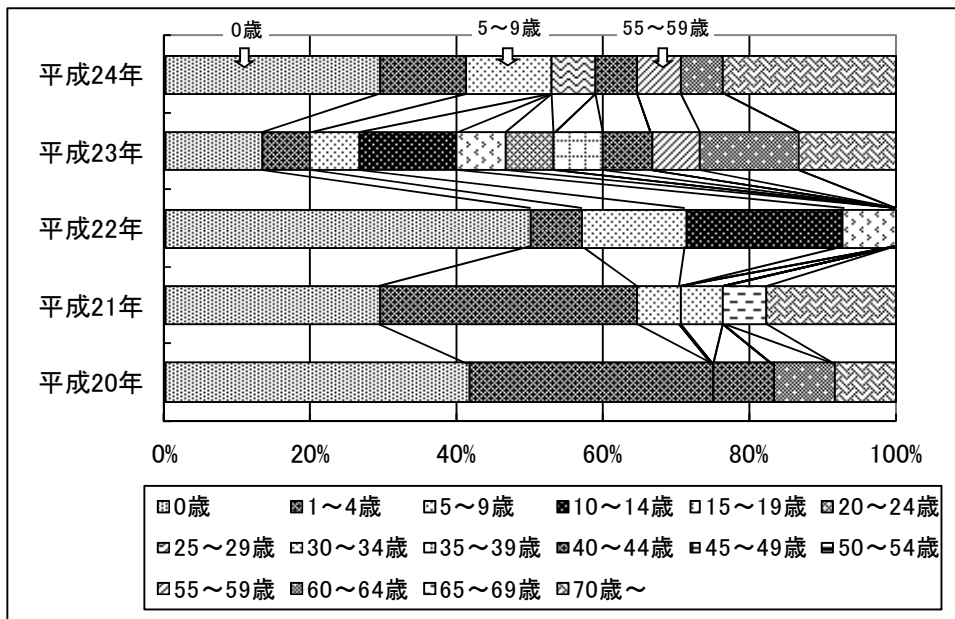


図19-2 細菌性髄膜炎の年齢階級別患者発生割合



(18) 無菌性髄膜炎

無菌性髄膜炎の年間患者数は、平成17年以降20～60人程度で増減を繰り返しているが、本年は61人と比較的 patient 数の多い年であった。

患者61人の年齢分布は0歳28%、5～9歳25%、10～14歳18%の順で、0～14歳が全体の79%を占めていた。

図20-1 無菌性髄膜炎の週別定点あたり患者発生状況

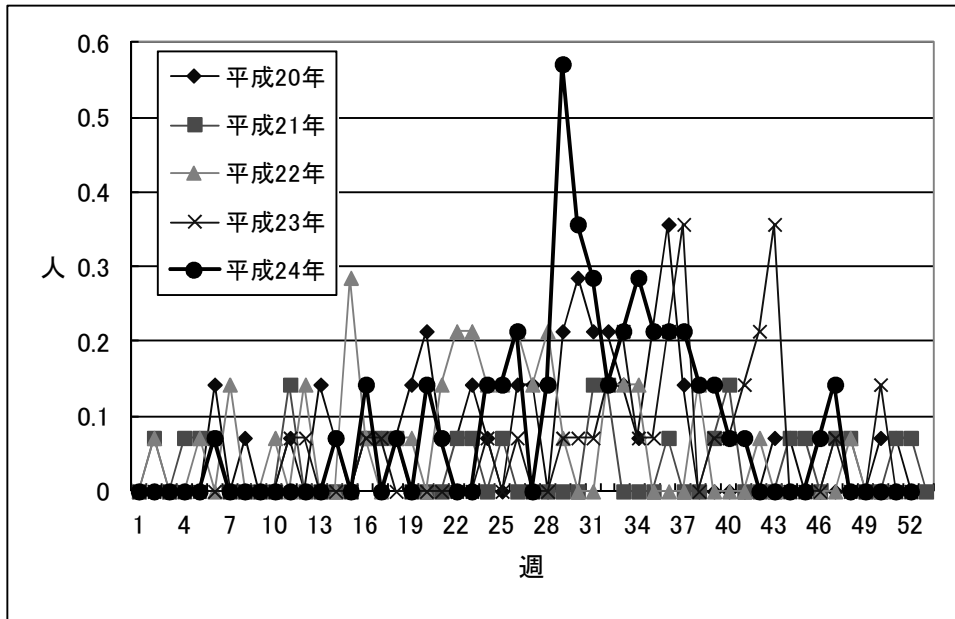
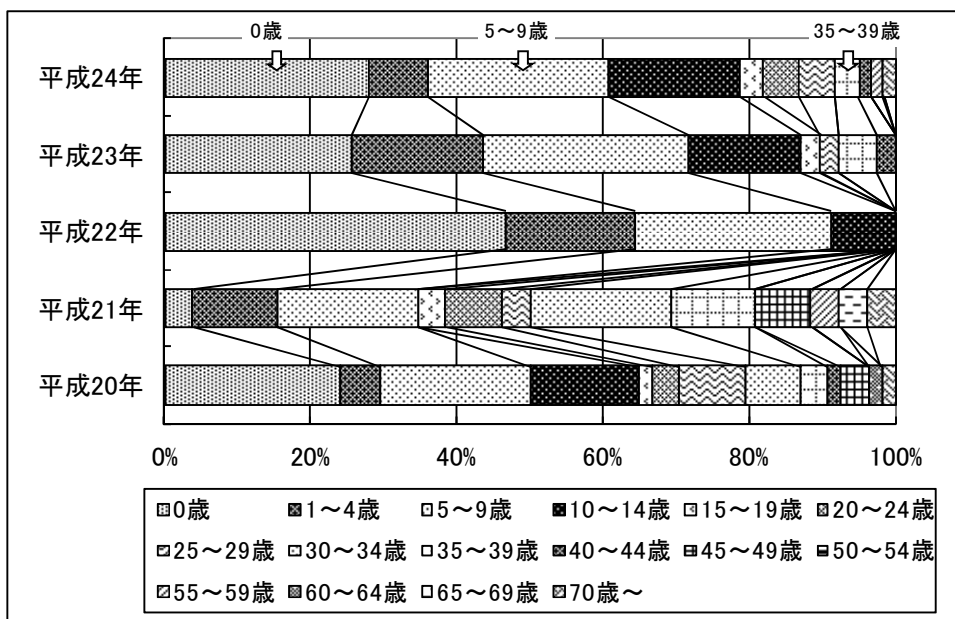


図20-2 無菌性髄膜炎の年齢階級別患者発生割合



(19) マイコプラズマ肺炎

マイコプラズマ肺炎の患者数は昨年の40週（10月上旬）頃から増加が始まり、本年は年初から高い水準で推移した。

年間患者数は平成20年28人、21年19人、22年35人と比較的少なかったが、昨年は165人と大幅に増加した。本年はさらに増加し、年間患者数は昨年の2.9倍、484人となった。

年齢階級別患者発生割合は1～4歳33%、5～9歳26%、10～14歳12%の順で、1～14歳の患者が全体の71%を占めていた。

図21-1 マイコプラズマ肺炎の週別定点あたり患者発生状況

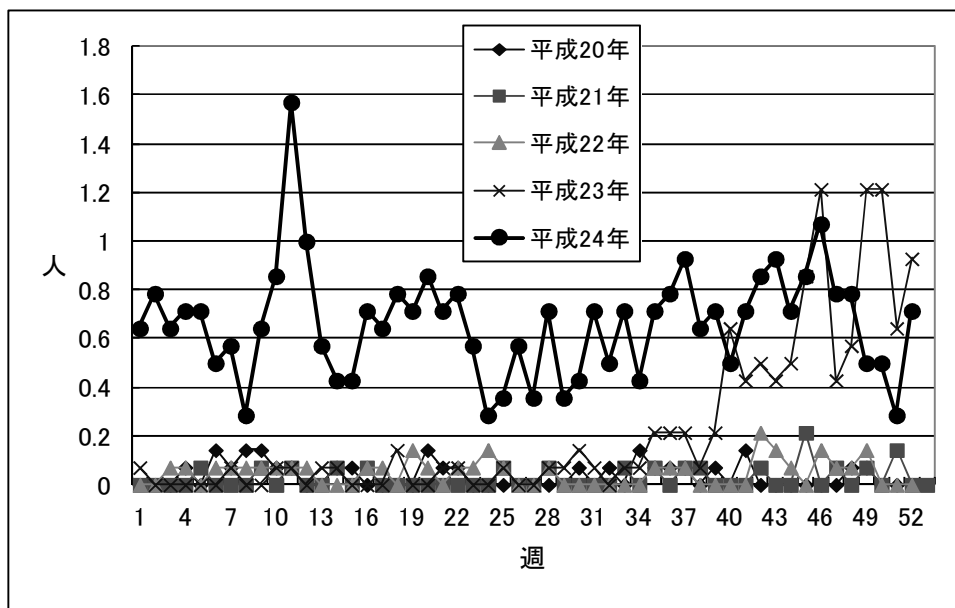
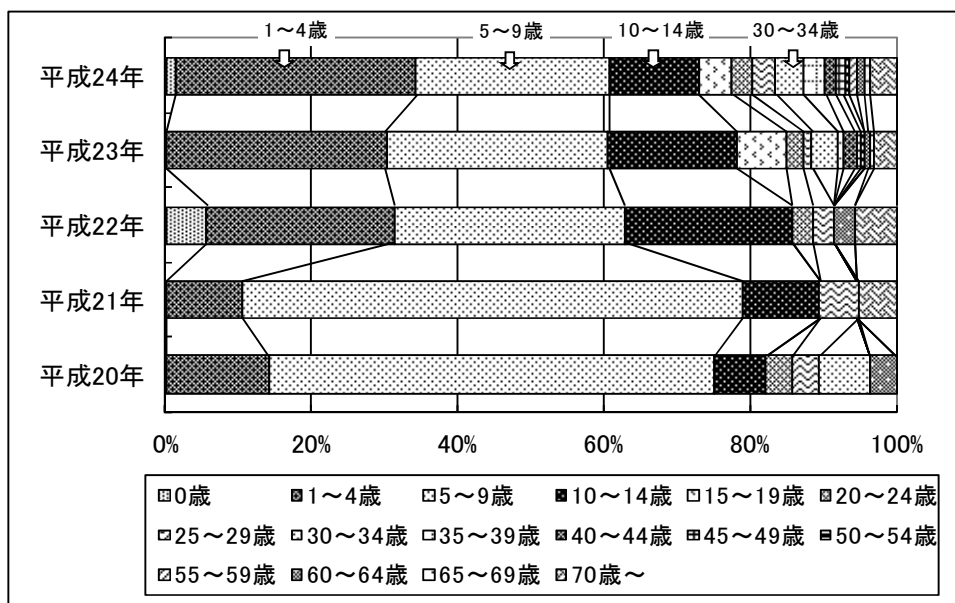


図21-2 マイコプラズマ肺炎の年齢階級別患者発生割合



(20) クラミジア肺炎（オウム病を除く）

年間患者数は平成20～22年は各年1人のみだったが、23年は15人、24年は25人と増大した。

年齢階級別患者発生割合は5～9歳40%、1～4歳24%、10～14歳12%の順で、1～14歳の患者が全体の76%を占めていた。

図22-1 クラミジア肺炎（オウム病を除く）の週別定点あたり患者発生状況

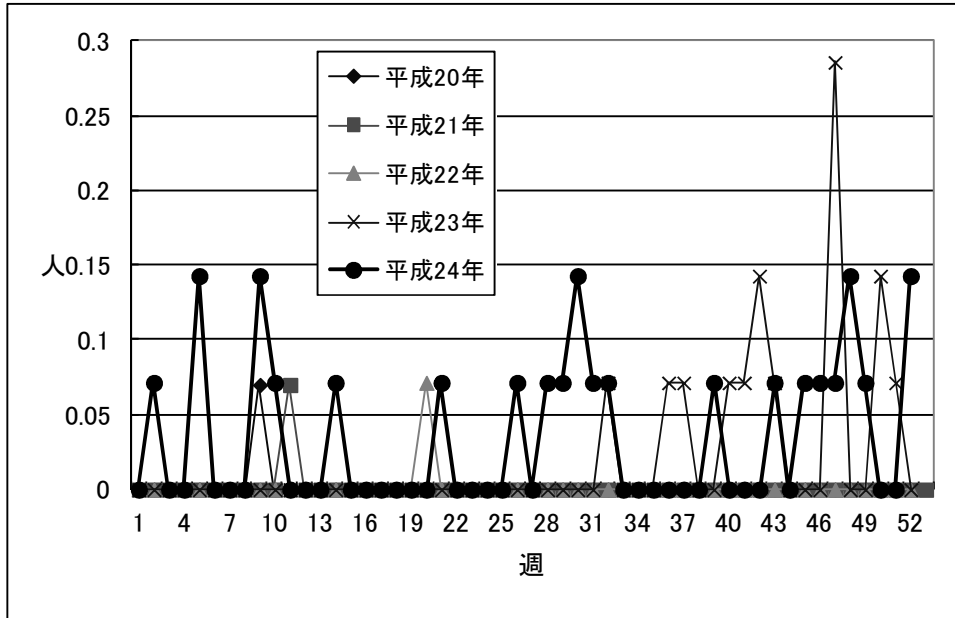
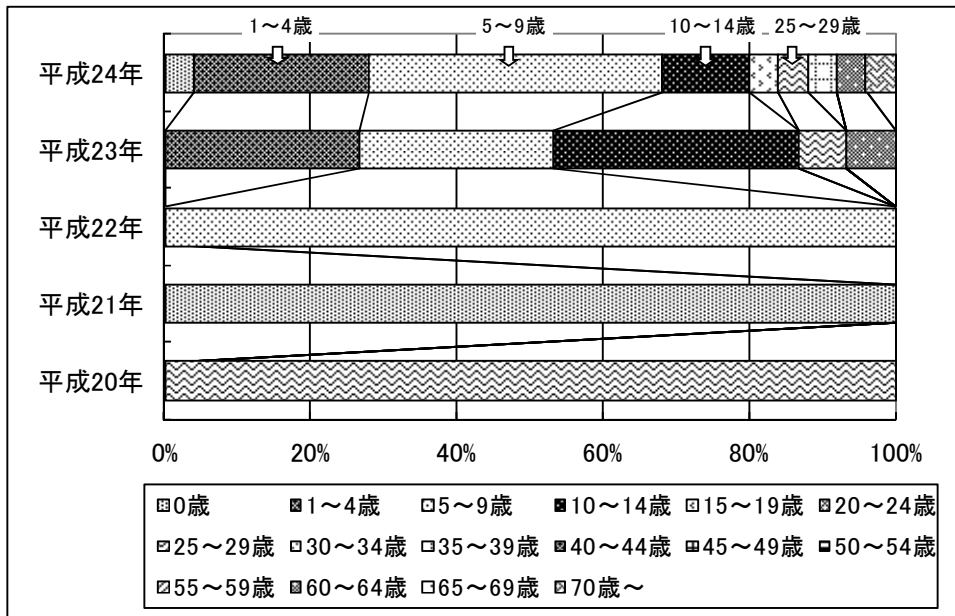


図22-2 クラミジア肺炎（オウム病を除く）の年齢階級別患者発生割合



(21) 性器クラミジア感染症

性器クラミジア感染症の年間定点あたり患者数は平成15年の28.87人をピークに以降毎年減少し続けていて、今年は18.57人となった。

性別患者発生割合は、男性53%、女性47%であった。

性別年齢階級別患者発生割合では、男性は30～34歳20%、20～24歳19%、25～29歳17%、35～39歳13%の順、女性は20～24歳28%、25～29歳23%、15～19歳20%、30～34歳14%の順であった。

図23-1 性器クラミジア感染症の月別定点あたり患者発生状況

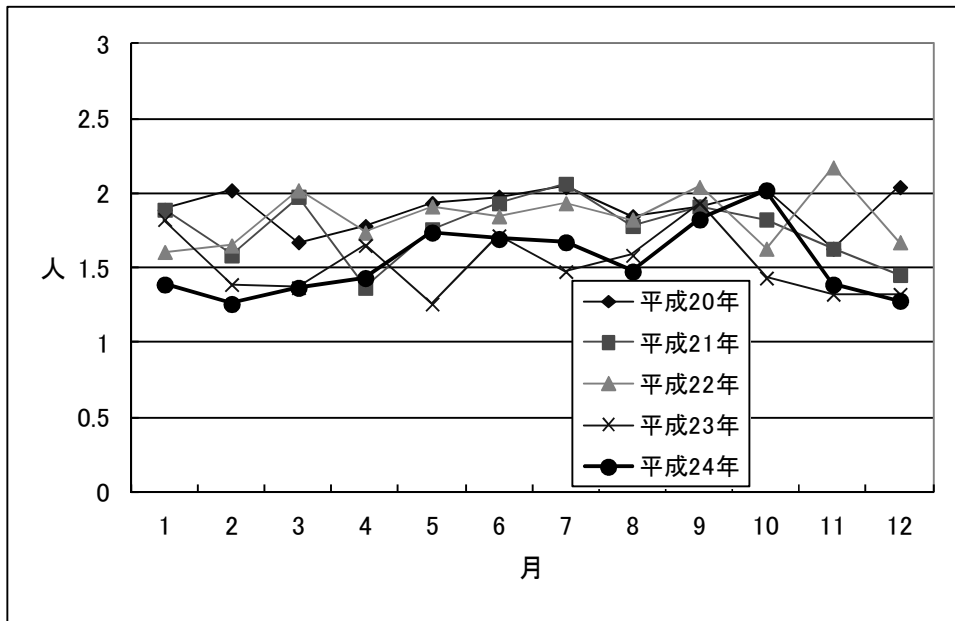


図23-2 性器クラミジア感染症の性別患者発生割合

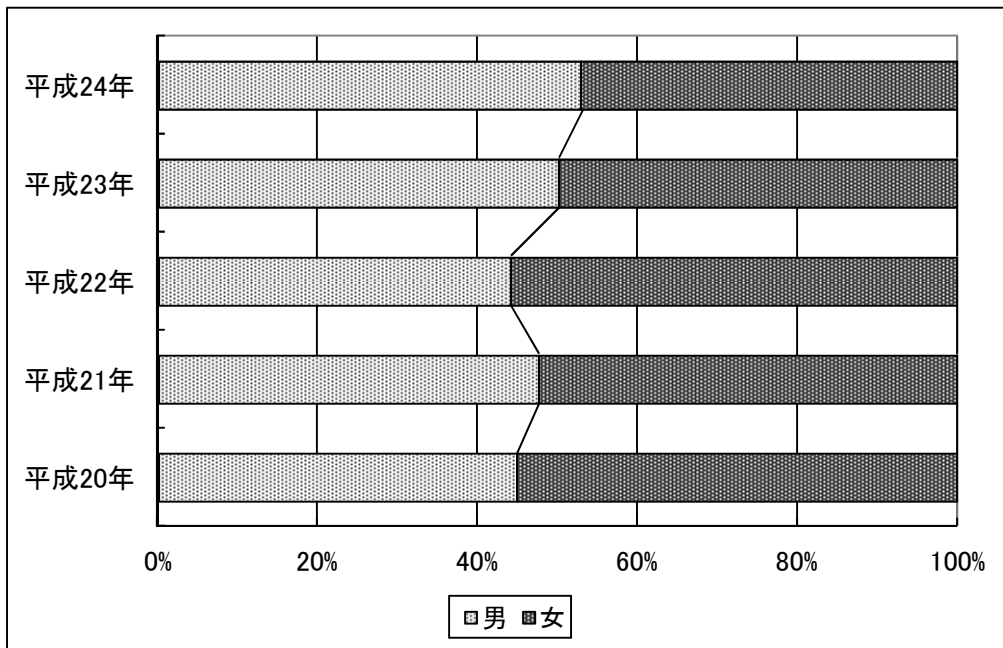


図23-3 性器クラミジア感染症の年齢階級別患者発生割合（男性）

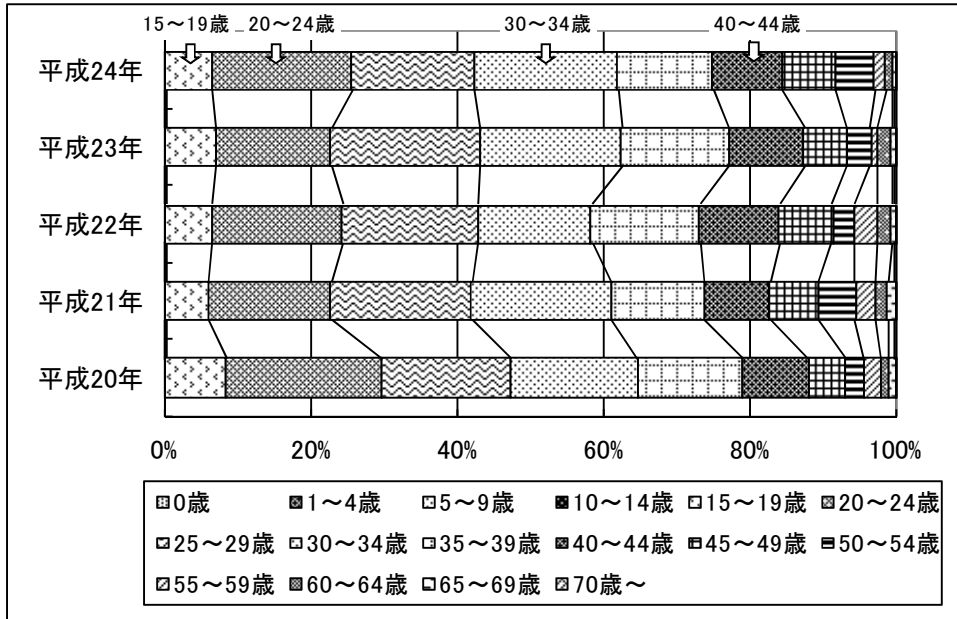
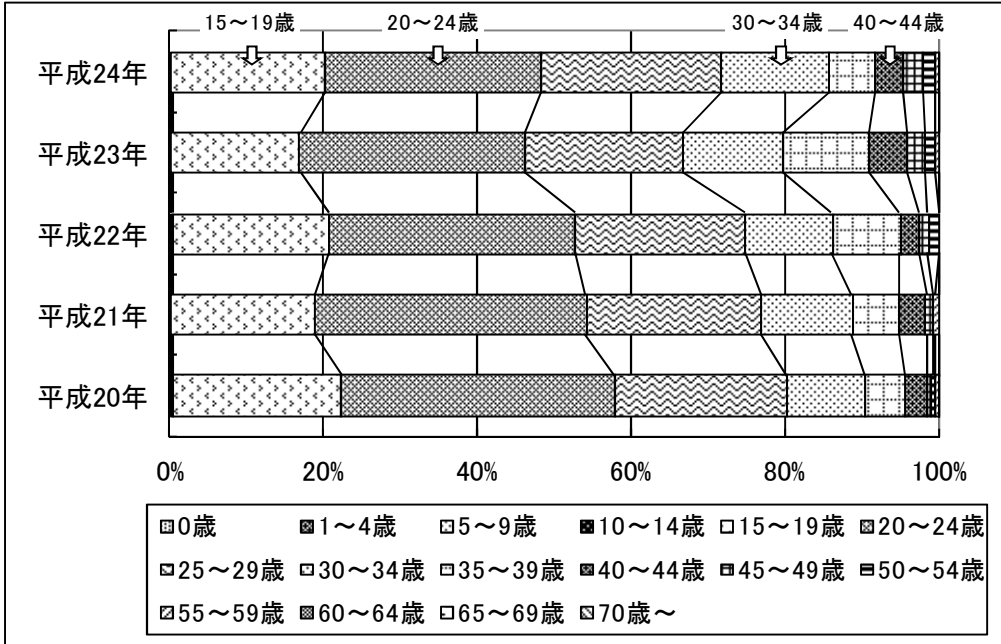


図23-4 性器クラミジア感染症の年齢階級別患者発生割合（女性）



(22) 性器ヘルペスウイルス感染症

性器ヘルペスウイルス感染症の年間定点あたり患者数は平成18年以降減少を続けていたが、平成22年5.11人、23年5.63人、24年5.74人と、ここ2年間はわずかに増加した。

性別患者発生割合は、男性39%、女性61%と女性が多かった。

性別年齢階級別患者は15以上の年齢層に分布しているが、男性は30～34歳20%、35～39歳18%、25～29歳13%の順、女性は30～34歳17%、40～44歳14%、45～49歳12%の順となっていた。

図24-1 性器ヘルペスウイルス感染症の月別定点あたり患者発生状況

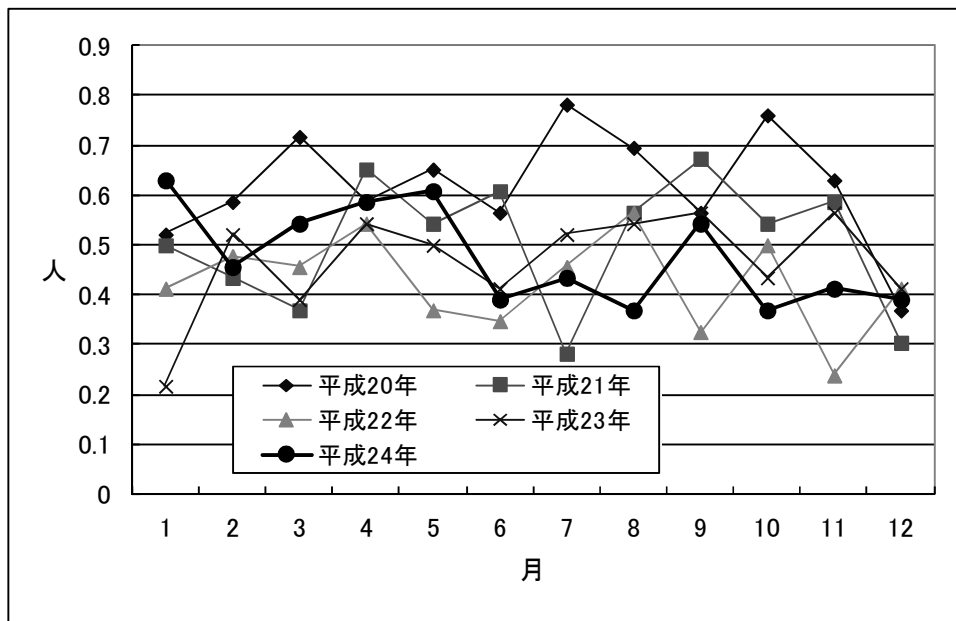


図24-2 性器ヘルペスウイルス感染症の性別患者発生割合

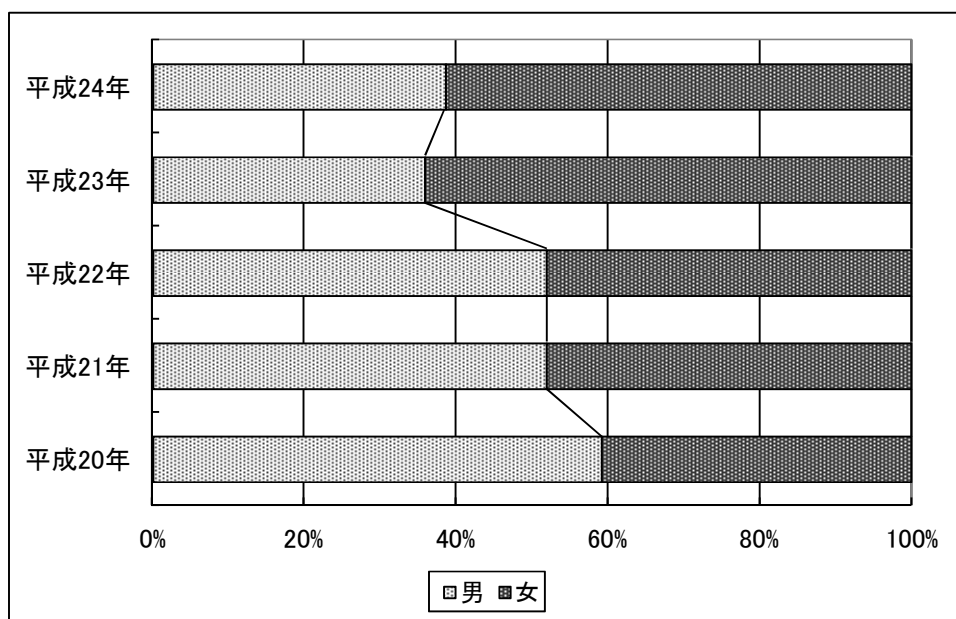


図24-3 性器ヘルペスウイルス感染症の年齢階級別患者発生割合（男性）

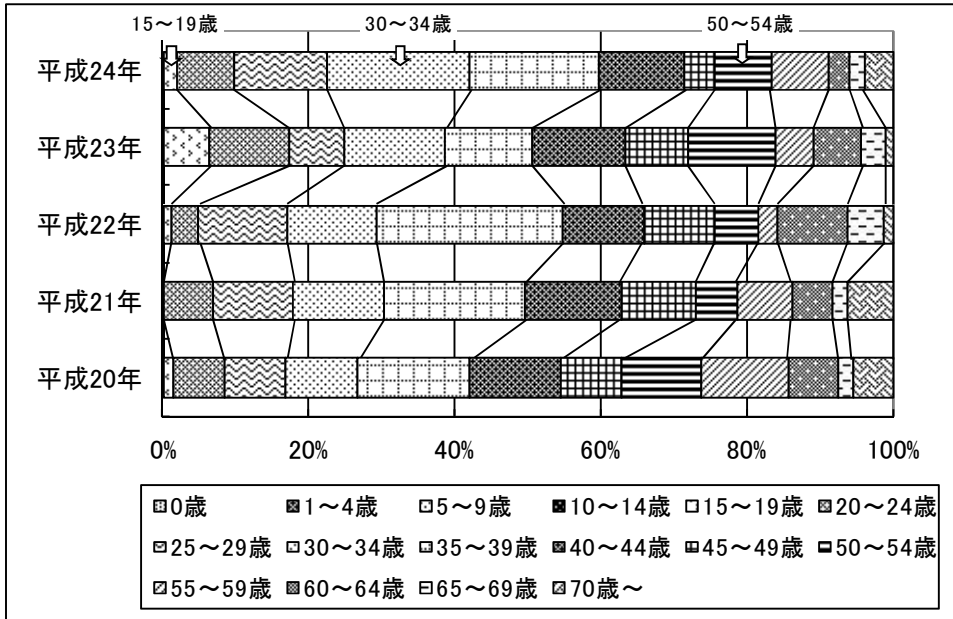
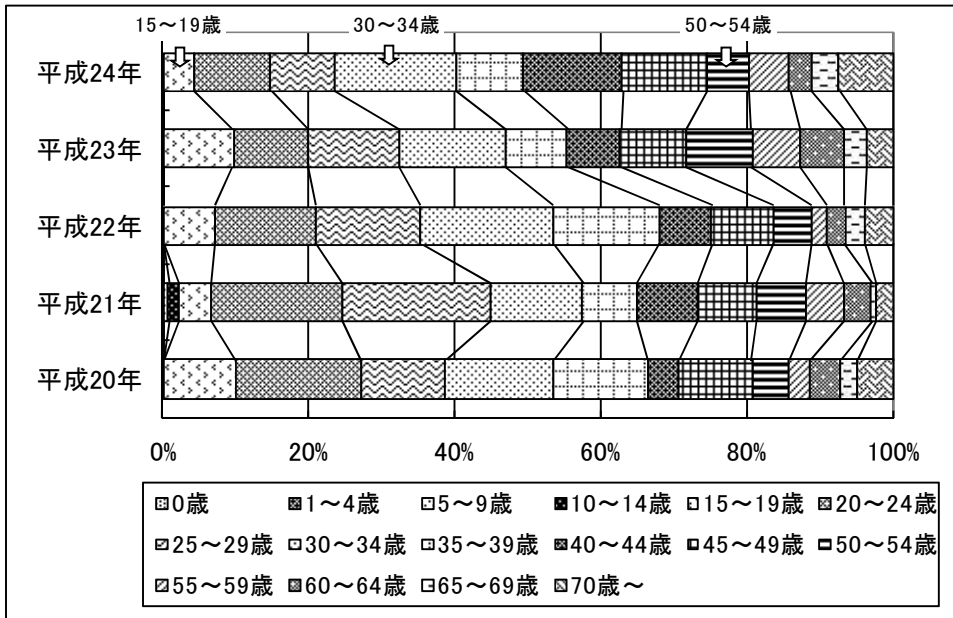


図24-3 性器ヘルペスウイルス感染症の年齢階級別患者発生割合（女性）



(23) 尖圭コンジローマ

尖圭コンジローマの年間定点あたり患者数は平成18年以降毎年減少を続けており、平成23年は4.43人、24年は3.15人であった。

性別患者発生割合は例年と同様で、男性が全体の79%を占めていた。

性別年齢階級別患者発生割合では、男性は20～49歳の患者が男性患者の75%、女性は15～34歳の患者が女性患者の73%を占めていた。

図25-1 尖圭コンジローマの月別定点あたり患者発生状況

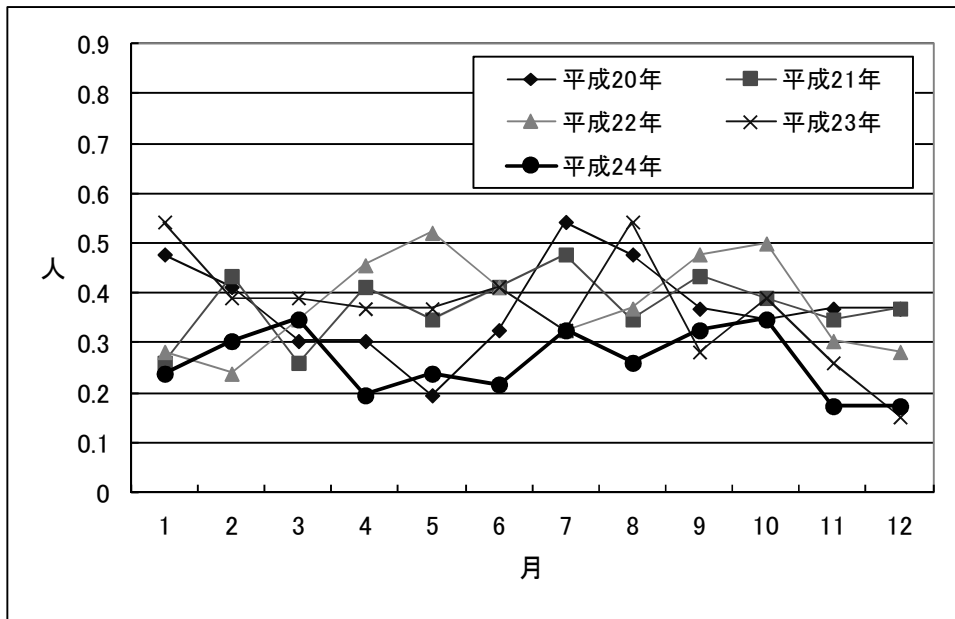


図25-2 尖圭コンジローマの性別患者発生割合

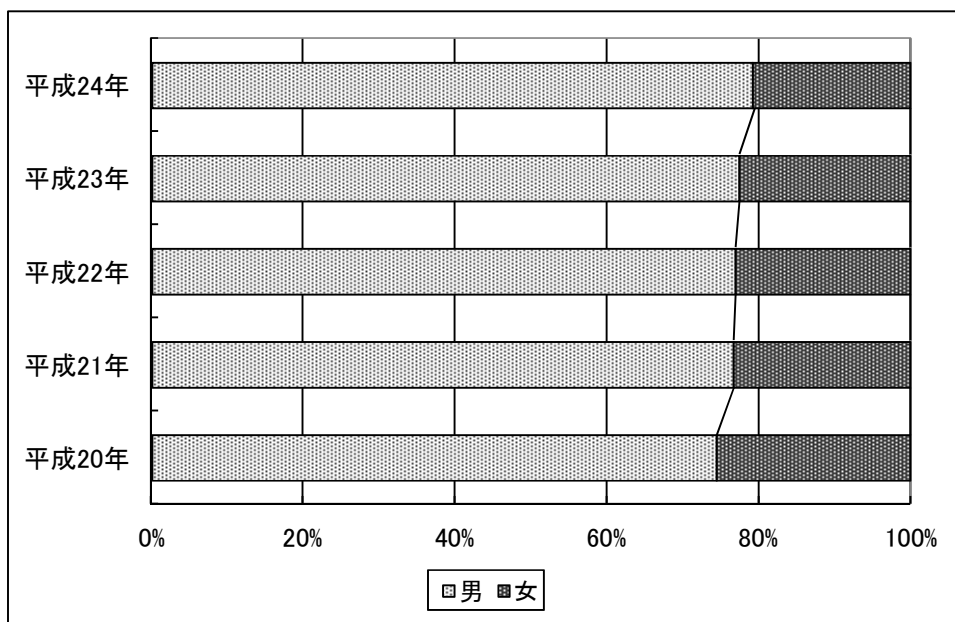


図25-3 尖圭コンジローマの年齢階級別患者発生割合（男性）

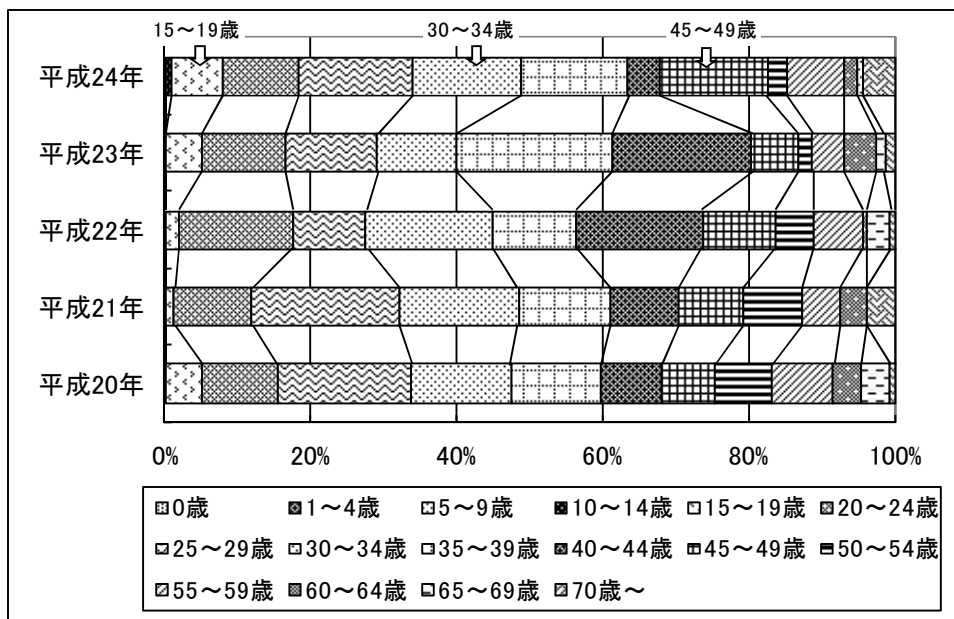
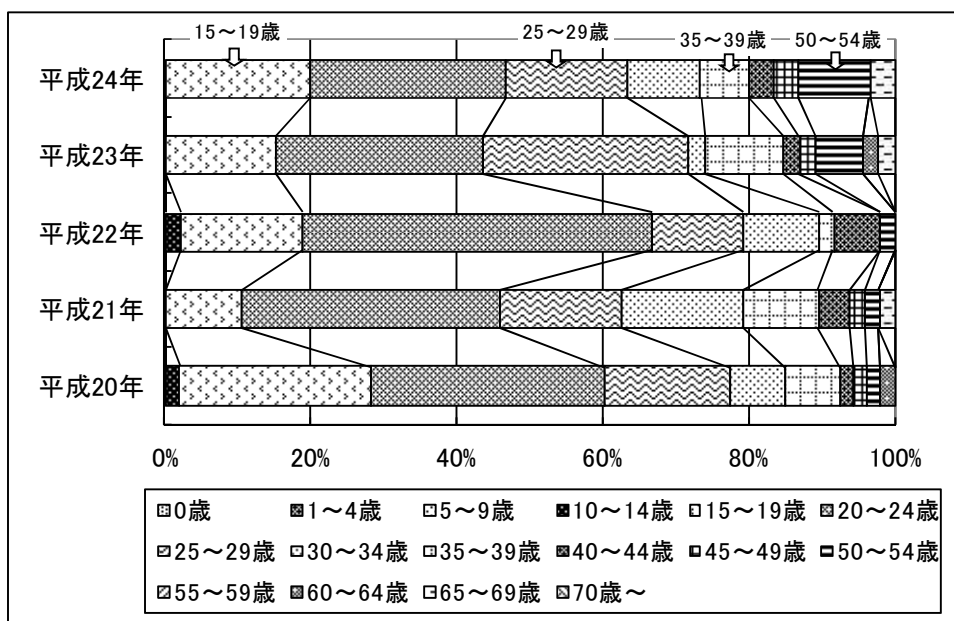


図25-3 尖圭コンジローマの年齢階級別患者発生割合（女性）



(24) 淋菌感染症

淋菌感染症の年間定点あたり患者数は8.24人で、昨年（8.59人）よりわずかに減少した。

性別患者発生割合は例年同様で、男性患者が全体の89%と大部分を占めていた。

性別年齢階級別患者発生割合では、男性は25～29歳が男性患者の22%と多く、20～44歳の患者が男性患者の80%を占めていた。女性では、15～19歳が女性患者の30%と多く、15～34歳の患者が女性患者の77%を占めていた。

図26-1 淋菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

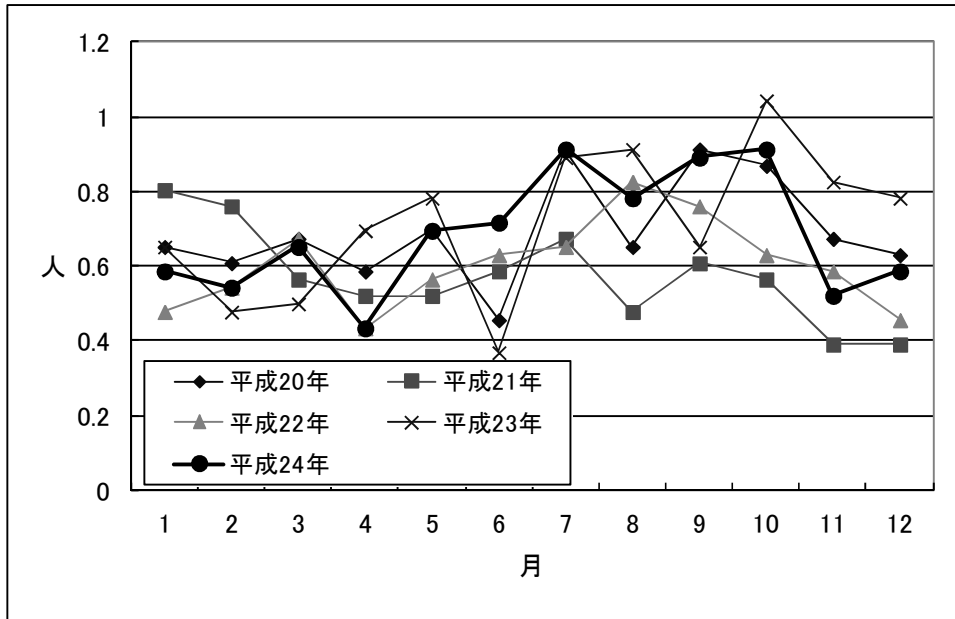


図26-2 淋菌感染症の性別患者発生割合

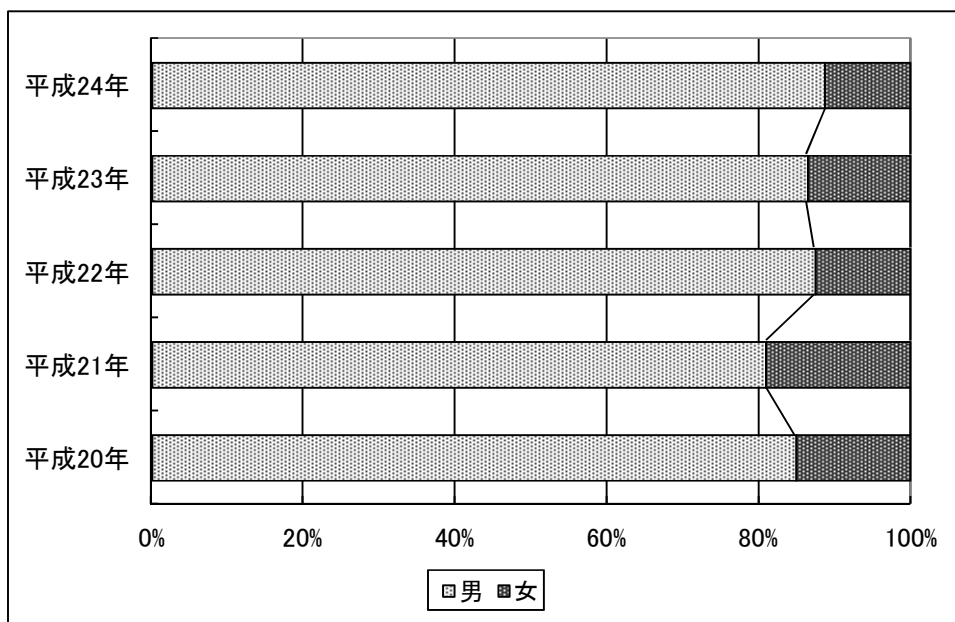


図26-3 淋菌感染症の年齢階級別患者発生割合（男性）

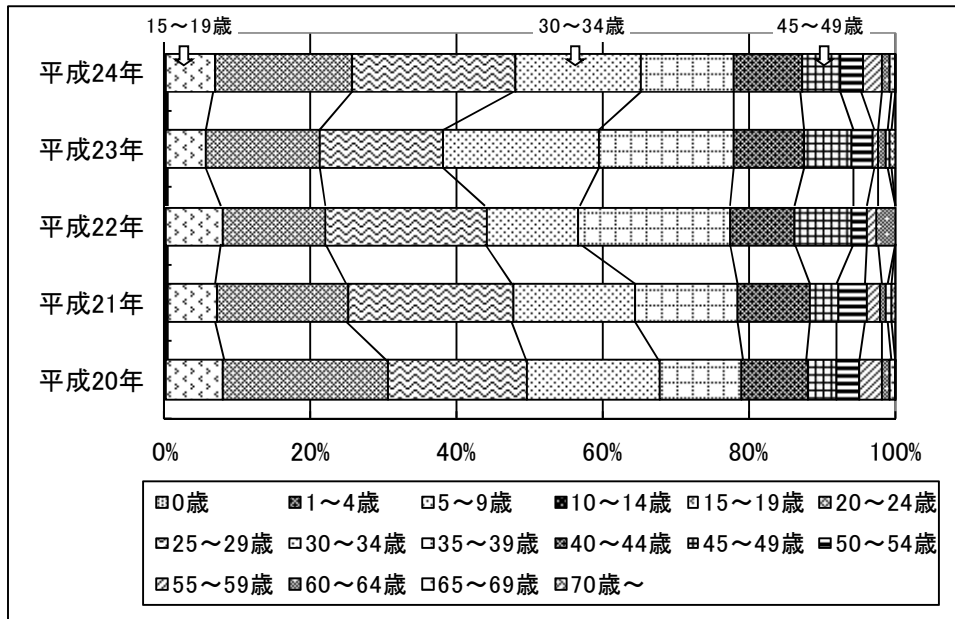
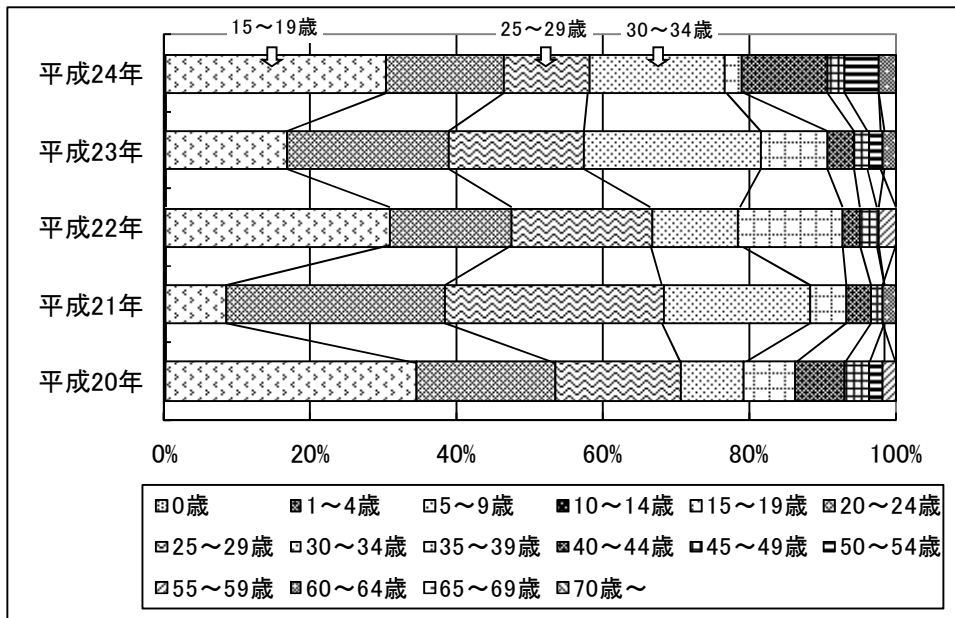


図26-4 淋菌感染症の年齢階級別患者発生割合（女性）



(25) メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の年間定点あたり患者数は、昨年の33.57人より減少して30.29人となった。

年齢階級別患者発生割合は例年とほぼ同様で、70歳以上の患者が全体の62%、60歳以上で全体の78%を占めていた。

図27-1 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

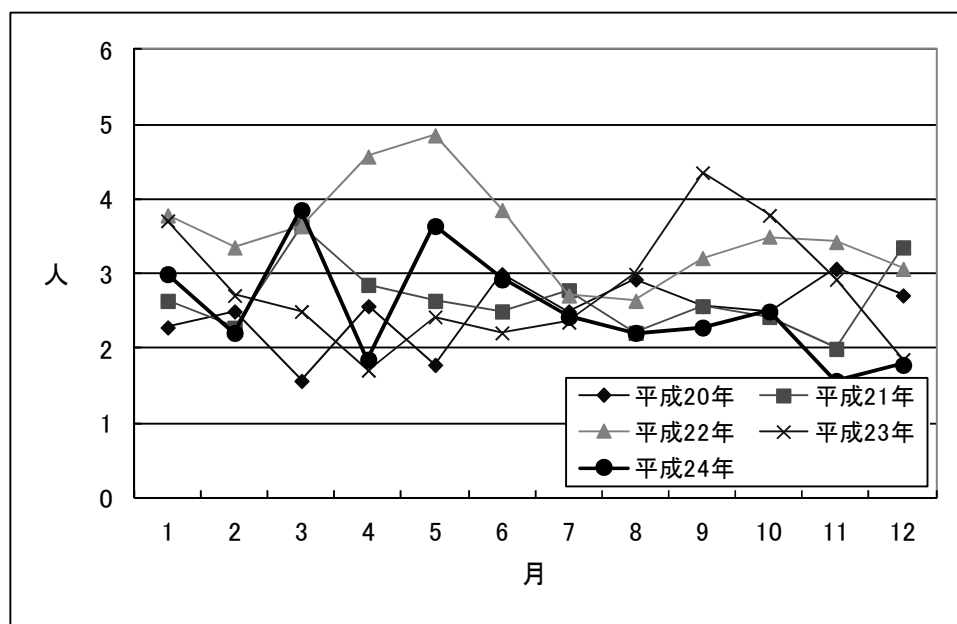
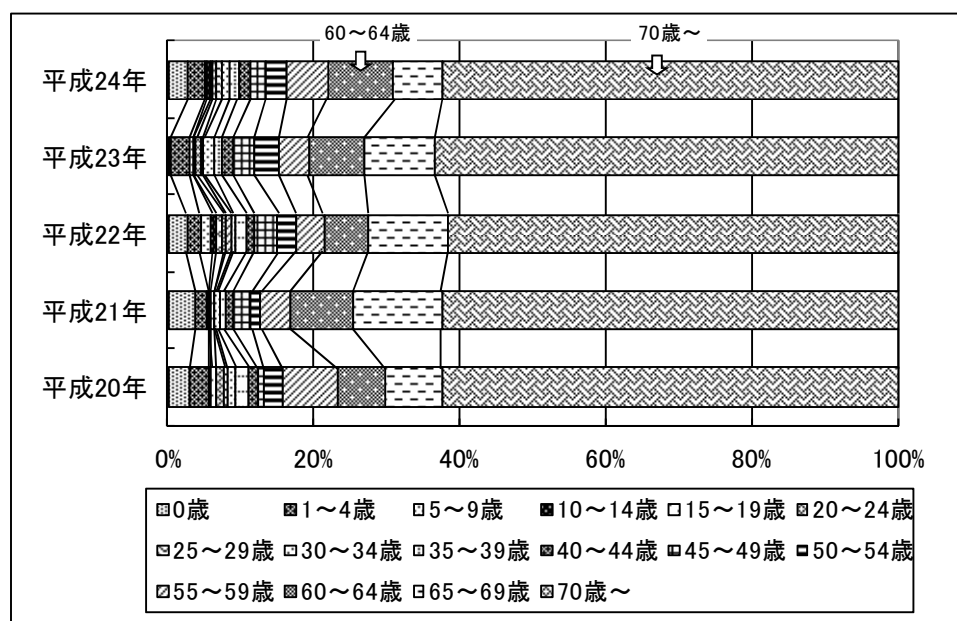


図27-2 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症の年齢階級別患者発生割合



(26) ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の年間定点あたり患者数は、昨年の3.14人より減少して2.21人となった。

年齢階級別患者は小児と高齢者が多く、0～9歳が全体の32%、60歳以上が全体の68%を占めていた。

図28-1 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

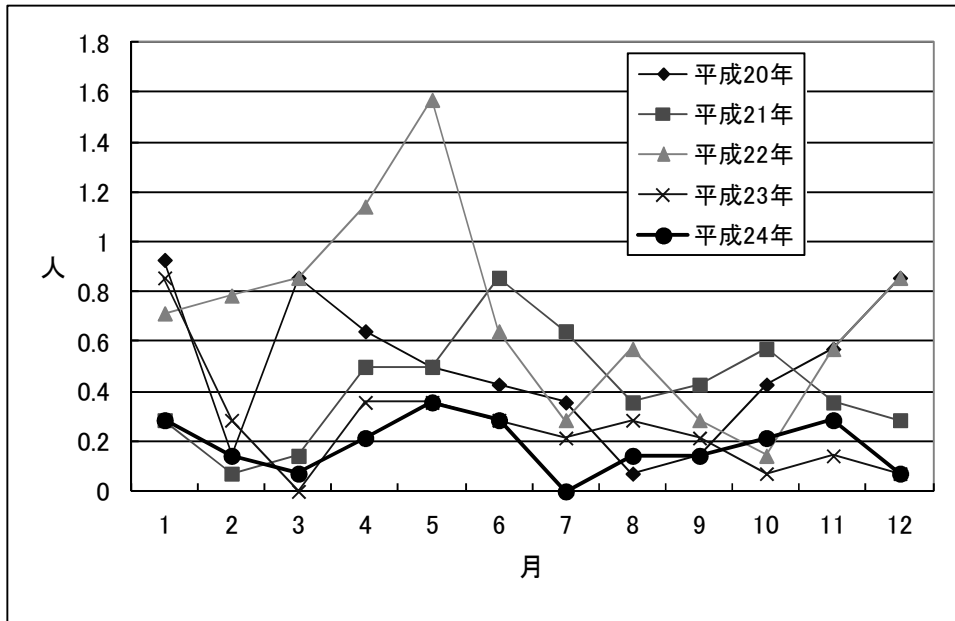
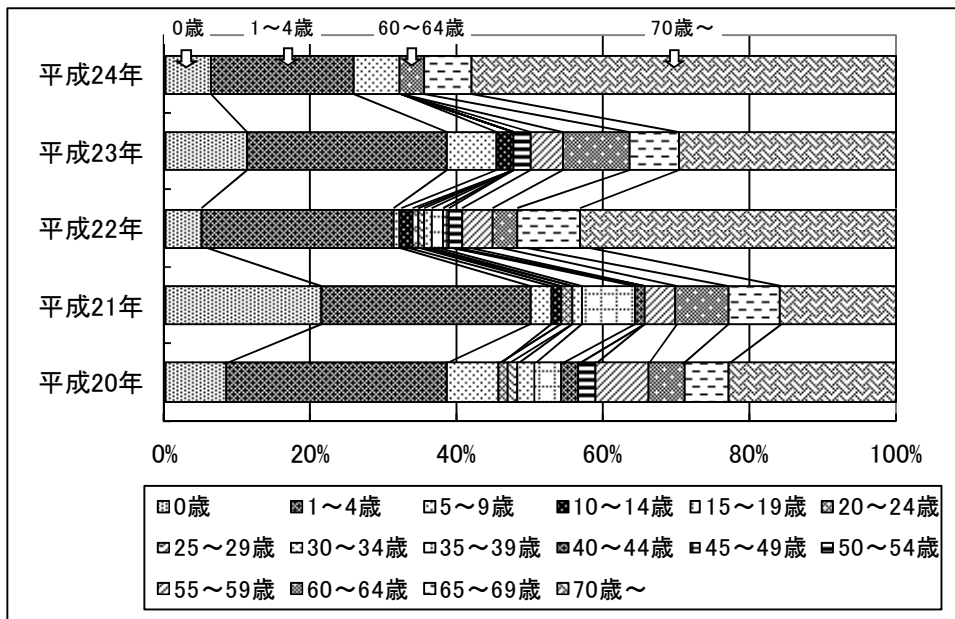


図28-2 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の年齢階級別患者発生割合



(27) 薬剤耐性緑膿菌感染症

薬剤耐性緑膿菌感染症は、昨年と同様で、本年も6名の患者報告があった。
年齢階級別患者数は、65～69歳が1名、70歳以上が5名であった。

図29-1 薬剤耐性緑膿菌感染症の月別定点あたり患者発生状況

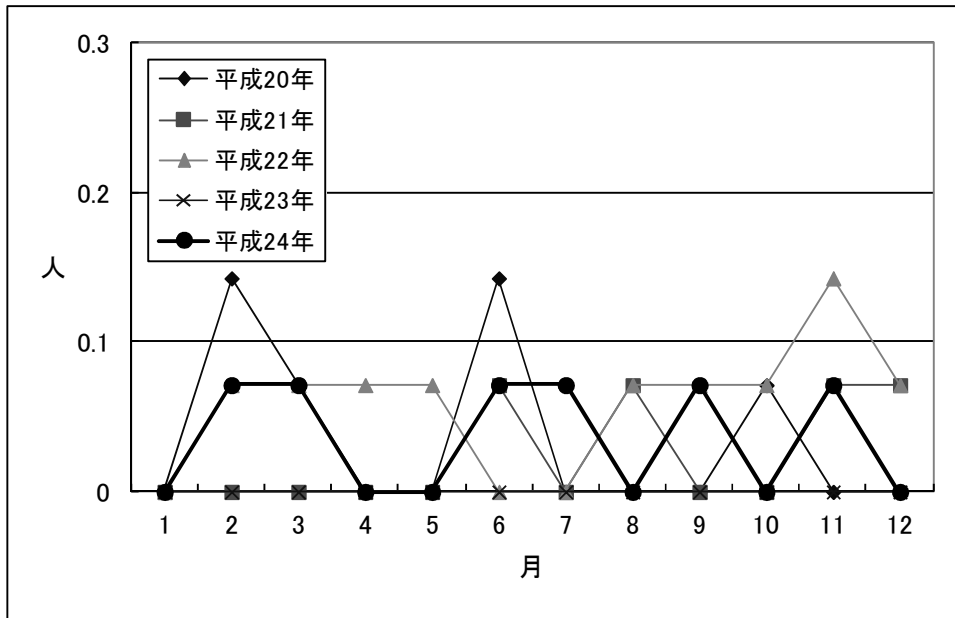
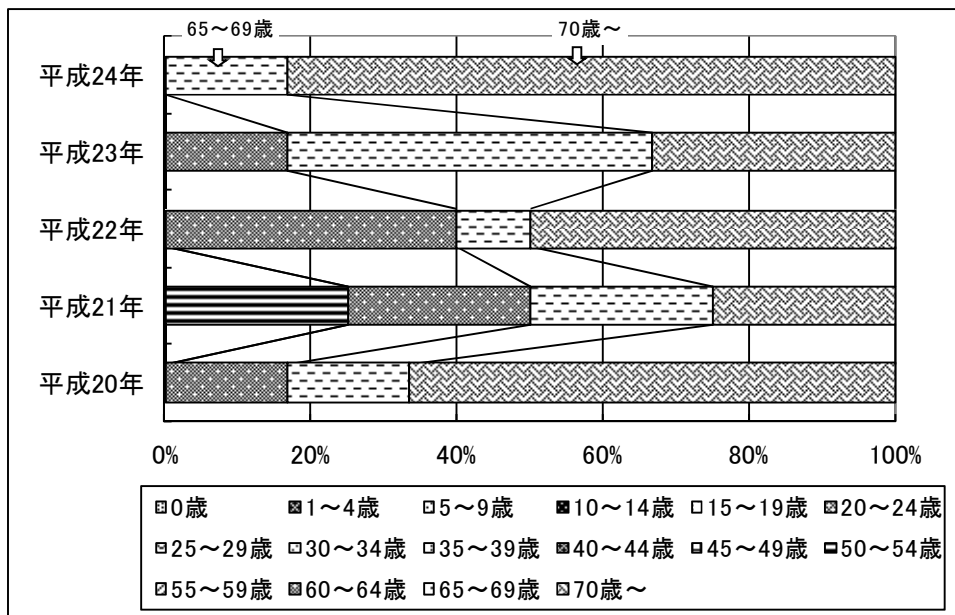


図29-2 薬剤耐性緑膿菌感染症の年齢階級別患者発生割合



なお、薬剤耐性アシネトバクター感染症は平成23年2月1日より対象疾病となっているが、23年、24年とも患者の報告はなかった。

3. 病原微生物検出状況

(1) 細菌による食中毒（疑）事例（平成24年）

月日	健康福祉事務所	病原菌	件数	当所での検査等	
1.16	明石	カンピロバクター	1	菌種の同定、血清型別	
2.7	伊丹	サルモネラ	1	血清型別、ファージ型*	
4.18	加古川	大腸菌	13	血清型別、病原遺伝子検出	
5.28	加東	大腸菌	15	血清型別、病原遺伝子検出	
5.28	洲本	セレウス菌	1	毒素遺伝子検出	
11.5	伊丹	サルモネラ	10	PFGE型別、血清型別、ファージ型*	
11.12	加古川	サルモネラ	3	PFGE型別、血清型別、ファージ型*	
月日	健康福祉事務所	エンテロトキシン検査	件数	陽性件数	陽性検体
3.11	加古川	CPE,HBL,SE	16	0	
5.6	洲本	SE	1	0	

*：国立感染症研究所で実施

(2) その他の細菌検査（平成24年）

月日	健康福祉事務所	病原菌	件数	当所での検査等
2.15	宝塚	劇症型溶連菌	1	血清型別*、遺伝子型別*、薬剤感受性試験*
3.26	加東	腸チフス	1	血清型別、ファージ型*
4.25	龍野	嫌気性菌	5	たけのこ及び皮から分離培養同定（遺伝子配列解析）
7.6	龍野	レジオネラ	65	PFGE型別、遺伝子型およびST No. *
7.6	龍野	サルモネラ	4	血清型別、ファージ型*
7.25	加東	赤痢菌	1	遺伝子検出、血清型別
8.13	宝塚	赤痢菌	1	遺伝子検出、血清型別

*：国立感染症研究所で実施

(3) クドア (ヒラメ寄生虫) の検査 (平成 24 年)

月日	健康福祉事務所	病原体	検査件数	陽性検体		陰性検体	
3.17	丹波	クドア	5	3	ひらめ(身、えんがわ) 患者吐物	2	かんぱち(背、腹)
4.20	芦屋	クドア	1	0		1	患者便
5.1	龍野	クドア	7	2	養殖ひらめ(身、えんがわ)	5	養殖ひらめ(肝、皮) 天然ひらめ(身、えんがわ、肝)
5.1	豊岡	クドア	3	1	ひらめ	2	かんぱち、サーモン
5.6	洲本	クドア	2	1	患者吐物	1	水槽内ひらめ
7.9	伊丹	クドア	1	0		1	患者便

(4) 腸管出血性大腸菌感染症事例 (平成 24 年)

月日	健康福祉事務所	血清型	毒素型 (VT)	感染者数 (株数)	感染者間の関係等	PFGE型
4.27	伊丹	O157:H7	2	2	家族	12O157001
5.10	明石	O157:H7	2	1		12O157002
6.22	龍野	O157:H7	2	1		12O157003
6.22	龍野	O157:H-	1&2	1		12O157004
6.29	洲本	O157:H7	2	1		12O157005
7.3	宝塚	O157:H7	2	1		12O157006
7.18	加古川	O121:H19	2	1		12O121001
7.25	加東	O157:H7	1&2	2	家族	12O157007 12O157007b
8.6	加古川	O157:H-	1&2	1		12O157008
8.20	洲本	O26:H11	1	1		12O26001
8.20	洲本	O26:H11	1	3	家族	12O26002 12O26002b
8.20	洲本	O157:H7	2	1		12O157009
8.20	龍野	O157:H7	1&2	1		12O157010
8.20	宝塚	O157:H7	2	1		12O157011
8.21	加東	O26:H11	1	1		12O26003
8.24	丹波	O157:H7	1&2	1		12O157012
8.27	宝塚	O157:H7	2	1	8/20宝塚の家族	12O157011
8.29	加東	O157:H7	1&2	1		12O157013
8.29	中播磨	O157:H7	1&2	1		12O157013
9.3	明石	O157:H7	2	1		12O157023
9.3	明石	O157:H-	1&2	1		12O157008

月日	健康福祉事務所	血清型	毒素型 (VT)	感染者数 (株数)	感染者間の関係等	PFGE型
9.4	加古川	O157:H7	2	1		12O157014
9.5	赤穂	O157:H7	2	1		12O157015
9.6	豊岡	O157:H7	2	1		12O157016
9.10	加古川	O157:H7	1&2	1		12O157017
9.19	加東	O157:H7	1&2	2	家族	12O157018
10.5	龍野	O157:H7	1&2	2	家族	12O157019
10.17	明石	O157:H7	1&2	1		12O157020
10.18	宝塚	O157:H7	2	1		12O157021
10.29	洲本	O26:H11	1	7	家族	12O26004
10.29	洲本	O26:H11	1	1		12O26004
10.29	洲本	O26:H11	1	1		12O26004
10.29	洲本	O157:H7	2	1		12O157022
10.29	洲本	O103:H2	1	1		12O103001
11.5	加東	O157:H7	1&2	1		12O157024
11.12	加東	O157:H7	2	1		12O157025
11.12	明石	O157:H7	1&2	1		12O157026
11.15	明石	O157:H7	1&2	1		12O157027
12.17	加東	O157:H7	1&2	2	家族	12O157028

(5) 結核 QFT 検査 (平成 24 年)

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
1.5	丹波	7	0	1	6	0
1.16	明石	8	1	0	7	0
1.16	加東	2	1	0	1	0
1.16	赤穂	8	1	1	6	0
1.16	加古川	4	0	1	3	0
1.23	明石	12	3	2	7	0
1.23	赤穂	10	0	1	9	0
1.30	明石	10	1	0	9	0
2.6	豊岡	10	1	3	6	0
2.8	龍野	37	2	3	32	0
2.13	加古川	1	0	0	1	0
2.13	明石	2	0	0	2	0
2.13	宝塚	4	0	0	4	0
2.20	明石	3	0	2	1	0
2.20	丹波	7	0	1	6	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
2.20	宝塚	4	0	0	4	0
2.27	加東	6	0	0	6	0
2.27	加古川	2	0	0	2	0
2.27	宝塚	1	0	0	1	0
3.5	加東	3	0	0	3	0
3.12	加古川	1	0	0	1	0
3.12	朝来	6	0	1	5	0
3.12	中播磨	4	1	0	3	0
3.12	赤穂	8	0	2	6	0
3.12	龍野	3	0	2	1	0
3.14	豊岡	9	0	1	8	0
3.26	明石	5	0	2	3	0
3.26	加古川	2	0	0	2	0
4.2	明石	1	1	0	0	0
4.2	加古川	2	0	0	2	0
4.9	加古川	7	0	0	7	0
4.9	芦屋	2	0	0	2	0
4.9	明石	3	0	0	3	0
4.10	洲本	6	2	2	2	0
4.16	加東	4	1	0	3	0
4.16	洲本	8	0	0	8	0
4.16	芦屋	7	0	0	6	1
4.23	加古川	48	7	10	31	0
4.23	中播磨	1	0	0	1	0
4.23	明石	1	0	0	1	0
4.23	洲本	8	2	1	5	0
4.23	芦屋	5	1	1	3	0
4.23	赤穂	3	0	1	2	0
5.1	明石	1	0	0	1	0
5.7	赤穂	3	0	0	3	0
5.14	明石	1	1	0	0	0
5.14	宝塚	2	0	0	2	0
5.15	加古川	9	0	2	7	0
5.15	芦屋	1	0	0	1	0
5.28	龍野	9	0	1	8	0
5.28	加東	10	3	1	6	0
5.28	加古川	3	0	0	3	0
5.29	加東	10	1	0	9	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
5.30	加東	9	1	1	7	0
6.4	明石	4	0	0	4	0
6.6	龍野	3	0	0	3	0
6.11	龍野	1	0	0	1	0
6.11	加古川	7	0	1	6	0
6.11	伊丹	5	2	0	3	0
6.11	豊岡	18	1	1	16	0
6.11	明石	1	0	0	1	0
6.12	伊丹	7	1	0	6	0
6.19	伊丹	3	0	1	2	0
6.25	豊岡	4	0	0	4	0
6.25	加古川	5	0	1	4	0
7.2	加東	1	0	0	1	0
7.2	宝塚	9	1	0	8	0
7.2	明石	1	0	0	1	0
7.5	龍野	2	0	0	2	0
7.9	明石	7	0	0	7	0
7.9	加古川	6	0	0	6	0
7.9	豊岡	12	1	2	9	0
7.17	伊丹	3	0	0	3	0
7.17	明石	2	0	0	2	0
7.23	明石	1	0	0	1	0
7.23	加古川	7	0	1	6	0
7.25	加東	9	1	1	7	0
7.30	加東	8	0	0	8	0
7.30	伊丹	1	0	0	1	0
7.30	芦屋	6	0	0	6	0
7.31	加東	10	1	0	9	0
8.6	加古川	1	0	0	1	0
8.6	芦屋	1	0	0	1	0
8.6	赤穂	1	0	0	1	0
8.20	加東	7	0	1	6	0
8.20	明石	1	0	0	1	0
8.21	加東	5	0	2	3	0
8.22	丹波	6	0	1	5	0
8.27	加古川	3	0	0	3	0
8.27	芦屋	1	0	0	1	0
8.28	伊丹	3	0	2	1	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
9.3	明石	14	1	1	12	0
9.10	加古川	2	0	0	2	0
9.11	伊丹	14	2	0	12	0
9.18	加東	5	1	0	4	0
9.18	加東	7	0	0	7	0
9.18	加東	4	0	0	4	0
9.18	加東	6	0	0	6	0
9.24	加古川	20	3	1	16	0
9.24	明石	2	0	0	2	0
9.25	加古川	23	3	5	14	1
10.1	加古川	20	1	2	17	0
10.1	明石	3	0	1	2	0
10.2	加古川	17	4	4	9	0
10.9	明石	17	6	0	11	0
10.15	明石	2	0	1	1	0
10.15	加古川	5	0	0	5	0
10.15	芦屋	1	0	0	1	0
10.22	赤穂	2	0	0	2	0
10.22	明石	3	0	0	3	0
10.29	洲本	3	0	0	3	0
11.5	加東	10	2	0	8	0
11.5	芦屋	1	0	0	1	0
11.5	明石	4	0	1	3	0
11.12	加東	12	1	0	11	0
11.12	加古川	19	4	1	14	0
11.12	明石	2	0	0	2	0
11.14	加東	6	1	1	4	0
11.19	加古川	29	3	5	21	0
11.19	明石	2	0	0	2	0
11.26	加古川	26	3	1	22	0
11.26	赤穂	2	0	0	2	0
11.26	明石	3	1	1	1	0
11.26	伊丹	10	2	1	7	0
12.10	加古川	2	0	0	2	0
12.10	加東	11	1	1	9	0
12.11	洲本	1	0	0	1	0
12.17	加東	10	0	1	9	0
12.17	芦屋	2	0	0	2	0

月日	健康福祉事務所	件数	陽性	判定保留	陰性	判定不可
12.17	明石	13	1	1	11	0
12.18	明石	5	1	0	4	0

(6) インフルエンザ流行予測調査検査成績 (平成 23-24 年シーズン)

検体搬入年月	検体数	ウイルス検出数				合計
		A(H1N1)pdm09	Aノ連型	A香港型	B型	
2011.4	22	0	0	5	17	22
2011.5	23	1	0	8	9	18
2011.6	22	0	0	7	11	18
2011.7	0	0	0	0	0	0
2011.8	1	0	0	1	0	1
2011.9	0	0	0	0	0	0
2011.10	2	0	0	2	0	2
2011.11	8	0	0	7	0	7
2011.12	25	0	0	23	0	23
2012.1	55	0	0	44	8	52
2012.2	98	0	0	60	29	89
2012.3	78	0	0	24	25	49
合計	334	1	0	181	99	281

(7) インフルエンザ流行予測調査検査成績 (平成 24-25 年シーズン)

検体搬入年月	検体数	ウイルス検出数				合計
		A(H1N1)pdm09	Aノ連型	A香港型	B型	
2012.4	38	0	0	7	20	27
2012.5	17	0	0	1	16	17
2012.8	1	0	0	1	0	1
2012.9	1	0	0	0	0	0
2012.10	1	0	0	0	0	0
2012.11	3	0	0	2	0	2
2012.12	1	0	0	0	1	1
2013.1	64	3	0	56	5	64
2013.2	25	0	0	21	4	25
2013.3	41	1	0	26	13	40
合計	192	4	0	114	59	177

(8) 日本脳炎流行予測調査結果：ブタ血清中の HI 抗体価（平成 24 年）

採血年月日	検査頭数	HI 抗体価								陽性率(%)	2ME 感受性(%)
		<10	10	20	40	80	160	320	≥640		
2012.7.3	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.7.10	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.7.25	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.8.7	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.8.16	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.8.28	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.9.11	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2012.9.5	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) 肝炎ウイルス及び日本紅斑熱検査結果（健康福祉事務所等からの依頼検査）（平成 24 年）

		平成 24 年 (月)												合計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
B 型肝炎 (血清：HBs 抗原検査)	検体数	37	29	39	28	44	48	59	57	57	51	36	36	521
	陽性数	2	0	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	6
C 型肝炎 (血清：HCV 抗体検査)	検体数	34	29	38	29	44	46	55	54	57	48	32	35	501
	陽性数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
A 型肝炎 (糞便：遺伝子検査)	検体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E 型肝炎	検体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱 (ベア血清：抗体検査) (全血・痲皮等：遺伝子検査)	検体数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2
	陽性数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(10) 集団嘔吐下痢症からのノロウイルス検出結果 (平成24年)

事例No.	月	日	原因施設	感染経路	原因食	対象者	患者数	検体	検体数	陽性数	検出ウイルス												
1	1	8	飲食店	食品疑い	不明	52	40	有症	19	18	NVG II												
								調理従事者	3														
								拭き取り	18														
2		10	飲食店	食品疑い	不明			有症	1														
有症								7	3			NVG II											
3	11	飲食店	食品疑い	不明	7	5	調理従事者	5															
4							24	飲食店	食品疑い			不明	21	7	有症	6							
5	25	修学旅行	食品疑い	不明	206	21				調理従事者	4												
6							2	1	飲食店	食品疑い	不明	15	13	有症			13	5	NVG II				
7	3	ホテル	食品疑い	不明	348	11								有症	1	1	NVG II						
														有症	5					4	NVG II		
														調理従事者	26							2	NVG II
														食品	11								
拭き取り	10																						
有症	1			1	NVG II																		
有症	1					1								NVG II									
有症	1														1	NVG II							
調理従事者	5	5	NVG II																				
有症	1			1	NVG II																		
有症	1					1								NVG II									
調理従事者	6																						
有症	1																						
有症	3			3	A-rotavirus																		
有症	6					5	NVG II																
調理従事者	4							2	NVG II														
食品	1																						
拭き取り	10																						
有症	1					1	NVG II																
有症	5							5	NVG II														
従事者	4	1	NVG I																				
有症	1			1	NVG I & G II																		
有症	2					2	NVG I & G II																
有症	1							1	NVG I														
有症	2	1	NVG I & G II																				
有症	1																						
有症	47					38	A-rotavirus																
従事者	5							2	A-rotavirus														
有症	10	8	NVG II																				
調理従事者	3																						
拭き取り	9																						
有症	5							4	NVG II														
有症	1																						
有症	2																						
調理従事者	5																						
有症	3																						
従事者	7																						
有症	8			8	Sapo																		
従事者	7					4	Sapo																
有症	1							1	NVG II														
有症	3																						
従事者	2																						

事例No.	月	日	原因施設	感染経路	原因食	対象者	患者数	検体	検体数	陽性数	検出ウイルス	
30	6	9	仕出し	食品疑い	不明	52	26	有症 従事者	15 4	13 3	Sapo Sapo	
31		16	飲食店	食品疑い	不明	30	4	従事者	7			
32		23		食品疑い	岩カキ		12	有症	7	7(5)	NVG II & Sapo	
33	9	19	仕出し	食品疑い	カキ	34	12	有症	14	13	NVG I & G II & Sapo	
								調理従事者	3	2	NVG II	
								食品	3	1	NVG II	
								拭き取り	9			
34		20	飲食店	食品疑い	不明	7	4	有症	2			
35		26	仕出し	食品疑い	不明		44	有症	1			
36	10	28	保育所	食品疑い	不明	168	99	有症	25	23	NVG II	
								職員	6	6	NVG II	
								調理従事者	2	2	NVG II	
								食品	5			
37		29	飲食店	食品疑い	不明			有症	5	4	NVG II	
								調理従事者	8	1	NVG II	
38		30	飲食店	食品疑い	不明	34	26	有症	2			
								有症	1			
39	11	9	飲食店	食品疑い	不明	7	3	調理従事者	9	4	NVG II	
								有症	3	2	NVG II	
								有症	11	10	NVG II	
40		13	ホテル	食品疑い	不明	63	22	調理従事者	7			
								食品	1			
								有症	3	3	NVG II	
								有症	1	1	NVG II	
41		21	研修センター	ヒトヒト			42	5	有症	2	2	NVG II
									調理従事者	3		
42		26	ホテル	食品疑い	不明		89	15	有症	3	2	NVG II
43	28	家庭内	ヒトヒト			2	2	有症	1	1	NVG II	
								調理従事者	4			
44	28	仕出し	食品疑い	不明	17	5	有症	2	2	NVG II		
45	28	ホテル	食品疑い	不明				有症	1	1	NVG II	
46	29	飲食店	食品疑い	不明	50	30	有症	4	4	NVG II		
								有症	2	2	NVG II	
47	29	飲食店	食品疑い	不明	73	30	有症	8	7	NVG II		
48	30	飲食店	食品疑い	不明				有症	2	2	NVG II	
								調理従事者	1	1	NVG II	
								有症	2	1	NVG II	
49	3	飲食店	食品疑い	不明	14	12	有症	1	1	NVG II		
50	4	飲食店	食品疑い	不明	20	10	有症	1	1	NVG II		
51	4	ホテル	食品疑い	不明	426	17	有症	2	2	NVG II		
							調理従事者	9	7	NVG II		
								拭き取り	12			
52	5	飲食店	食品疑い	不明	91	44	有症	1				
							有症	1				
53	12	飲食店	食品疑い	不明	16	12	有症	1	1	NVG II		
54	12	飲食店	食品疑い	カキ疑い	5	5	調理従事者	3				
							有症	2	2	NVG II		
55	13	飲食店	食品疑い	不明	18	10	有症	1	1	NVG II		
56	19	ホテル	食品疑い	不明	30	15	有症	1	1	NVG II		
57	20	飲食店	食品疑い	不明	3	3	有症	1	1	NVG II		
58	25	飲食店	食品疑い	不明	45	25	有症	3	3	NVG II		
							有症	2	1	NVG II		
59	26	仕出し	食品疑い	不明	46	24	有症	15	13	NVG II		
							調理従事者	3	1	NVG II		
60	28	飲食店	食品疑い	不明	8	6	有症	3	2	NVG II		
							有症	1	1	NVG II		
							有症	2	2	NVG II		

(11) 感染症発生動向調査における月別病原体検出件数（平成24年）

（インフルエンザの検体を除く）

（検体数）

		平成24年												合計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
検体数		90	103	91	82	95	130	131	133	88	122	73	65	1203
患者数		83	89	80	76	83	102	104	115	75	100	65	56	1028
検査材料	咽頭ぬぐい液	18	24	33	30	41	54	76	64	45	37	26	18	466
	鼻腔ぬぐい液	47	41	34	15	21	36	19	34	12	41	16	26	342
	髄液	6	10	7	9	9	13	10	16	13	13	8	5	119
	便	18	25	14	25	19	23	19	19	16	29	21	14	242
	尿				2	3		2		1	1	2	1	12
	血液		3				3	4					1	11
	気管吸引液			2	1	1				1				5
	その他	1		1		1	1	1			1			6

（検出件数）

疾患名		平成24年												合計
		検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	
咽頭結膜熱	Adeno 2				2	1	4	1				1		9
	Adeno 3					1								1
	Adeno 5					1								1
	Adeno 37				1									1
	CA4						1							1
	Echo 9										1			1
	Rhino							1			1			2
	hMPV	1			1									2
滲出性扁桃炎	Adeno 1					1					2			3
	Adeno 2							1		1				2
	Adeno 4								1					1
	Adeno 5						2							2
	CA4								2					2
	CA9									1				1
	CA12						1		1					2
	Echo 7							2						2
	Echo 9					1		1						2
	Rhino					1	2						1	4
	RS												1	1
	PIV 2										1			1
	PIV 3						1	1						2

疾患名	平成24年													
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
手足口病	CA9									1				1
	CA10	1												1
	CA12							1						1
	CA16	1						1						2
	Rhino					1	1	2					1	5
	HHV6								1					1
	HHV7							2						2
ヘルパンギーナ	Adeno 1						1							1
	CA2						2	1	1					4
	CA4					1	2	3						6
	CA10								1					1
	CA12						1	3	3	1				8
	CB5							1						1
	Echo 7							2	1					3
	Rhino					1	4	1						6
	HHV6							1	1	1				3
無菌性髄膜炎	CA9							1						1
	CB5									1				1
	Echo 6						2		1	1				4
	Echo 7						2	1		1				4
	Echo 9								1					1
	HHV7									1				1
	EB											1		1
	Mumps					1								1
	Sapo					1								1
感染性胃腸炎	Noro G II	8	8	1	3	3					15	14	5	57
	Rota	1		3	11	6	3							24
	Sapo		1	1	2		1	1						6
	Adeno 1		1			1								2
	Adeno 2		1				1	2			1	1		6
	Adeno 31				1			1						2
	Adeno 41	1	1	3		2	2				2		1	12
	CA4								1					1
	CA9									1		1		2
	CA12							1						1
	CB3										1			1
	Echo 7						1				1	1		3

疾患名	平成24年														
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
感染性胃腸炎	Echo 9				1									1	
	Echo 25											1		1	
	Polio 3								1					1	
	Rhino			1	2	2				1	2			8	
	Parecho 4										1			1	
	RS							2							2
ウイルス性 発疹症	Adeno 5					1								1	
	CA9							1	2	4				7	
	CA12								1					1	
	Echo 7							1						1	
	Echo 9				1		1	1						3	
	Polio 2						1							1	
	Rhino			1		1	1		1		1			5	
	HHV6	1				2		2	3						8
	HHV7			1	1	1					1				4
	VZV	2		1				2			1				6
	Rubella		1								1				2
	RS	1													1
百日咳	百日咳菌					1			7					8	
	CA9								2					2	
	Rhino							3	4					7	
	PIV 3							2	1					3	
RSウイルス 感染症	RS	16	13	11	3	2	0	0	6	2	9	8	16	86	
	Adeno 2												1	1	
	CA9								1					1	
	Rhino	1		1	1					1			3	7	
上気道炎	Adeno 1											1		1	
	Adeno 2			1		1	2							4	
	Adeno 3										1			1	
	Adeno 4										1			1	
	Adeno 5											1		1	
	CA4						1	1	2					4	
	CA9						1	1		1				3	
	Echo 7					1			1					2	
	Rhino	1	6	1	1	2	9	2	1		3		2	28	
	HHV6						1							1	
	HHV7										1			1	

疾患名	平成24年													
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
上気道炎	RS	3				1					1			5
	hMPV			1	1	1			1					4
	PIV 1				1		1							2
	PIV 2						1		1	1	2			5
	PIV 3						1	1						2
	Sapo						1							1
	A群溶血性レンサ球菌												1	1
	百日咳菌								1					1
下気道炎	Adeno 1										1			1
	Adeno 2					1						1		2
	Adeno 5					1								1
	Adeno 54					1								1
	CA2								1					1
	Echo 7						1							1
	Echo 18						1							1
	Polio 2						2							2
	Rhino	1	2	3	3	5	4	2		2	6	4	2	34
	HHV6													0
	HHV7		1											1
	RS	4	7	2	1	1	1	1	2	2	6		3	30
	hMPV	3	2	2	4	1	4							16
	PIV 1										2	1		3
	PIV 2									3	1			4
	PIV 3					1	2							3
	PIV 4							1	1					2
肺炎マイコプラズマ								1	3				4	
その他	Adeno 1											1		1
	Adeno 2	1		1			2		1					5
	Adeno 4									1				1
	Adeno 5						1							1
	Adeno 41					1								1
	CA4						1	2						3
	CA9							3	2	1				6
	CA10	1												1
	CB5										1			1

疾患名	平成24年													
	検出病原体	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
その他	Echo 6											1		1
	Echo 7						1							1
	Echo 9				1									1
	Echo 18						4							4
	Rhino		1	2	1	1	4	3	2		4		2	20
	HHV6	1	2		1		1		1	1	1			8
	HHV7	2	1	1	1	3					1			9
	RS		1			1				1		1		4
	hMPV				2	1								3
	PIV 2										2			2
	HSV					1					1			2
	Parvo B19							1						1
	Rubella					1								1
	Sapo		1											1
	EBV				1	1				1		1		4
	CMV		1	1								2	1	5
百日咳菌										1			1	
検出数(合計)	51	51	39	48	60	87	61	62	38	74	41	41	653	

CA : コクサッキーウイルス A 群, CB : コクサッキーウイルス B 群, Echo : エコーウイルス,
EV : エンテロウイルス, hMPV : ヒューマン・メタニューモウイルス, PIV : パラインフルエンザウイルス,
HHV : ヒトヘルペスウイルス, HSV : 単純ヘルペスウイルス, CMV : サイトメガロウイルス,
VZV : 水痘・帯状疱疹ウイルス

(12) 感染症流行予測調査（ポリオ感染源調査）結果

(明石健康福祉事務所管内, 採便日 2012年9月)

年齢	検体数	男				女			
		ポリオ	ポリオ以外	陰性	計	ポリオ	ポリオ以外	陰性	計
		1～3型				1～3型			
0歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2歳	15	0	2 (Echo7)	6	8	0	1 (Echo7)	6	7
3歳	5	0	0	1	1	0	2 (Echo7)	2	4
4歳	14	0	4 (Echo7)	4	8	0	1 (Echo7)	5	6
5歳	20	0	5 (Echo7) 1 (Adeno 6)	4	10	0	4 (Echo7)	6	10
6歳	9	0	1 (Echo7)	2	3	0	3 (Echo7)	3	6
計	63	0	13	17	30	0	11	22	33

Echo7 : エコーウイルス 7型, Adeno 6 : アデノウイルス 6型

4. 資 料

(1) 全数把握対象疾病の患者数	
付表 1 - 1 : 平成24年全数把握対象疾病の週別患者数	5 6
付表 1 - 2 : 平成24年全数把握対象疾病の保健所別患者数	5 8
(2) 定点把握対象疾病の週（月）別患者数	
付表 2 - 1 : 平成24年週報対象疾病の週別患者数	6 0
付表 2 - 2 : 平成24年週報対象疾病の週別定点あたり患者数	6 1
付表 2 - 3 : 平成24年月報対象疾病の月別患者数	6 2
付表 2 - 4 : 平成24年月報対象疾病の月別定点あたり患者数	6 2
(3) 定点把握対象疾病の保健所別患者数	
付表 3 - 1 : 平成24年週報対象疾病の保健所別患者数	6 3
付表 3 - 2 : 平成24年週報対象疾病の保健所別定点あたり患者数	6 4
付表 3 - 3 : 平成24年月報対象疾病の保健所別患者数	6 5
付表 3 - 4 : 平成24年月報対象疾病の保健所別定点あたり患者数	6 5
(4) 定点把握対象疾病の年齢階級別患者数	
付表 4 - 1 : 平成24年週報対象疾病の年齢階級別患者数	6 6
付表 4 - 2 : 平成24年週報対象疾病の年齢階級別患者割合	6 7
付表 4 - 3 : 平成24年月報対象疾病の年齢階級別患者数	6 8
付表 4 - 4 : 平成24年月報対象疾病の年齢階級別患者割合	6 8
(5) 定点把握対象疾病（月報）の性別患者数	
付表 5 : 平成24年月報対象疾病の性別患者数と患者割合	6 8

付表1-2 全数把握対象疾病の疾病別保健所別患者数(平成24年)

疾病名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	379	190	99	88	15	94	54	95	153	79
ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群*	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性赤痢	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1
腸管出血性大腸菌感染症	18	11	10	3	0	2	5	7	4	11
腸チフス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E型肝炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0
エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
つつが虫病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
デング熱	6	0	2	0	0	0	0	0	0	0
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ**	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
発しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	20	4	4	0	3	5	1	3	2	0
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	10	0	5	3	2	2	3	0	1	1
ウイルス性肝炎***	4	1	1	1	1	0	1	2	2	1
急性脳炎****	8	0	0	0	0	0	0	0	2	0
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0
後天性免疫不全症候群	23	6	2	3	2	1	3	2	1	1
ジアルジア症	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0
髄膜炎菌性髄膜炎	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
先天性風しん症候群	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
梅毒	8	2	0	4	0	0	1	0	1	0
破傷風	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
風しん	65	58	40	12	3	30	8	8	14	14
麻しん	11	0	2	0	1	0	0	1	0	0

*病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る **鳥インフルエンザ(H5N1)を除く ***E型肝炎及びA型肝炎を除く

****ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

付表1-2 全数把握対象疾病の疾病別保健所別患者数(平成24年)

疾病名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
結核	35	24	2	27	11	34	36	1415
ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
重症急性呼吸器症候群*	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ(H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0
細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	5
腸管出血性大腸菌感染症	3	1	1	1	0	3	15	95
腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	2
パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
E型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	1
ウエストナイル熱	0	0	0	0	0	0	0	0
A型肝炎	0	0	0	0	0	0	0	5
エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	0
黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
オウム病	0	0	0	0	0	0	0	0
オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	0
キャサナル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	0
サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	0
つつが虫病	1	0	0	0	0	0	1	2
デング熱	0	0	0	0	0	0	0	8
東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
鳥インフルエンザ**	0	0	0	0	0	0	0	0
ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	1	1
日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
ベネズエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
発しんチフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	0
マラリア	0	0	0	0	0	0	0	3
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	0
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
レジオネラ症	0	2	1	3	0	0	1	49
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0
アメーバ赤痢	0	0	0	1	0	0	1	29
ウイルス性肝炎***	0	1	0	0	0	0	0	15
急性脳炎****	0	0	0	0	0	0	0	10
クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	0
クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0	0	0	6
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	5
後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	0	1	46
ジアルジア症	0	0	0	0	0	3	0	7
髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1
先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	2
梅毒	0	0	0	0	0	0	2	18
破傷風	0	0	0	0	0	0	0	2
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	3
風しん	15	3	1	0	0	8	2	281
麻しん	0	0	0	0	0	1	0	16

*病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る **鳥インフルエンザ(H5N1)を除く ***E型肝炎及びA型肝炎を除く
 ****ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く

付表2-1 週報疾病別週別患者数(平成24年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
インフルエンザ*	728	1681	5280	7701	8450	7531	7178	6011	5145	4431	3833	3488	2152	1064	885	768	534	164
RSウイルス感染症	117	117	91	95	93	89	70	88	84	58	70	49	43	20	16	15	16	10
咽頭結膜熱	9	22	16	19	30	23	18	37	15	20	33	12	28	22	32	45	41	10
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	84	105	169	177	163	163	174	173	179	157	183	158	91	109	125	140	188	85
感染性胃腸炎	948	1301	1685	1326	1125	1058	1071	950	923	847	929	822	823	890	1197	1401	1461	656
水痘	271	299	204	220	202	190	232	189	196	191	159	213	187	192	164	188	156	145
手足口病	25	16	19	16	18	13	8	14	10	3	6	2	5	10	5	6	6	9
伝染性紅斑	27	39	43	29	30	18	16	26	32	19	21	25	24	22	28	22	17	13
突発性発しん	46	67	82	75	60	51	52	52	54	56	66	47	52	63	56	78	67	43
百日咳	5	7	3	2	0	1	4	1	7	0	7	2	4	2	5	4	2	0
ヘルパンギーナ	2	1	3	0	2	4	1	0	1	1	5	1	2	4	1	2	3	1
流行性耳下腺炎	79	59	83	54	41	53	43	37	36	27	34	49	33	29	63	41	38	22
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	3	1	0	0	1	0	0
流行性角結膜炎	11	18	11	11	13	11	9	9	11	11	13	11	12	20	18	16	17	8
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	1
マイコプラズマ肺炎	9	11	9	10	10	7	8	4	9	12	22	14	8	6	6	10	9	11
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	1	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0

疾 病 名	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
インフルエンザ*	72	68	55	35	20	29	11	4	4	1	1	3	2	1	3	1	4	4
RSウイルス感染症	10	8	4	9	2	10	6	0	2	1	0	7	3	7	5	3	11	29
咽頭結膜熱	42	48	57	51	44	53	58	33	59	66	30	50	32	35	27	27	25	36
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	171	210	269	317	262	233	213	185	140	145	111	108	56	48	35	59	58	45
感染性胃腸炎	1337	1378	1576	1749	1490	1219	910	819	791	613	523	514	502	472	287	429	453	442
水痘	207	190	182	166	187	205	178	145	156	139	102	113	53	61	70	76	47	58
手足口病	6	8	7	12	13	21	22	26	23	24	34	36	30	28	16	24	20	17
伝染性紅斑	9	32	23	23	28	19	21	32	31	19	7	15	8	7	3	7	6	4
突発性発しん	83	95	83	88	84	71	81	97	82	95	67	79	87	104	62	92	99	92
百日咳	2	2	3	0	1	1	2	2	2	2	3	3	0	2	2	14	5	7
ヘルパンギーナ	4	8	15	27	48	91	152	323	413	632	610	616	536	366	179	174	139	119
流行性耳下腺炎	46	45	46	51	50	41	43	37	58	61	30	63	54	39	33	36	42	35
急性出血性結膜炎	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0
流行性角結膜炎	16	15	16	12	11	10	9	15	7	11	12	6	17	13	2	11	13	10
細菌性髄膜炎	1	0	0	0	3	0	0	3	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1
無菌性髄膜炎	0	2	1	0	0	2	2	3	0	2	8	5	4	2	3	4	3	3
マイコプラズマ肺炎	10	12	10	11	8	4	5	8	5	10	5	6	10	7	10	6	10	11
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	2	1	1	0	0	0	0

疾 病 名	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	計
インフルエンザ*	7	2	3	3	3	3	4	5	2	7	8	16	20	39	153	172	67789
RSウイルス感染症	56	53	120	118	117	144	132	117	120	137	127	194	260	338	334	292	3917
咽頭結膜熱	39	30	12	26	14	11	13	8	17	24	21	33	33	35	52	40	1613
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	72	64	84	87	45	108	107	107	124	134	117	140	177	133	155	81	7023
感染性胃腸炎	467	430	525	551	675	954	1419	1794	2627	2430	1994	1990	1734	1568	1429	1073	56577
水痘	75	47	59	59	53	75	100	115	132	160	169	252	223	236	239	248	8175
手足口病	16	16	9	7	7	8	2	4	10	3	3	1	7	11	11	13	686
伝染性紅斑	8	3	5	3	2	3	7	1	3	2	6	2	6	2	5	2	805
突発性発しん	101	49	67	71	62	79	72	67	81	64	52	54	63	50	56	46	3642
百日咳	3	3	2	1	2	1	2	2	0	0	1	1	3	4	1	1	136
ヘルパンギーナ	117	52	48	39	19	11	13	5	3	3	1	1	0	2	3	1	4804
流行性耳下腺炎	32	31	20	31	19	25	31	22	24	19	10	15	14	19	10	12	1965
急性出血性結膜炎	0	0	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	21
流行性角結膜炎	9	11	14	12	10	9	14	8	15	30	4	11	22	11	19	21	656
細菌性髄膜炎	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	17
無菌性髄膜炎	3	2	2	1	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	61
マイコプラズマ肺炎	13	9	10	7	10	12	13	10	12	15	11	11	7	7	4	10	484
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	2	1	0	0	2	25

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

付表2-2 週報疾病別週別定点あたり患者数(平成24年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
インフルエンザ*	3.66	8.45	26.53	38.70	42.46	37.84	36.07	30.21	25.85	22.27	19.26	17.53	10.81	5.35	4.45	3.86	2.68	0.82
RSウイルス感染症	0.91	0.91	0.71	0.74	0.72	0.69	0.54	0.68	0.65	0.45	0.54	0.38	0.33	0.16	0.12	0.12	0.12	0.08
咽頭結膜熱	0.07	0.17	0.12	0.15	0.23	0.18	0.14	0.29	0.12	0.16	0.26	0.09	0.22	0.17	0.25	0.35	0.32	0.08
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	0.81	1.31	1.37	1.26	1.26	1.35	1.34	1.39	1.22	1.42	1.22	0.71	0.84	0.97	1.09	1.46	0.66
感染性胃腸炎	7.35	10.09	13.06	10.28	8.72	8.20	8.30	7.36	7.16	6.57	7.20	6.37	6.38	6.90	9.28	10.86	11.33	5.09
水痘	2.10	2.32	1.58	1.71	1.57	1.47	1.80	1.47	1.52	1.48	1.23	1.65	1.45	1.49	1.27	1.46	1.21	1.12
手足口病	0.19	0.12	0.15	0.12	0.14	0.10	0.06	0.11	0.08	0.02	0.05	0.02	0.04	0.08	0.04	0.05	0.05	0.07
伝染性紅斑	0.21	0.30	0.33	0.22	0.23	0.14	0.12	0.20	0.25	0.15	0.16	0.19	0.19	0.17	0.22	0.17	0.13	0.10
突発性発しん	0.36	0.52	0.64	0.58	0.47	0.40	0.40	0.40	0.42	0.43	0.51	0.36	0.40	0.49	0.43	0.60	0.52	0.33
百日咳	0.04	0.05	0.02	0.02	0.00	0.01	0.03	0.01	0.05	0.00	0.05	0.02	0.03	0.02	0.04	0.03	0.02	0.00
ヘルパンギーナ	0.02	0.01	0.02	0.00	0.02	0.03	0.01	0.00	0.01	0.01	0.04	0.01	0.02	0.03	0.01	0.02	0.02	0.01
流行性耳下腺炎	0.61	0.46	0.64	0.42	0.32	0.41	0.33	0.29	0.28	0.21	0.26	0.38	0.26	0.22	0.49	0.32	0.29	0.17
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.06	0.00	0.09	0.03	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.31	0.51	0.31	0.31	0.37	0.31	0.26	0.26	0.31	0.31	0.37	0.31	0.34	0.57	0.51	0.46	0.49	0.23
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.14	0.00	0.07
マイコプラズマ肺炎	0.64	0.79	0.64	0.71	0.71	0.50	0.57	0.29	0.64	0.86	1.57	1.00	0.57	0.43	0.43	0.71	0.64	0.79
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.07	0.00	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.14	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00

疾 病 名	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
インフルエンザ*	0.36	0.34	0.28	0.18	0.10	0.15	0.06	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02
RSウイルス感染症	0.08	0.06	0.03	0.07	0.02	0.08	0.05	0.00	0.02	0.01	0.00	0.05	0.02	0.05	0.04	0.02	0.09	0.22
咽頭結膜熱	0.33	0.37	0.44	0.40	0.34	0.41	0.45	0.26	0.46	0.51	0.23	0.39	0.25	0.27	0.21	0.21	0.19	0.28
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.33	1.63	2.09	2.46	2.03	1.81	1.65	1.43	1.09	1.12	0.86	0.84	0.43	0.37	0.27	0.46	0.45	0.35
感染性胃腸炎	10.36	10.68	12.22	13.56	11.55	9.45	7.05	6.35	6.13	4.75	4.05	3.98	3.89	3.66	2.22	3.33	3.51	3.43
水痘	1.60	1.47	1.41	1.29	1.45	1.59	1.38	1.12	1.21	1.08	0.79	0.88	0.41	0.47	0.54	0.59	0.36	0.45
手足口病	0.05	0.06	0.05	0.09	0.10	0.16	0.17	0.20	0.18	0.19	0.26	0.28	0.23	0.22	0.12	0.19	0.16	0.13
伝染性紅斑	0.07	0.25	0.18	0.18	0.22	0.15	0.16	0.25	0.24	0.15	0.05	0.12	0.06	0.05	0.02	0.05	0.05	0.03
突発性発しん	0.64	0.74	0.64	0.68	0.65	0.55	0.63	0.75	0.64	0.74	0.52	0.61	0.67	0.81	0.48	0.71	0.77	0.71
百日咳	0.02	0.02	0.02	0.00	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.00	0.02	0.02	0.11	0.04	0.05
ヘルパンギーナ	0.03	0.06	0.12	0.21	0.37	0.71	1.18	2.50	3.20	4.90	4.73	4.78	4.16	2.84	1.39	1.35	1.08	0.92
流行性耳下腺炎	0.36	0.35	0.36	0.40	0.39	0.32	0.33	0.29	0.45	0.47	0.23	0.49	0.42	0.30	0.26	0.28	0.33	0.27
急性出血性結膜炎	0.06	0.00	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00
流行性角結膜炎	0.46	0.43	0.46	0.34	0.31	0.29	0.26	0.43	0.20	0.31	0.34	0.17	0.49	0.37	0.06	0.31	0.37	0.29
細菌性髄膜炎	0.07	0.00	0.00	0.00	0.21	0.00	0.00	0.21	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07
無菌性髄膜炎	0.00	0.14	0.07	0.00	0.00	0.14	0.14	0.21	0.00	0.14	0.57	0.36	0.29	0.14	0.21	0.29	0.21	0.21
マイコプラズマ肺炎	0.71	0.86	0.71	0.79	0.57	0.29	0.36	0.57	0.36	0.71	0.36	0.43	0.71	0.50	0.71	0.43	0.71	0.79
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.07	0.14	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00

疾 病 名	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	週平均
インフルエンザ*	0.04	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.03	0.01	0.04	0.04	0.08	0.10	0.20	0.77	0.86	6.55
RSウイルス感染症	0.43	0.41	0.93	0.91	0.91	1.12	1.02	0.91	0.93	1.06	0.98	1.50	2.02	2.62	2.59	2.26	0.58
咽頭結膜熱	0.30	0.23	0.09	0.20	0.11	0.09	0.10	0.06	0.13	0.19	0.16	0.26	0.26	0.27	0.40	0.31	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.56	0.50	0.65	0.67	0.35	0.84	0.83	0.83	0.96	1.04	0.91	1.09	1.37	1.03	1.20	0.63	1.05
感染性胃腸炎	3.62	3.33	4.07	4.27	5.23	7.40	11.00	13.91	20.36	18.84	15.46	15.43	13.44	12.16	11.08	8.32	8.43
水痘	0.58	0.36	0.46	0.46	0.41	0.58	0.78	0.89	1.02	1.24	1.31	1.95	1.73	1.83	1.85	1.92	1.22
手足口病	0.12	0.12	0.07	0.05	0.05	0.06	0.02	0.03	0.08	0.02	0.02	0.01	0.05	0.09	0.09	0.10	0.10
伝染性紅斑	0.06	0.02	0.04	0.02	0.02	0.05	0.01	0.02	0.02	0.05	0.02	0.05	0.02	0.05	0.04	0.02	0.12
突発性発しん	0.78	0.38	0.52	0.55	0.48	0.61	0.56	0.52	0.63	0.50	0.40	0.42	0.49	0.39	0.43	0.36	0.54
百日咳	0.02	0.02	0.02	0.01	0.02	0.01	0.02	0.02	0.00	0.00	0.01	0.01	0.02	0.03	0.01	0.01	0.02
ヘルパンギーナ	0.91	0.40	0.37	0.30	0.15	0.09	0.10	0.04	0.02	0.02	0.01	0.01	0.00	0.02	0.02	0.01	0.72
流行性耳下腺炎	0.25	0.24	0.16	0.24	0.15	0.19	0.24	0.17	0.19	0.15	0.08	0.12	0.11	0.15	0.08	0.09	0.29
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.06	0.00	0.00	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03	0.03	0.00	0.01
流行性角結膜炎	0.26	0.31	0.40	0.34	0.29	0.26	0.40	0.23	0.43	0.86	0.11	0.31	0.63	0.31	0.54	0.60	0.36
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.02
無菌性髄膜炎	0.21	0.14	0.14	0.07	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
マイコプラズマ肺炎	0.93	0.64	0.71	0.50	0.71	0.86	0.93	0.71	0.86	1.07	0.79	0.79	0.50	0.50	0.29	0.71	0.66
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.07	0.00	0.00	0.00	0.07	0.00	0.07	0.07	0.07	0.14	0.07	0.00	0.00	0.14	0.03

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

付表2-3 月報疾病別月別患者数(平成24年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
性器クラミジア感染症	64	58	63	66	80	78	77	68	84	93	64	59	854
性器ヘルペスウイルス感染症	29	21	25	27	28	18	20	17	25	17	19	18	264
尖圭コンジローマ	11	14	16	9	11	10	15	12	15	16	8	8	145
淋菌感染症	27	25	30	20	32	33	42	36	41	42	24	27	379
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	42	31	54	26	51	41	34	31	32	35	22	25	424
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	4	2	1	3	5	4	0	2	2	3	4	1	31
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	1	1	0	0	1	1	0	1	0	1	0	6
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

付表2-4 月報疾病別月別定点あたり患者数(平成24年)

疾 病 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	月平均
性器クラミジア感染症	1.39	1.26	1.37	1.43	1.74	1.70	1.67	1.48	1.83	2.02	1.39	1.28	1.55
性器ヘルペスウイルス感染症	0.63	0.46	0.54	0.59	0.61	0.39	0.43	0.37	0.54	0.37	0.41	0.39	0.48
尖圭コンジローマ	0.24	0.30	0.35	0.20	0.24	0.22	0.33	0.26	0.33	0.35	0.17	0.17	0.26
淋菌感染症	0.59	0.54	0.65	0.43	0.70	0.72	0.91	0.78	0.89	0.91	0.52	0.59	0.69
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	3.00	2.21	3.86	1.86	3.64	2.93	2.43	2.21	2.29	2.50	1.57	1.79	2.52
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.29	0.14	0.07	0.21	0.36	0.29	0.00	0.14	0.14	0.21	0.29	0.07	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.07	0.07	0.00	0.00	0.07	0.07	0.00	0.07	0.00	0.07	0.00	0.04
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

付表3-1 週報疾病別保健所別患者数(平成24年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
インフルエンザ*	15441	5413	8704	4236	563	5461	2809	3103	5074	5176
RSウイルス感染症	638	274	663	294	7	110	128	324	205	407
咽頭結膜熱	488	106	88	122	3	206	140	61	47	145
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1431	474	1145	503	67	627	220	290	308	904
感染性胃腸炎	14978	3273	7029	4545	714	3621	3001	2338	2669	4966
水痘	1756	323	1473	476	85	597	469	365	588	806
手足口病	122	80	133	35	10	67	40	22	38	49
伝染性紅斑	200	36	76	51	8	17	36	31	47	127
突発性発しん	773	164	579	286	36	265	227	163	309	335
百日咳	7	6	4	6	1	11	26	5	8	10
ヘルパンギーナ	1219	118	758	332	17	227	343	158	529	447
流行性耳下腺炎	331	165	287	79	17	149	110	155	144	142
急性出血性結膜炎	12	0	4	1	0	0	1	0	1	0
流行性角結膜炎	103	112	36	30	1	111	36	24	65	61
細菌性髄膜炎	0	5	3	-	-	-	-	-	6	0
無菌性髄膜炎	5	3	14	-	-	-	-	-	36	0
マイコプラズマ肺炎	13	1	27	-	-	-	-	-	139	196
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	-	-	-	-	-	0	21

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
インフルエンザ*	2489	1603	1082	2200	1573	521	2341	67789
RSウイルス感染症	42	94	11	60	23	190	447	3917
咽頭結膜熱	38	39	5	1	24	38	62	1613
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	120	162	25	160	77	67	443	7023
感染性胃腸炎	1972	1455	841	1501	748	421	2505	56577
水痘	232	199	87	272	150	30	267	8175
手足口病	19	13	8	10	12	9	19	686
伝染性紅斑	18	76	13	43	13	0	13	805
突発性発しん	113	80	52	110	58	15	77	3642
百日咳	20	22	0	2	3	2	3	136
ヘルパンギーナ	101	33	99	54	64	58	247	4804
流行性耳下腺炎	25	31	3	50	253	7	17	1965
急性出血性結膜炎	0	-	0	0	-	-	2	21
流行性角結膜炎	53	-	6	12	-	-	6	656
細菌性髄膜炎	0	1	-	0	0	2	0	17
無菌性髄膜炎	0	0	-	1	0	2	0	61
マイコプラズマ肺炎	1	15	-	33	5	53	1	484
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	4	-	0	0	0	0	25

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

付表3-2 週報疾病別保健所別定点あたり患者数(平成24年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
インフルエンザ*	6.19	6.94	8.81	5.82	3.61	8.75	6.00	5.35	6.98	7.66
RSウイルス感染症	0.40	0.53	0.98	0.63	0.07	0.26	0.41	0.88	0.44	0.98
咽頭結膜熱	0.30	0.20	0.13	0.26	0.03	0.50	0.45	0.17	0.10	0.35
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.89	0.91	1.69	1.07	0.64	1.51	0.71	0.79	0.66	2.17
感染性胃腸炎	9.29	6.29	10.40	9.71	6.87	8.70	9.62	6.34	5.70	11.94
水痘	1.09	0.62	2.18	1.02	0.82	1.44	1.50	0.99	1.26	1.94
手足口病	0.08	0.15	0.20	0.07	0.10	0.16	0.13	0.06	0.08	0.12
伝染性紅斑	0.12	0.07	0.11	0.11	0.08	0.04	0.12	0.08	0.10	0.31
突発性発しん	0.48	0.32	0.86	0.61	0.35	0.64	0.73	0.44	0.66	0.81
百日咳	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.08	0.01	0.02	0.02
ヘルパンギーナ	0.76	0.23	1.12	0.71	0.16	0.55	1.10	0.43	1.13	1.07
流行性耳下腺炎	0.21	0.32	0.42	0.17	0.16	0.36	0.35	0.42	0.31	0.34
急性出血性結膜炎	0.02	0.00	0.03	0.01	0.00	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
流行性角結膜炎	0.20	0.72	0.23	0.19	0.02	1.07	0.35	0.23	0.42	0.59
細菌性髄膜炎	0.00	5.00	3.00	-	-	-	-	-	6.00	0.00
無菌性髄膜炎	1.67	3.00	14.00	-	-	-	-	-	36.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	4.33	1.00	27.00	-	-	-	-	-	139.00	196.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	-	0.00	21.00

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	全県
インフルエンザ*	5.98	5.14	10.40	5.29	10.08	1.67	5.63	6.55
RSウイルス感染症	0.16	0.45	0.21	0.23	0.22	0.91	1.72	0.58
咽頭結膜熱	0.15	0.19	0.10	0.00	0.23	0.18	0.24	0.24
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.46	0.78	0.48	0.62	0.74	0.32	1.70	1.05
感染性胃腸炎	7.58	7.00	16.17	5.77	7.19	2.02	9.63	8.43
水痘	0.89	0.96	1.67	1.05	1.44	0.14	1.03	1.22
手足口病	0.07	0.06	0.15	0.04	0.12	0.04	0.07	0.10
伝染性紅斑	0.07	0.37	0.25	0.17	0.13	0.00	0.05	0.12
突発性発しん	0.43	0.38	1.00	0.42	0.56	0.07	0.30	0.54
百日咳	0.08	0.11	0.00	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02
ヘルパンギーナ	0.39	0.16	1.90	0.21	0.62	0.28	0.95	0.72
流行性耳下腺炎	0.10	0.15	0.06	0.19	2.43	0.03	0.07	0.29
急性出血性結膜炎	0.00	-	0.00	0.00	-	-	0.04	0.01
流行性角結膜炎	1.02	-	0.12	0.23	-	-	0.12	0.36
細菌性髄膜炎	0.00	1.00	-	0.00	0.00	2.00	0.00	0.02
無菌性髄膜炎	0.00	0.00	-	1.00	0.00	2.00	0.00	0.08
マイコプラズマ肺炎	1.00	15.00	-	33.00	5.00	53.00	1.00	0.66
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	4.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.03

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

付表3-3 月報疾病別保健所別患者数(平成24年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
性器クラミジア感染症	238	88	183	39	23	1	40	36	92	36
性器ヘルペスウイルス感染症	89	22	38	3	3	0	38	5	14	7
尖圭コンジローマ	26	14	48	12	0	0	11	6	13	2
淋菌感染症	106	49	97	22	10	2	8	5	58	3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	53	68	66	26	-	-	-	-	6	49
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	0	3	0	-	-	-	-	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	3	1	0	-	-	-	-	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	-	-	-	-	0	0

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	計
性器クラミジア感染症	25	4	14	12	0	8	15	854
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	22	9	0	4	10	264
尖圭コンジローマ	0	0	1	7	0	4	1	145
淋菌感染症	3	0	2	2	5	2	5	379
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10	23	-	48	9	27	39	424
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	5	-	0	0	5	13	31
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	-	0	0	0	2	6
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	-	0	0	0	0	0

付表3-4 月報疾病別保健所別定点あたり患者数(平成24年)

疾 病 名	神戸市	尼崎市	姫路市	西宮市	芦屋	伊丹	宝塚	明石	加古川	加東
性器クラミジア感染症	1.65	1.83	3.81	1.08	1.92	0.04	1.11	1.50	1.92	1.00
性器ヘルペスウイルス感染症	0.62	0.46	0.79	0.08	0.25	0.00	1.06	0.21	0.29	0.19
尖圭コンジローマ	0.18	0.29	1.00	0.33	0.00	0.00	0.31	0.25	0.27	0.06
淋菌感染症	0.74	1.02	2.02	0.61	0.83	0.08	0.22	0.21	1.21	0.08
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.47	5.67	5.50	2.17	-	-	-	-	0.50	4.08
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1.67	0.00	0.25	0.00	-	-	-	-	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.25	0.08	0.00	-	-	-	-	0.00	0.00
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	0.00	0.00

疾 病 名	龍野	赤穂	福崎	豊岡	朝来	丹波	洲本	全県
性器クラミジア感染症	2.08	0.33	1.17	1.00	0.00	0.67	0.63	1.55
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	0.00	1.83	0.75	0.00	0.33	0.42	0.48
尖圭コンジローマ	0.00	0.00	0.08	0.58	0.00	0.33	0.04	0.26
淋菌感染症	0.25	0.00	0.17	0.17	0.42	0.17	0.21	0.69
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.83	1.92	-	4.00	0.75	2.25	3.25	2.52
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.42	-	0.00	0.00	0.42	1.08	0.18
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.17	0.04
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0.00	0.00	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

付表4-1 週報疾病別年齢階級別患者数(平成24年)

	0-5ヶ月	6-11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
インフルエンザ*	168	648	2377	2777	3869	5258	6293	6093	5601	4863	4403
RSウイルス感染症	705	819	1283	553	293	139	65	15	9	9	7
咽頭結膜熱	7	79	364	204	212	225	160	104	58	47	37
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	13	43	176	370	590	990	1142	963	726	552	397
感染性胃腸炎	542	3329	8641	6303	5924	5679	4728	3392	2717	2291	1905
水痘	160	380	1203	1307	1362	1305	951	573	361	199	140
手足口病	8	54	199	114	96	80	50	32	14	10	6
伝染性紅斑	2	20	56	58	86	131	131	88	70	60	46
突発性発しん	121	1578	1680	207	34	9	3	4	3	1	0
百日咳	18	6	13	1	5	6	5	6	3	3	7
ヘルパンギーナ	58	382	1143	865	710	632	407	226	144	70	44
流行性耳下腺炎	3	4	67	148	203	306	333	293	174	133	88
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0
流行性角結膜炎	1	1	26	26	24	18	18	6	3	7	3
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
細菌性髄膜炎	5	2	2	0	0	0	1	0	0	1	0
無菌性髄膜炎	17	5	15	11	2	3	3	0	2	1	0
マイコプラズマ肺炎	7	159	128	59	22	13	16	18	15	7	6
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	6	10	3	1	0	1	0	1	0	0
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ*	13156	1792	1697	3297	2329	1169	906	599	494	67789	
	10-14歳	15-19歳	20歳以上								
RSウイルス感染症	6	2	12								3917
咽頭結膜熱	74	9	33								1613
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	761	48	252								7023
感染性胃腸炎	4741	1123	5262								56577
水痘	185	26	23								8175
手足口病	15	3	5								686
伝染性紅斑	45	0	12								805
突発性発しん	0	0	2								3642
百日咳	9	9	45								136
ヘルパンギーナ	95	5	23								4804
流行性耳下腺炎	173	11	29								1965
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上			
急性出血性結膜炎	1	2	2	8	1	1	2	0			21
流行性角結膜炎	23	21	96	142	93	47	66	35			656
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上						
細菌性髄膜炎	0	1	1	0	4						17
無菌性髄膜炎	0	1	0	0	1						61
マイコプラズマ肺炎	3	5	5	4	17						484
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	1	0	1						25

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

付表4-2 週報疾病別年齢階級別患者割合(%) (平成24年)

	0-6ヶ月	7-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳
インフルエンザ*	0.25	0.96	3.51	4.10	5.71	7.76	9.28	8.99	8.26	7.17	6.50
RSウイルス感染症	18.00	20.91	32.75	14.12	7.48	3.55	1.66	0.38	0.23	0.23	0.18
咽頭結膜熱	0.43	4.90	22.57	12.65	13.14	13.95	9.92	6.45	3.60	2.91	2.29
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.19	0.61	2.51	5.27	8.40	14.10	16.26	13.71	10.34	7.86	5.65
感染性胃腸炎	0.96	5.88	15.27	11.14	10.47	10.04	8.36	6.00	4.80	4.05	3.37
水痘	1.96	4.65	14.72	15.99	16.66	15.96	11.63	7.01	4.42	2.43	1.71
手足口病	1.17	7.87	29.01	16.62	13.99	11.66	7.29	4.66	2.04	1.46	0.87
伝染性紅斑	0.25	2.48	6.96	7.20	10.68	16.27	16.27	10.93	8.70	7.45	5.71
突発性発しん	3.32	43.33	46.13	5.68	0.93	0.25	0.08	0.11	0.08	0.03	0.00
百日咳	13.24	4.41	9.56	0.74	3.68	4.41	3.68	4.41	2.21	2.21	5.15
ヘルパンギーナ	1.21	7.95	23.79	18.01	14.78	13.16	8.47	4.70	3.00	1.46	0.92
流行性耳下腺炎	0.15	0.20	3.41	7.53	10.33	15.57	16.95	14.91	8.85	6.77	4.48
急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	4.76	0.00	4.76	0.00	4.76	4.76	0.00
流行性角結膜炎	0.15	0.15	3.96	3.96	3.66	2.74	2.74	0.91	0.46	1.07	0.46
	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳
細菌性髄膜炎	29.41	11.76	11.76	0.00	0.00	0.00	5.88	0.00	0.00	5.88	0.00
無菌性髄膜炎	27.87	8.20	24.59	18.03	3.28	4.92	4.92	0.00	3.28	1.64	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.45	32.85	26.45	12.19	4.55	2.69	3.31	3.72	3.10	1.45	1.24
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	4.00	24.00	40.00	12.00	4.00	0.00	4.00	0.00	4.00	0.00	0.00
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70-79歳	80歳以上	計	
インフルエンザ*	19.41	2.64	2.50	4.86	3.44	1.72	1.34	0.88	0.73	100.00	
	10-14歳	15-19歳	20歳以上								
RSウイルス感染症	0.15	0.05	0.31							100.00	
咽頭結膜熱	4.59	0.56	2.05							100.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10.84	0.68	3.59							100.00	
感染性胃腸炎	8.38	1.98	9.30							100.00	
水痘	2.26	0.32	0.28							100.00	
手足口病	2.19	0.44	0.73							100.00	
伝染性紅斑	5.59	0.00	1.49							100.00	
突発性発しん	0.00	0.00	0.05							100.00	
百日咳	6.62	6.62	33.09							100.00	
ヘルパンギーナ	1.98	0.10	0.48							100.00	
流行性耳下腺炎	8.80	0.56	1.48							100.00	
	10-14歳	15-19歳	20-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上			
急性出血性結膜炎	4.76	9.52	9.52	38.10	4.76	4.76	9.52	0.00		100.00	
流行性角結膜炎	3.51	3.20	14.63	21.65	14.18	7.16	10.06	5.34		100.00	
	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上						
細菌性髄膜炎	0.00	5.88	5.88	0.00	23.53					100.00	
無菌性髄膜炎	0.00	1.64	0.00	0.00	1.64					100.00	
マイコプラズマ肺炎	0.62	1.03	1.03	0.83	3.51					100.00	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	4.0	0.00	4.00					100.00	

*鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く

付表4-3 月報疾病別年齢階級別患者数(平成24年)

疾 病 名	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
性器クラミジア感染症	0	0	0	1	110	199	170	145	83
性器ヘルペスウイルス感染症	0	0	0	0	9	25	27	47	33
尖圭コンジローマ	0	0	0	1	14	20	23	20	19
淋菌感染症	0	0	0	0	36	70	80	66	44
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	12	10	1	2	1	2	3	5	5
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	6	2	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0

疾 病 名	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症	57	44	30	8	5	1	1	854
性器ヘルペスウイルス感染症	34	23	17	17	8	8	16	264
尖圭コンジローマ	6	18	6	9	2	2	5	145
淋菌感染症	36	19	12	9	5	1	1	379
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	7	9	12	24	38	29	264	424
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	1	2	18	31
薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	0	1	5	6
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	0

付表4-4 月報疾病別年齢階級別患者割合(%) (平成24年)

疾 病 名	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14歳	15-19歳	20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳
性器クラミジア感染症	0.00	0.00	0.00	0.12	12.88	23.30	19.91	16.98	9.72
性器ヘルペスウイルス感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	3.41	9.47	10.23	17.80	12.50
尖圭コンジローマ	0.00	0.00	0.00	0.69	9.66	13.79	15.86	13.79	13.10
淋菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	9.50	18.47	21.11	17.41	11.61
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.83	2.36	0.24	0.47	0.24	0.47	0.71	1.18	1.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	6.45	19.35	6.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾 病 名	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症	6.67	5.15	3.51	0.94	0.59	0.12	0.12	100.00
性器ヘルペスウイルス感染症	12.88	8.71	6.44	6.44	3.03	3.03	6.06	100.00
尖圭コンジローマ	4.14	12.41	4.14	6.21	1.38	1.38	3.45	100.00
淋菌感染症	9.50	5.01	3.17	2.37	1.32	0.26	0.26	100.00
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.65	2.12	2.83	5.66	8.96	6.84	62.26	100.00
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	3.23	6.45	58.06	100.00
薬剤耐性緑膿菌感染症	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	16.67	83.33	100.00
薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-	-	-	-	-	-

付表5 月報疾病別性別患者数と患者割合(%) (平成24年)

疾 病 名	男 (%)		女 (%)		計 (%)	
性器クラミジア感染症	453	(53.04)	401	(46.96)	854	(100.00)
性器ヘルペスウイルス感染症	102	(38.64)	162	(61.36)	264	(100.00)
尖圭コンジローマ	115	(79.31)	30	(20.69)	145	(100.00)
淋菌感染症	336	(88.65)	43	(11.35)	379	(100.00)
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	256	(60.38)	168	(39.62)	424	(100.00)
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	18	(58.06)	13	(41.94)	31	(100.00)
薬剤耐性緑膿菌感染症	4	(66.67)	2	(33.33)	6	(100.00)
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	-	0	-	0	-

兵庫県感染症発生動向調査事業実施要領

第1 目的

感染症対策については、近年の新たな感染症の出現とともに、これまで制圧されてきた感染症の再興など感染症の脅威と感染症を取り巻く状況の変化に対応するため、健康危機管理の観点から、迅速かつ的確な対応、感染症の発生、拡大に備えた事前対応型の行政の構築などを柱として、平成11年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」（以下「感染症法」という。）が施行された。

感染症発生動向調査事業は、感染症に関する情報を収集及び分析し、地域住民や医師等医療関係者に対して感染症に関する情報を公表していくという、感染症の予防のための施策の最も基本的な事業である。

本事業は、兵庫県内の感染症の発生情報の正確な把握と分析、その情報を速やかに地域に公表することにより、地域住民の感染症に対する理解と協力を促すとともに、医療機関における適切な初期診療を推進し、予防接種、衛生教育など適切な予防措置などを講じることにより、感染症の発生及びまん延を防止することを目的として実施する。

第2 法令等の遵守

本事業の実施にあたっては、感染症法及び国の定める感染症発生動向調査事業実施要綱（以下、「国要綱」という。）を遵守する。

第3 対象感染症

本事業の対象とする感染症は、別表1のとおりとする。

第4 実施主体

実施主体は、兵庫県、姫路市、尼崎市及び西宮市とする。

第5 実施体制

1 兵庫県感染症情報センター及び兵庫県基幹地方感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターを兵庫県立健康生活科学研究所（以下、「県立研究所」という。）内に設置し、兵庫県における基幹感染症情報センターとしての役割を併せ持ち、神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市と連携のうえ兵庫県における患者情報及び病原体情報を収集・分析し、兵庫県健康福祉部健康局疾病対策課（以下、「県疾病対策課」という。）に報告するとともに、全国情報と併せて、これらをインターネット等により速やかに情報公開する。

なお、兵庫県感染症情報センターは公表する情報の収集、分析の効果的、効率的な運用を図るため、必要に応じて兵庫県健康づくり審議会感染症対策専門委員会の助言を求める。

2 指定届出機関（定点）

兵庫県（神戸市内を除く）は、定点把握対象の五類感染症について、患者情報、疑似症情報及び病原体情報を収集するため、患者定点、疑似症定点及び病原体定点をあらかじめ選定する。

第6 事業の実施

1 一類感染症、二類感染症、三類感染症及び四類感染症、新型インフルエンザ等感染症及び指定感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 保健所

(ア) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「感染症法」という。）第12条に基づく医師からの届出、または法第13条に基づく獣医師からの届出を受けた兵庫県健康福祉事務所、姫路市保健所、尼崎市保健所及び西宮市保健所（以下、「健康福祉事務所・保健所」という。）は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、健康福祉事務所・保健所は、当該患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の確保について、協力依頼するものとする。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

イ 地方衛生研究所

(ア) 県立研究所、姫路市環境衛生研究所、尼崎市立衛生研究所又は西宮市保健所（以下、「地方衛生研究所」という。）は、検体又は病原体情報が送付された場合にあつては、当該検体を検査し、その結果を健康福祉事務所・保健所及び県疾病対策課に送付するとともに、健康福祉事務所・保健所を経由して診断した医師に通知する。

(イ) 検査のうち、姫路市環境衛生研究所、尼崎市立衛生研究所又は西宮市保健所において実施することが困難なものについては、必要に応じて県立研究所に検査を依頼する。

なお、県立研究所においても実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所において検査を依頼する。

ウ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、関係機関に情報提供する。

エ 県疾病対策課

県疾病対策課は、健康福祉事務所・保健所から患者情報の入力があり次第、登録情報を確認し、報告処理を行う。

2 全数把握対象の五類感染症

(1) 調査単位及び実施方法

ア 保健所

(ア) 1 (1) アの(ア)の届出を受けた健康福祉事務所・保健所は、直ちに感染症発生動向調査システムに届出内容を入力するものとする。

また、健康福祉事務所・保健所は、別表1の(60)、(62)、(64)、(65)、(66)、(68)、(69)、(71)、(72)、(73)、(74)又は(75)の患者を診断した医師に対して、必要に応じて病原体検査のための検体又は病原体情報の確保等について協力依頼するものとする。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、届出を受けた感染症に係る発生状況等を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し、連携を図る。

イ 地方衛生研究所

(ア) 地方衛生研究所は、検体又は病原体情報が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を健康福祉事務所・保健所を経由して診断した医師に通知するとともに、健康福祉事務所・保健所及び県疾病対策課に送付する。

(イ) 検査のうち、姫路市環境衛生研究所、尼崎市立衛生研究所又は西宮市保健所において実施することが困難なものについては、必要に応じて県立研究所に検査を依頼する。

なお、県立研究所においても実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所において検査を依頼する。

ウ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、関係機関に情報提供する。

エ 県疾病対策課

県疾病対策課は、健康福祉事務所・保健所から患者情報の入力があり次第、登録情報を確認し、報告処理を行う。

3 定点把握対象の五類感染症

(1) 対象とする感染症の状態

各々の定点把握対象の五類感染症について、届出基準を参考とし、当該疾病の患者と診断される場合とする。

(2) 定点の選定

ア 患者定点

感染症法第14条に定める定点把握対象の五類感染症の発生状況を地域的に把握するため、兵庫県（神戸市を除く）は次の点に留意し、関係医師会等の協力を得て、医療機関の中から可能な限り無作為に患者定点を選定する。また、

定点の選定に当たっては、人口及び医療機関の分布等を勘案して、できるだけ兵庫県全体（神戸市を除く）の感染症の発生状況を把握できるよう考慮すること。

(ア) 小児科定点

対象感染症のうち、別表1の(76)から(86)までに掲げるものについては、小児科を標榜する医療機関（主として小児科医療を提供しているもの）を小児科定点として指定すること。小児科定点の数は国要綱に基づき算定する。この場合において、小児科定点として指定された医療機関は、インフルエンザ定点として協力するよう努めること。

(イ) インフルエンザ定点

対象感染症のうち、別表1の(87)に掲げるインフルエンザ（鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。以下同じ。）については、前記（ア）で選定した小児科定点のうちインフルエンザ定点として協力する小児科定点に加え、内科を標榜する医療機関（主として内科医療を提供しているもの）を内科定点として指定し、両者を合わせてインフルエンザ定点とすること。内科定点の数は国要綱に基づき算定する。

(ウ) 眼科定点

対象感染症のうち、別表1の(88)及び(89)に掲げるものについては、眼科を標榜する医療機関（主として眼科医療を提供しているもの）を眼科定点として指定すること。眼科定点の数は国要綱に基づき算定する。

(エ) 性感染症定点

対象感染症のうち、別表1の(90)から(93)に掲げるものについては、産婦人科若しくは産科若しくは婦人科（産婦人科系）、性病科又は泌尿器科若しくは皮膚科若しくは皮膚泌尿器科（泌尿器科・皮膚科系）を標榜する医療機関（主として各々の標榜科の医療を提供しているもの）を性感染症定点として指定する。性感染症定点の数は国要綱に基づき算定する。

(オ) 基幹定点

対象感染症のうち、別表1の(94)から(101)までに掲げるものについては、対象患者がほとんど入院患者であるため、患者を300人以上収容する施設を有する病院（小児科医療と内科医療を提供しているもの）を2次医療圏域毎に1カ所以上、基幹定点として指定する。

なお、基幹定点においては、別表1の(87)に掲げるインフルエンザのうち、入院患者も届出対象とする。

イ 病原体定点

病原体の分離等の検査情報を収集するため、兵庫県は患者定点として選定された医療機関の中から病原体定点を選定する。なお、病原体定点の数等については、次の基準の範囲内で、県立研究所と協議して決定する。

(ア) アの（ア）により選定された患者定点の概ね10%を小児科病原体定点とする。

(イ) アの(ア)及び(イ)により選定された患者定点の概ね10%をインフルエンザ病原体定点とする。

(ウ) アの(ウ)により選定された患者定点の中から眼科病原体定点を選定する。

(エ) アの(エ)により選定された患者定点の中から性感染症病原体定点を選定する。

(オ) アの(オ)により選定された患者定点の中から基幹病原体定点を選定する。

(3) 調査単位等

調査単位の期間等は、別表2のとおりとする。

(4) 実施方法

ア 患者定点

(ア) 患者定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、調査単位の期間の診療時において、届出基準により、患者発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)のアにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、それぞれ調査単位の患者発生状況等を記載する。

(ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 病原体定点

(ア) 病原体定点として選定された医療機関は、別途定める「病原体検査指針」により、微生物学的検査のために検体を採取する。

(イ) 病原体定点で採取された検体は、「病原体検査指針」に基づき、検体等を梱包のうえ県立研究所へ送付する。

ウ 健康福祉事務所・保健所

(ア) 健康福祉事務所・保健所は、原則として、患者定点から得られた患者情報が週単位の場合は調査対象の週の翌週の火曜日までに、月単位の場合は調査対象月の翌月の3日までに、感染症発生動向調査システムに入力する。
また、対象感染症についての集団発生その他特記すべき情報については、県疾病対策課に報告する。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、定点把握の対象の五類感染症の発生状況を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況を提供し連携を図る。

エ 県立研究所

(ア) 県立研究所は、別記様式の検査票及び検体が送付された場合にあっては、当該検体を検査し、その結果を病原体情報として病原体定点に通知するとともに、定点を管轄する健康福祉事務所・保健所及び県疾病対策課に送付する。

(イ) 県立研究所において実施することが困難な検査については、必要に応じて国立感染症研究所に検査を依頼する。

(ウ) 県立研究所は、兵庫県域を超えた集団発生があった場合等の緊急の場合

にあつては、検体を国立感染症研究所に送付する。

オ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての患者情報及び病原体情報を収集、分析するとともに、その結果を週報（月単位の場合は月報）等として公表される全国情報と併せて、インターネット等による公表のほか、県疾病対策課等関係機関に情報提供する。

カ 県疾病対策課

健康福祉事務所・保健所からの週報又は月報の入力状況を確認し、国への報告処理を行う。

4 法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症

(1) 対象とする疑似症の状態

各々の疑似症について、届出基準を参考とし、当該疑似症の患者と診断される場合とする。

(2) 疑似症定点の選定

(ア) 第一号疑似症定点

対象感染症のうち、別表1の(104)に掲げるものについては、内科又は小児科を標榜する医療機関（主として内科又は小児科医療を提供しているもの）を第一号疑似症定点とする。なお、小児科定点又はインフルエンザ定点を兼ねることができる。

(イ) 第二号疑似症定点

対象感染症のうち、別表1の(105)に掲げるものについては、内科、小児科又は皮膚科を標榜する医療機関（主として内科又は小児科医療を提供しているもの）を第二号疑似症定点とする。ただし、当面の間は第一号疑似症定点を第二号疑似症定点として選定する。

(3) 実施方法

ア 疑似症定点

(ア) 疑似症定点として選定された医療機関は、速やかな情報提供を図る趣旨から、診療時において、届出基準により、直ちに疑似症発生状況の把握を行うものとする。

(イ) (2)の アにより選定された定点把握の対象の指定届出機関においては、届出基準に従い、直ちに別記様式7-7に記載する。なお、当該疑似症の届出については、原則として症候群サーベイランスシステムへの入力により実施することとする。

(ウ) (イ)の届出に当たっては感染症法施行規則第7条に従い行うものとする。

イ 保健所

(ア) 健康福祉事務所・保健所は、疑似症定点における症候群サーベイランスシステムへの入力を実施することができない場合、当該疑似症定点から得

られた疑似症情報を、直ちに、症候群サーベイランスシステムに入力するものとする。また、対象疑似症についての集団発生その他特記すべき情報については、県疾病対策課に報告する。

(イ) 健康福祉事務所・保健所は、疑似症の発生状況等を把握し、市町、指定医療機関その他の関係医療機関、地域医師会、教育委員会等の関係機関に発生状況等を提供し連携を図る。

ウ 兵庫県感染症情報センター

兵庫県感染症情報センターは、兵庫県内の全ての疑似症情報を収集し、分析するとともに、その結果を週報等として公表される全国情報と併せて、関係機関に情報公開する。

エ 県疾病対策課

健康福祉事務所・保健所からの入力状況を確認する。

5 その他

- (1) 上記の実施方法以外の部分について、必要と認められる場合には、兵庫県の実情に応じた追加を行い、地域における効果的・効率的な感染症発生動向調査を構築していくこととする。
- (2) 本実施要領に定める事項以外の内容については、姫路市、尼崎市及び西宮市の意見を聞きながら、必要に応じて県健康福祉部健康局長が定めることとする。

6 神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市との関係

兵庫県は、本事業を実施するため神戸市、姫路市、尼崎市及び西宮市と協議し、連携を図る。

附 則

- 1 この実施要領は、平成 22 年 9 月 1 日から施行する。
- 2 兵庫県結核・感染症発生動向調査事業実施要綱（昭和 62 年 1 月 1 日施行）は廃止する。
- 3 この実施要領の一部改正は、平成 23 年 2 月 1 日から施行する。
- 4 この実施要領の一部改正は、平成 23 年 9 月 5 日から施行する。

別表1 兵庫県感染症発生動向調査事業の対象感染症

類型	疾患名	届出
一類	(1)エボラ出血熱、(2)クリミア・コンゴ出血熱、(3)痘そう、(4)南米出血熱、(5)ペスト、(6)マールブルグ病、(7)ラッサ熱	全数
二類	(8)急性灰白髄炎、(9)結核、(10)ジフテリア、(11)重症急性呼吸器症候群 (SARS コロナウイルスに限る)、(12)鳥インフルエンザ (H5N1)	全数
三類	(13)コレラ、(14)細菌性赤痢、(15)腸管出血性大腸菌感染症、(16)腸チフス、(17)パラチフス	全数
四類	(18)E型肝炎、(19)ウエストナイル熱、(20)A型肝炎、(21)エキノコックス症、(22)黄熱、(23)オウム病、(24)オムスク出血熱、(25)回帰熱、(26)キャサナル森林病、(27)Q熱、(28)狂犬病、(29)コクシジオイデス症、(30)サル痘、(31)腎症候性出血熱 (HFRS)、(32)西部ウマ脳炎、(33)ダニ媒介脳炎、(34)炭疽、(35)チクングニア熱、(36)つつが虫病、(37)デング熱、(38)東部ウマ脳炎、(39)鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1) を除く。)、(40)ニパウイルス感染症、(41)日本紅斑熱、(42)日本脳炎、(43)ハンタウイルス肺症候群(HPS)、(44)Bウイルス病、(45)鼻疽、(46)ブルセラ症、(47)ベネズエラウマ脳炎、(48)ヘンドラウイルス感染症、(49)発しんチフス、(50)ボツリヌス症、(51)マラリア、(52)野兔病、(53)ライム病、(54)リッサウイルス感染症、(55)リフトバレー熱、(56)類鼻疽、(57)レジオネラ症、(58)レプトスピラ症、(59)ロッキー山紅斑熱	全数
五類	(60)アメーバ赤痢、(61)ウイルス性肝炎 (E型肝炎及びA型肝炎を除く。)、(62)急性脳炎 (ウエストナイル熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。)、(63)クリプトスポリジウム症、(64)クロイツフェルト・ヤコブ病、(65)劇症型溶血性レンサ球菌感染症、(66)後天性免疫不全症候群、(67)ジアルジア症、(68)髄膜炎菌性髄膜炎、(69)先天性風しん症候群、(70)梅毒、(71)破傷風、(72)バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(73)バンコマイシン耐性腸球菌感染症、(74)風しん、(75)麻しん	全数
	(76)RSウイルス感染症、(77)咽頭結膜熱、(78)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(79)感染性胃腸炎、(80)水痘、(81)手足口病、(82)伝染性紅斑、(83)突発性発しん、(84)百日咳、(85)ヘルパンギーナ、(86)流行性耳下腺炎、(87)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)、(88)急性出血性結膜炎、(89)流行性角結膜炎、(90)性器クラミジア感染症、(91)性器ヘルペスウイルス感染症、(92)尖圭コンジローマ、(93)淋菌感染症、(94)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(95)細菌性髄膜炎、(96)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(97)マイコプラズマ肺炎、(98)無菌性髄膜炎、(99)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(100)薬剤耐性アシネトバクター感染症、(101)薬剤耐性緑膿菌感染症	定点
	法第14条第1項に規定する厚生労働省令で定める疑似症 (104)摂氏38度以上の発熱及び呼吸器症状(明らかな外傷又は器質的疾患に起因するものを除く。)、(105)発熱及び発しん又は水疱 (ただし、当該感染症が二類感染症、三類感染症、四類感染症又は五類感染症の患者の症状であることが明らかな場合を除く。)	全数
新型インフルエンザ等感染症	(102)新型インフルエンザ、(103)再興型インフルエンザ	全数

別表2 定点把握対象の五類感染症の調査単位

定点種類	対象疾患	調査単位
小児科定点	(76)RSウイルス感染症、(77)咽頭結膜熱、(78)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、(79)感染性胃腸炎、(80)水痘、(81)手足口病、(82)伝染性紅斑、(83)突発性発しん、(84)百日咳、(85)ヘルパンギーナ、(86)流行性耳下腺炎	1週間(月曜日から日曜日)
インフルエンザ定点	(87)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)	1週間(月曜日から日曜日)
眼科定点	(88)急性出血性結膜炎、(89)流行性角結膜炎	1週間(月曜日から日曜日)
性感染症定点	(90)性器クラミジア感染症、(91)性器ヘルペスウイルス感染症、(92)尖圭コンジローマ、(93)淋菌感染症	各月
基幹定点	(87)インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。)*ただし、入院患者に限定する。	1週間(月曜日から日曜日)
	(94)クラミジア肺炎(オウム病を除く。)、(95)細菌性髄膜炎、(97)マイコプラズマ肺炎、(98)無菌性髄膜炎	
	(96)ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、(99)メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、(100)薬剤耐性アシネトバクター感染症、(101)薬剤耐性緑膿菌感染症	各月